SELEN

ホームネットワークカメラ
SIP-550（無線・有線共用タイプ）
SIP-500（有線専用タイプ）

取扱説明書

SIP-550

SIP-500

このたびは、セレン製ホームネットワークカメラをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

この商品を安全に正しく使用していただくため、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、十分理解してください。お読みになったあとは、いつも手元においてご使用ください。保証書は、必ず必要事項が記載されていることをご確認ください。

本書は、SIP-550（無線・有線共用タイプ）／SIP-500（有線専用タイプ）共用です。機種によって使える機能や操作が一部異なります。

本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

目次

1 ご使用の前に P.4

1-01 安全上のご注意 …… P.05
1-02 使用上のご注意 …… P.07
1-03 セキュリティに関するご注意 …… P.10
1-04 セキュリティに関するご注意［SIP-550のみ］…… P.11
1-05 梱包内容の確認・本書の表記について …… P.12
1-06 各部の名称とはたらき …… P.13
1-07 カメラを設置する …… P.14
1-08 カメラの接続例 …… P.15

2 カメラの使用を開始する P.16

2-01 カメラを接続する（DHCP環境の例）…… P.17
2-02 「IP Wizard Ⅱ」をインストールする …… P.18
2-03 LAN内のパソコンからモニタリングする①（IP Wizard Ⅱ使用）… P.21
2-04 LAN内のパソコンからモニタリングする②（Webブラウザから）… P.25
2-05 ライブ画面について …… P.26

3 SIP-550 無線接続設定 P.27

3-01 無線LANで接続する …… P.28
3-02 無線LAN接続時のIPアドレス設定 …… P.34

4 インターネット接続とモニタリング P.37

4-01 インターネット接続 …… P.38
4-02 インターネット経由でモニタリングする …… P.40
4-03 iPhoneでモニタリングする …… P.42
4-04 iPhoneでモニタリングする時の操作 …… P.43
4-05 UPnP設定 …… P.45
4-06 IPアドレスを自動的に取得する …… P.46
4-07 IPアドレスを固定にする …… P.48
4-08 HTTPポートを設定する …… P.51
4-09 DDNS設定 …… P.53

目次

5 さまざまな機能の設定・操作 P.54

5-01 ライブ映像の画面サイズを変更する …… P.55
5-02 [MJPEG]の解像度を指定する …… P.56
5-03 ライブ映像を全画面で表示する …… P.58
5-04 ライブ映像に日付・時間を表示する …… P.59
5-05 映像を見やすく調整する …… P.61
5-06 パン/ チルトを操作する …… P.63
5-07 ツアーを実行する …… P.64
5-08 ツアーを設定する …… P.65
5-09 プリセットを登録する …… P.68
5-10 プリセットを[有効]指定する・削除する …… P.70
5-11 デジタルズームでライブ映像を拡大する …… P.72
5-12 スナップショットを撮る …… P.73
5-13 映像を録画する …… P.75
5-14 カメラの状態/ バージョンを確認する …… P.78
5-15 日時設定 …… P.79
5-16 ユーザーの権限を管理する …… P.81
5-17 ログインできるIPアドレスを管理する …… P.86
5-18 メールお知らせ機能① 定期的にメールを受け取る …… P.88
5-19 メールお知らせ機能② 動体検知時にメールを受け取る …… P.92
5-20 メール設定 …… P.97
5-21 FTPサーバーに保存する① 定期的に保存する …… P.99
5-22 FTPサーバーに保存する② 動体検知時に保存する …… P.103
5-23 FTP設定 …… P.108
5-24 動体検知設定を登録する …… P.111
5-25 ファイル …… P.114
5-26 ローカルエリアネットワークにデバイス名を表示する …… P.115
5-27 デバイスタイトルを変更する …… P.116
5-28 RTSPポート …… P.117
5-29 カメラ周辺の音を聴く …… P.118
5-30 カメラにスピーカーをつけて音を出す …… P.120
5-31 カメラの設定内容をバックアップする …… P.123
5-32 バックアップした設定内容でカメラを設定する …… P.124
5-33 カメラを初期化する …… P.126
5-34 カメラを再起動する …… P.128
5-35 情報バーを表示(非表示)にする …… P.129

6 IP Wizard Ⅱの操作 P.130

6-01 IP Wizard Ⅱの起動方法・画面 …… P.131
6-02 IP Wizard Ⅱの操作 …… P.132

7 付録 P.135

7-01 設定項目・初期化設定値 …… P.136
7-02 仕様 …… P.138

1

ご使用の前に

1-01　安全上のご注意 …… P.05
1-02　使用上のご注意 …… P.07
1-03　セキュリティに関するご注意 …… P.10
1-04　セキュリティに関するご注意［SIP-550のみ］…… P.11
1-05　梱包内容の確認・本書の表記について …… P.12
1-06　各部の名称とはたらき …… P.13
1-07　カメラを設置する …… P.14
1-08　カメラの接続例 …… P.15

1-01 安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

表示	表示の意味
⚠警告	『取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されること』を示します。
⚠注意	『取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う可能性が想定されるか、または物的損害の発生が想定されること』を示します。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分して説明しています。(下記は絵表示の一例です。)

図記号	表示の意味
禁止	禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
指示	指示する行為の強制(必ず実行していただく)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

⚠警告

ACアダプターのコードやプラグを破損するようなことはしない

[ドアにはさみ込んだり、傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。]

禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
●コードやプラグの修理は、販売店にご依頼ください。

本製品を壁に取り付けて使用するときは、堅固・確実に取り付ける

指示

落下により、けがの原因になります。

AC アダプターのプラグのほこりなどは定期的にとる

指示

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。
●AC アダプターをコンセントから抜き、乾いた布でふいてください。

AC アダプターのプラグは根元まで確実に差し込む

指示

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
●傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

AC アダプターを抜き差しするときは本体(金属でない部分)を持つ

指示

感電の原因になります。

ぬれた手でAC アダプターの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

専用のAC アダプター(極性統一形プラグ)以外は使わない

禁止

専用以外のAC アダプターを使用すると、電圧や＋－の極性が異なっている場合があるため、発煙・火災の恐れがあります。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない

禁止

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

本製品およびAC アダプターをぬらさない

水ぬれ禁止

近くに花びん、コップなどを置かないでください。発火・感電の原因になります。
●ぬらした場合は、販売店へご相談ください。

煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したときはACアダプターを抜く

電源プラグ

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
●使用を中止し、販売店へご相談ください。

1-01 安全上のご注意 必ずお守りください

⚠警告

雷が鳴ったら本製品やAC アダプターに触れない

接触禁止

感電の原因になります。

絶対に分解したり、修理･改造をしない

分解禁止

火災 ･感電の原因になります。
●修理は販売店へご相談ください。

本製品内部にクリップやピンなど金属物や異物を入れない

禁止

感電の原因になります。

落下させたり、強い衝撃を加えない

禁止

けがの原因になります。

落としたり、ケースを破損したりした場合は使わない

禁止

火災や感電の原因となります。

自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くには設置しない［SIP-550 のみ］

禁止

本製品からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

心臓ペースメーカーの装着部位から離す［SIP-550 のみ］

指示

電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

医用電気機器の近くでの設置や使用をしない［SIP-550 のみ］

指示

手術室、集中治療室、CCU ※などには持ち込まないでください。
本製品からの電波が、医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。
※CCU とは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

⚠注意

水平でない場所や振動の激しい場所には設置しない

禁止

落下により、けがの原因になることがあります。

水、湿気、ほこり、油煙などの多い場所（調理台や加湿器のそばなど）に設置しない

禁止

感電 ･ショートの原因になることがあります。

火気を近づけない

禁止

火災の原因になることがあります。

長時間使用しないときや、お手入れするときは、必ずACアダプターをコンセントから抜く

電源プラグ

漏電 ･感電の原因になることがあります。

CD-ROM は、オーディオ用CD プレーヤーでは絶対に再生しない

禁止

大音量によって耳に障害を与えたり、スピーカーを破損する恐れがあります。

本製品（付属品含む）は屋内専用です

指示

屋外での使用は、火災や感電、故障の原因になります。

本製品は日本国内専用です

指示

放送方式、電源電圧の異なる海外では使用できません。また、海外でのアフターサービスもできません。
This unit is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

1-02 使用上のご注意

本製品は、涼しくて湿気が少なく、なるべく温度が一定のところに設置してください。

動作温度：0 ℃～40 ℃
動作湿度：10% ～80%（ただし、結露なきこと。）

パソコンのモニター上に長時間同じ画像を表示させると、モニターに損傷を与えることがあります。

スクリーンセーバーの使用をおすすめします。

直射日光のあたる場所には設置しないでください。

室温が動作温度以内でも局部的に高温になりますので、本製品の変形・変色または故障・誤動作の原因になります。

レンズにキズや汚れをつけないでください。

きれいに撮影できなくなったり、正しく検知できなかったり、変形や故障の原因になります。

冷・暖房機の近くには設置しないでください。

変形・変色または故障・誤動作の原因になります。

カメラのパン／チルト可動部に、無理な力を掛けないでください。

故障の原因になります。

本製品に磁石など磁気をもっている物を近づけないでください。

磁気の影響を受けて動作が不安定になります。

CD-ROMの表面に文字を書いたり、ラベルを貼らないでください。信号面に指紋や傷をつけたりしないでください。

データが正常に読み取れなくなります。

直射日光やハロゲン光などの高輝度の被写体を、長時間映さないでください。

撮像素子が破損する原因になります。

ジャック内部に触れないでください。

故障の原因になります。

お手入れの際は、電源を切ってください。

誤動作の原因になります。

隣接して使用しているラジオやテレビから2 m以上離してください。また、同一コンセントでご使用の場合は、コンセントを別にしてください。。

ラジオやテレビに雑音が入ることがあります。

- 本製品を分解・改造することは法律で禁じられていますので、故障の際は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
- 本製品は日本国内用です。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。
- この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 停電などの外部要因により生じたデータの損失ならびに、その他直接、間接の損害につきましては、当社は責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

1-02 使用上のご注意

免責について

・本製品は盗難・犯罪防止器具、災害防止器具ではありません。本製品の使用または使用不能から生じる不随的な損害（事業利益の損失・事業の中断・記録内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
・地震、雷、風水雪害などの自然災害、当社の責任によらない火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、弊社は、一切の責任を負いません。
・本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断、記録内容の変化・消失など）に関して、弊社は一切の責任を負いません。
・取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
・弊社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作や操作不能などから生じる損害に関しては、弊社は一切の責任を負いません。
・本機を使用中、万一何らかの不具合により、録画・録音されなかった場合の内容の補償および付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断など）に対して、弊社は一切の責任を負いません。
・お客様ご自身または権限のない第三者が修理・改造を行った場合に生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
・本製品により記録・編集された映像が何らかの理由により公となり、または記録・編集目的以外に使用され、その結果個人または団体などによるプライバシーの侵害などを理由とするいかなる賠償請求やクレームなどに関しては、当社は一切の責任を負いません。
・商品の設置（取付け・取外しなど）により生じた建物への損害やその他の損害について、当社は一切の責任を負いません。

個人情報の保護について

・本製品のシステムを使用して撮影、記録された人物・その他の映像で、個人を特定できるものは、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。※　法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。（その映像の開示・公開、インターネットでの配信はあらかじめ承諾を得ることが必要になり、システムを運用する方の責務となりますのでご注意ください。）
※経済産業省の「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

著作権・肖像権についてのご注意

・本製品で録画した映像を無断で複製、放映、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律により禁止されています。
・お客様が本製品で録画した映像を権利者に無断で使用、開示、頒布または展示等を行うと著作権・肖像権等の侵害となる場合があります。なお、実演や興行、展示物などの中には、監視などの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の対象となっている映像やファイルの伝送は、著作権法で許容された範囲内でのご使用に限られますのでご注意ください。

輸出制限について

・本製品を海外へ持ち出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制ならびに米国輸出管理規制等、外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

用途制限について

・本製品は、一般家庭を意図として設計・製作されています。
・生命、財産に著しく影響のある高信頼性を要求される用途への使用は避けてください。このような使用に対する万一の事故に対し、当社は一切の責任を負いません。
※ 高信頼性を必要とする用途例 ： 化学プラント制御、医療機器制御、緊急連絡制御、重要な監視用途など

商標および登録商標について

Microsoft® 、Windows® 、Windows® XP、Windows® Vista、Windows® 7、は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。（Windows® の正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。）
その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。
（なお、本文中では「®」を明記していません。）

1-02 使用上のご注意 [SIP-550のみ]

■ 本製品は、外国為替および外国貿易法に定める規制対象貨物（または技術）に該当します。本製品を日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可等必要な手続きをお取りください。

無線通信の使用範囲について

次のような機器と同時に本製品を使用しないでください。（電波が混信したり、誤動作の原因になります。）

- 特定無線局や移動通信機器のある屋内
- 電子レンジの近く
- 盗難防止装置やPOSシステムなど2.4GHz 周波数帯域を利用している機器のある屋内

本製品と無線機器の間に次のような障害物があるときは設置場所を変更してください。
（電波を通しにくい物質が周囲にあると、通信ができなかったり通信速度が遅くなる場合があります。）
（電波を反射する物体が周囲にあると、反射した電波との干渉で通信ができなかったり通信速度が遅くなる場合があります。）

- 金属性のドアや雨戸、シャッター
- アルミはく入りの断熱材が入った壁
- トタン製の壁
- スチール棚
- コンクリート、石、レンガなどの壁
- 防火ガラス
- 壁を何枚もへだてたところ

電波に関するご注意

本製品は、2.4GHz帯の周波数を使用する無線機器です。

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止してください。

1-03 セキュリティに関するご注意

本製品をご使用になる場合、下記のような被害を受けることが想定されますので、セキュリティ対策を十分に行ってください。

- 本製品を経由したお客様のプライバシー情報の漏えい
- 悪意の第三者による本製品の不正操作
- 悪意の第三者による本製品の妨害や停止

行うべきセキュリティ対策は下記のとおりです。

■ 本製品へアクセスするためのユーザー名／パスワード、本製品に対する設定情報は、お客様の責任管理下にあります。それらの情報に関わる利用者または利用者グループ以外の第三者が、参照、更新、削除、複写できないようにアクセスを制限する。

■ 本製品を盗難に遭いにくい場所に設置する。

■ お客様の利用情報（ビデオ映像・静止画・インターネットコンテンツなど）は、お客様の責任管理下にあります。それらの利用者情報に関わる利用者または利用者グループ以外の第三者が、参照、更新、削除、複写できないようにアクセスを制限する。

■ 以下のような場合は、必要に応じて個人情報をバックアップしたあと、本製品を工場出荷値に戻す。
- 当社が関与できない外部業者に修理を依頼するとき。
- 他人に譲渡するとき。

■ 本製品を廃棄するときは、本製品を初期化して工場出荷値に戻す、または、電気的消去や物理的破壊などの手段により本製品上の情報を抹消する。

プライバシーに関するご注意

プライバシー・肖像権について
カメラの設置や利用につきましては、ご利用されるお客様の責任で被写体のプライバシー（マイクで拾われる音声に対するプライバシーを含む）、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。

※「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権は、みだりに他人から自らの容ぼう・姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。

1-04 セキュリティに関するご注意 [SIP-550のみ]

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意！
お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です

無線LAN では、イーサネットケーブルを使用するかわりに、電波を利用してパソコンなどと無線LAN アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にネットワーク接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

■ 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
- ID
- パスワード
- 通信画像
- E メール

などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

■ 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏えい）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き替えて発信する（改ざん）
- コンピューターウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LAN アダプター、ホームネットワークカメラやカメラコントロールユニットをはじめとする無線LAN 製品（以下、無線LAN 製品という）は、これらの問題に対応するためのセキュリティに関する設定が用意されていますので、無線LAN 製品のセキュリティに関する設定を行い使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。
お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線LAN 製品をご使用になる前に、必ず無線LAN 製品のセキュリティに関する設定を取扱説明書に従って行ってください。なお、無線LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティに関する設定が破られることもありえますので、ご理解のうえ、ご使用ください。
当社では、お客様がセキュリティに関する設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、無線LAN 製品を使用することをおすすめします。
セキュリティに関する設定を行わない、あるいは、無線LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社では、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

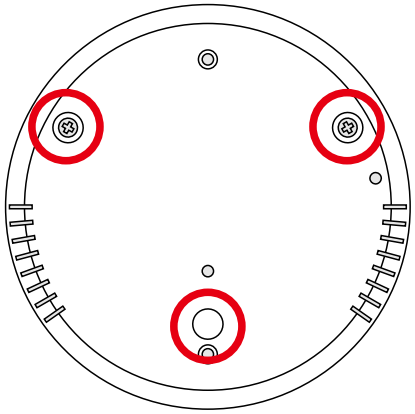
1-05 梱包内容の確認・本書の表記について

梱包内容の確認

梱包内容	数量	用途など
本体	1	ホームネットワークカメラ（SIP-500/SIP-550）
専用ACアダプター	1	㊟ 必ず付属の専用AC アダプターをご使用ください。
取付金具	1	カメラを壁や柱等に設置する際に使用する台座です。
カメラ取付用ネジ	2	カメラを取付金具に固定するためのネジです。
保護シール	1	カメラ底面に貼るスベリ止め・キズ防止用シールです。
取付用ネジ	2	取付金具を壁等に固定するためのネジです。
樹脂アンカー	2	取付金具を石膏ボードの壁等に固定する際に使用します。
CD-ROM	1	ソフトウェア（IP Wizard Ⅱ、他）、取扱説明書
専用アンテナ	1	無線用のアンテナです。（SIP-550のみ）

保護シールの貼り方

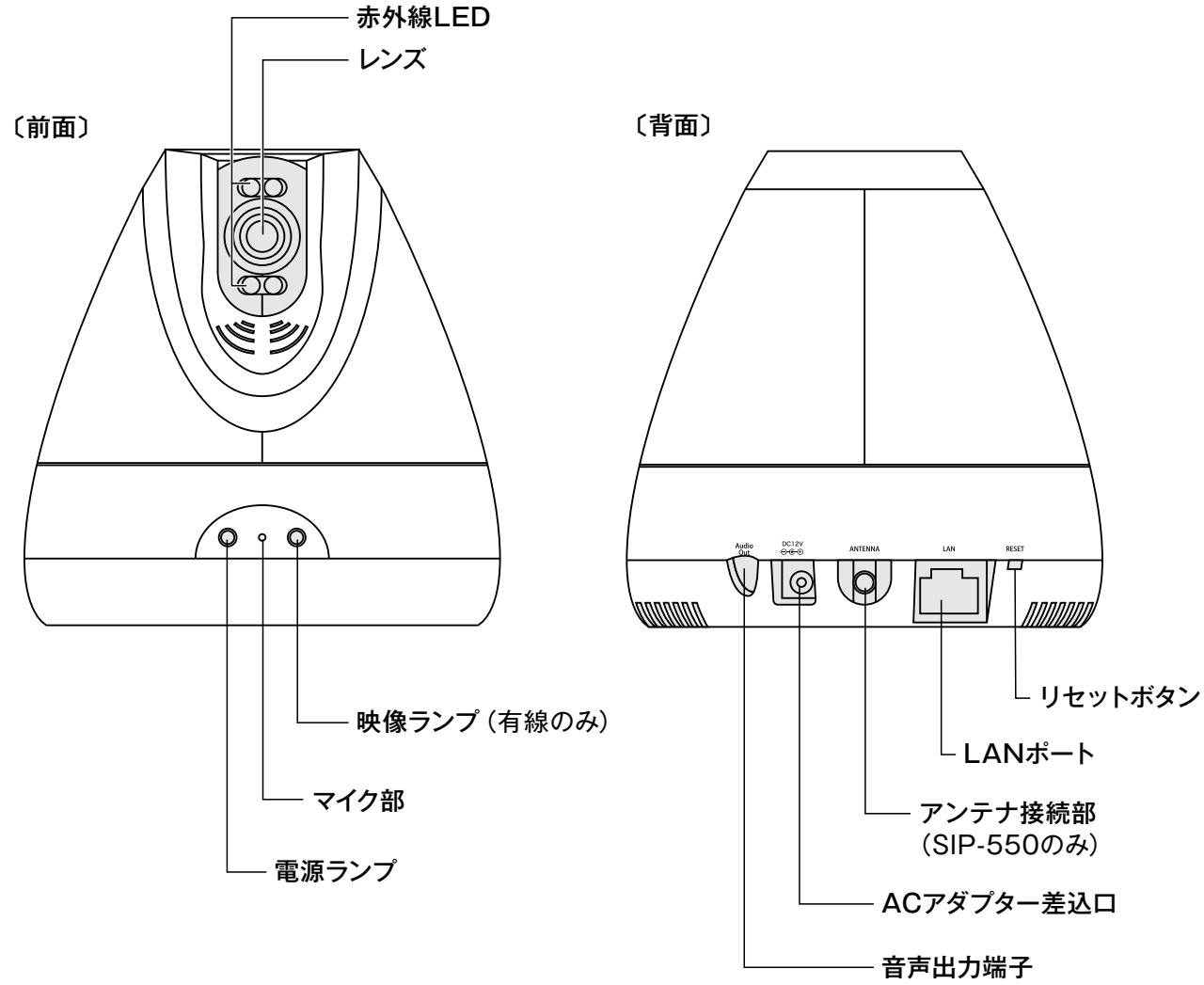
カメラ本体が置いた場所で滑りやすい時や、キズが気になる時などの場合には、右の○印3 ヶ所に付属の保護シールを貼ってください。
保護シールは、1シートに4つ付いています。1枚は予備です。



本書の表記について

- 本書は、Windows® 7 とInternet Explorer® 8 を例に説明しています。
- 本書では、SIP-500、SIP-550 を「本製品」と表記しています。
- 本書では、「ホームネットワークカメラ」を「カメラ」と表記しています。
- 本書では、画面上のボタンを【　】に囲んで表記しています。　例：OK ⇒【OK】
- 本書では、SIP-550 のイラスト・画面を使って説明しています。
- 本書で記載している画面の表示内容は、「例」です。
- UPnP は、Universal Plug and Play の略称です。
- 本書内に記載しているイラストや画像は、実際とは異なる場合があります。
- 映像の画面写真は、ハメ込みによるイメージです。

1-06 各部の名称とはたらき



電源ランプ	電源が入ると点灯します。
映像ランプ（有線のみ）	接続されたネットワーク機器とLANケーブル接続されている時に点灯します。
マイク部	周囲の音をひろうためのマイクです。
レンズ	レンズの向いている方向を撮影します。
赤外線LED	周りが暗くなった時に赤外線を照射します。
音声出力端子	カメラにスピーカー（別売）を接続するための端子です。
ACアダプター差込口	専用AC アダプターを接続するためのコネクタです。
アンテナ接続部（SIP-550のみ）	アンテナを取り付けるコネクタです。無線電波の送受信部です。
LANポート	LAN ケーブルでルーターやパソコンに接続するためのポートです。
リセットボタン	カメラの設定を工場出荷状態に戻すためのボタンです。 ※先の細い工具等でボタンを押すと、カメラの設定内容が工場出荷値に戻ります。

1-07 カメラを設置する

本製品は、付属の取付金具を使用して、天井・壁面に取り付けることができます。

天井に取り付ける場合

1 取付金具をカメラ底面の取付金具用ネジ穴にカメラ取付用ネジで固定します。
カメラ本体と取付金具の間に、保護シールをご使用ください。
《保護シールの貼り方➡P.12》

2 本体をセットした取付金具を取付用ネジで、天井・壁面に取り付けます。
必要に応じて、付属の樹脂アンカーをご使用ください。

壁面に取り付ける場合

1 本体をセットした取付金具を取付用ネジで、天井・壁面に取り付けます。
必要に応じて、付属の樹脂アンカーをご使用ください。

2 取付金具をカメラ底面の取付金具用ネジ穴にカメラ取付用ネジで固定します。
カメラ本体と取付金具の間に、保護シールをご使用ください。
《保護シールの貼り方➡P.12》

カメラを天井や壁面に設置した場合

カメラ映像が逆さまになってしまう場合は、[カメラ]の設定項目でカメラ映像を「左右反転」、「左右+上下反転」、「上下反転」に変更することができます。《設定方法➡[5-05 映像を見やすく調整する]P.61》

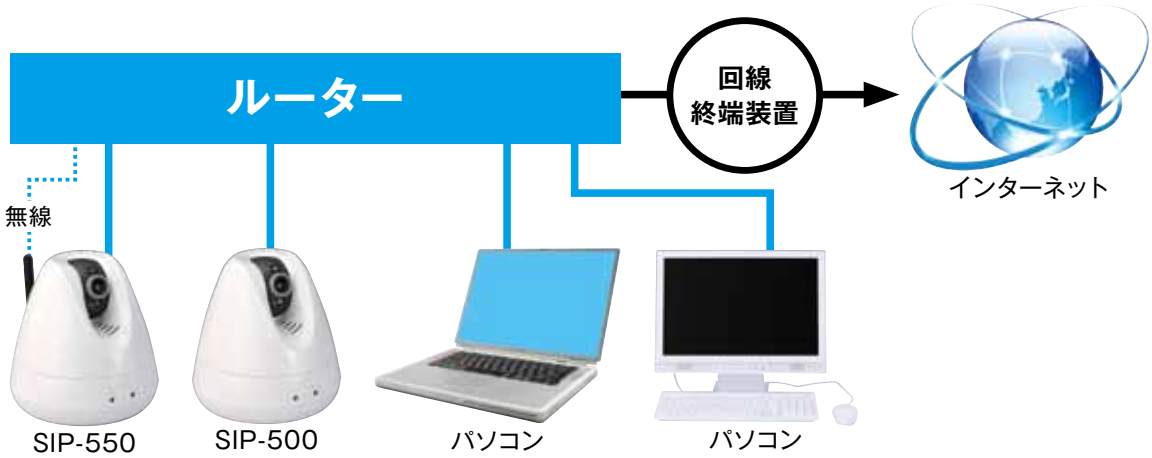
㊟取り付けの際は、カメラが取付金具から外れないよう、確実に取り付けてください。
落下によるケガや故障の原因となります。

1-08 カメラの接続例

本製品は、さまざまな接続方法対応しています。

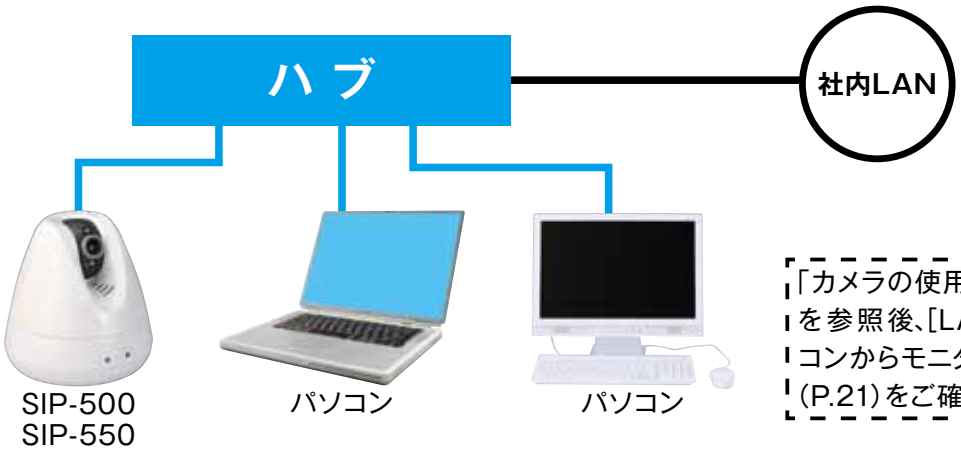
接続例① ルーターなどに接続する

本製品をルーターやルーター機能付きモデムなどのDHCP機能があるネットワーク環境での接続例です。



接続例② 社内LAN（固定IP 環境）などに接続する

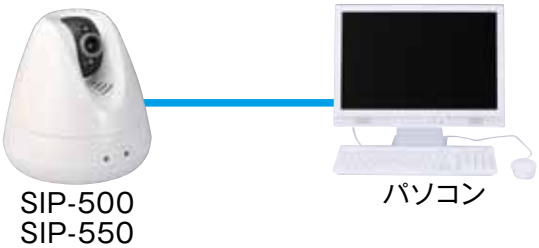
本製品を社内LAN などの固定IP アドレスを割り当てているネットワーク環境での接続例です。



「カメラの使用を開始する」を参照後、[LAN内のパソコンからモニタリングする](P.21)をご確認ください。

接続例③ パソコンに直接接続する

本製品をパソコンに直接接続する場合の接続例です。



「カメラの使用を開始する」を参照後、[LAN内のパソコンからモニタリングする](P.21)をご確認ください。

2

カメラの使用を開始する

2-01　カメラを接続する（DHCP環境の例）…… P.17
2-02　「IP Wizard Ⅱ」をインストールする …… P.18
2-03　LAN内のパソコンからモニタリングする①（IP Wizard Ⅱ使用）… P.21
2-04　LAN内のパソコンからモニタリングする②（Webブラウザから）… P.25
2-05　ライブ画面について …… P.26

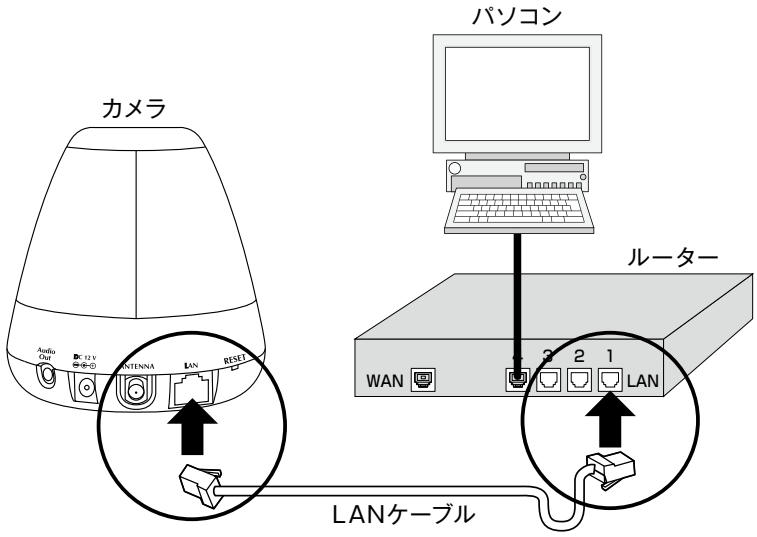
用意しておく物（市販品）　※DHCP環境の場合

●パソコン※　●LAN ケーブル（ストレートケーブル）　●ブロードバンドルーター

※用意するパソコンの環境
OS：Microsoft® Windows® 7、Windows® Vista、Windows® XP
ウェブブラウザ：Internet Exeplorer® 6.0以降（32bit のみ）

2-01 カメラを接続する（DHCP環境の例）

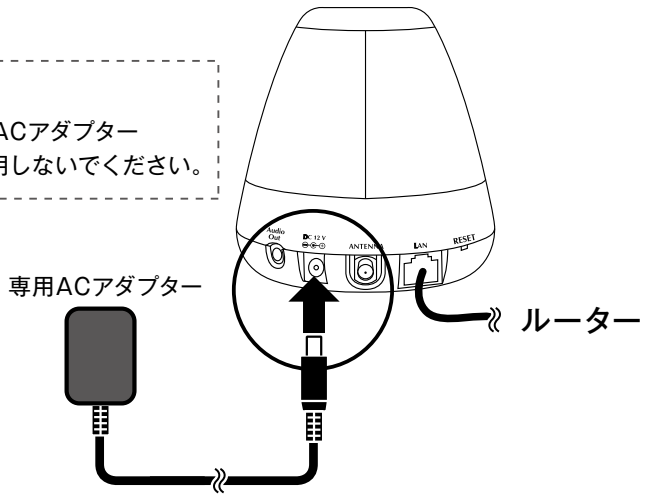
1 LAN ケーブルを本製品のLAN ジャックと、ルーターのLAN ジャックに接続します。



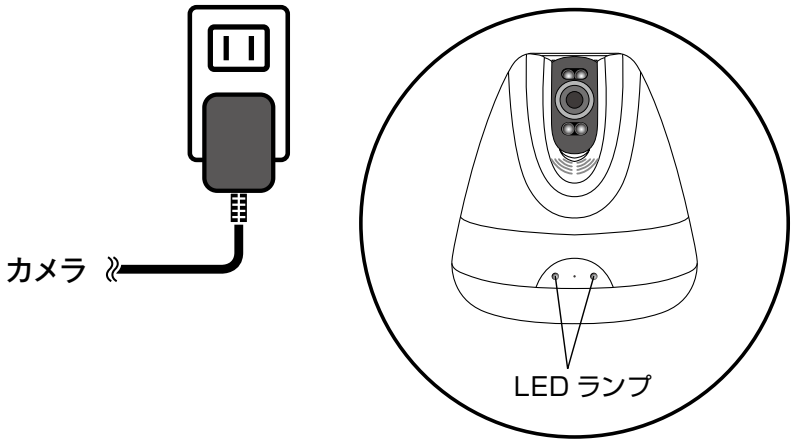
㊟無線LAN対応のSIP-550 に関しても、初期のネットワーク設定時はルーターに有線接続して設定をしてください。

2 付属の専用AC アダプターを、カメラのACアダプター差込口に差し込みます。

⚠警告
付属の専用ACアダプター
以外は、使用しないでください。



3 専用AC アダプターをコンセントに差し込みます。
LED ランプが点灯し、初期動作（カメラが動く）が行われます。



㊟接続の際は、カメラを平坦な場所に置いてから行ってください。
（不安定な場所に置いたり、手に持ったまま電源を投入すると、初期動作の際に落下する危険があります。）

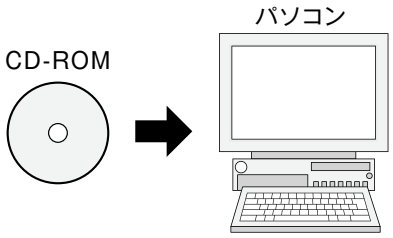
2-02 「IP Wizard Ⅱ」をインストールする

ソフトウェア「IP Wizard Ⅱ」をパソコンにインストールします。
「IP Wizard Ⅱ」は、ローカルエリアに接続されたカメラにアクセスするためのソフトウェアです。

対応OSは、Microsoft® Windows®7、Windows®Vista、Windows®XPになります。

※インストール中に【Cancel】をクリックするとインストールを中止します。
また、【Back】をクリックすると1つ前の操作画面に移動します。

1 パソコンのCD/DVDドライブに、付属のCD-ROMをセットします。



2 CD内の「IP Wizard Ⅱ」ファイルをダブルクリックします。
※ダブルクリックでインストールできない場合は、ファイルアイコンを右クリックし、「管理者として実行」を選択してインストールします。(Windows®7、Windows®Vistaの場合)

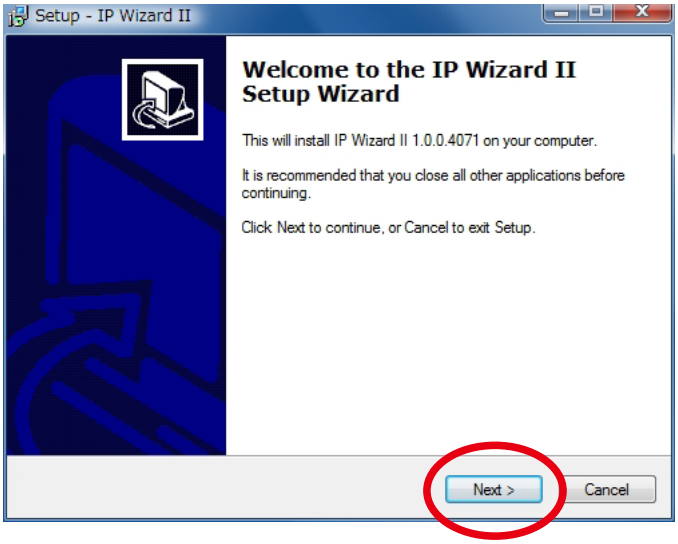
▼「IP Wizard Ⅱ」exeファイル

3 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウで、【許可】をクリックします。

インストール中、[インストール確認]、[セキュリティ警告]などのウィンドウが表示されることがあります。
(表示されるタイミング回数は、パソコンのOS、Internet Explorerのバージョンなどにより異なります。)
表示された時は、【インストールする】、【許可】等をクリックしてください。

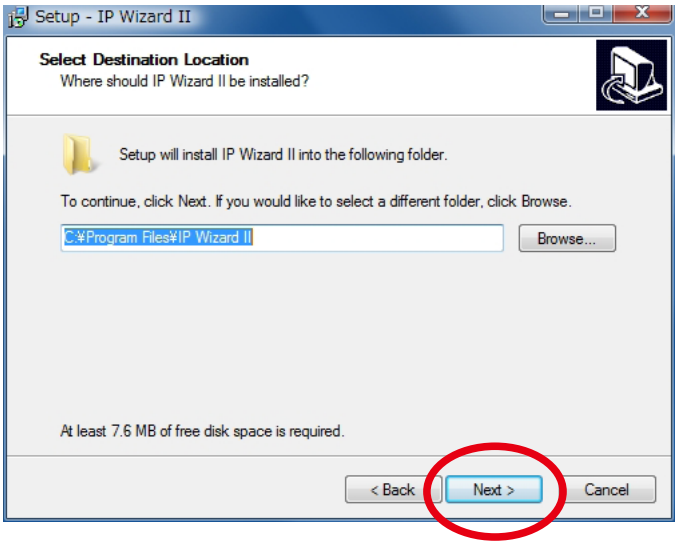
2-02 「IP Wizard Ⅱ」をインストールする

4 【Next】をクリックします。



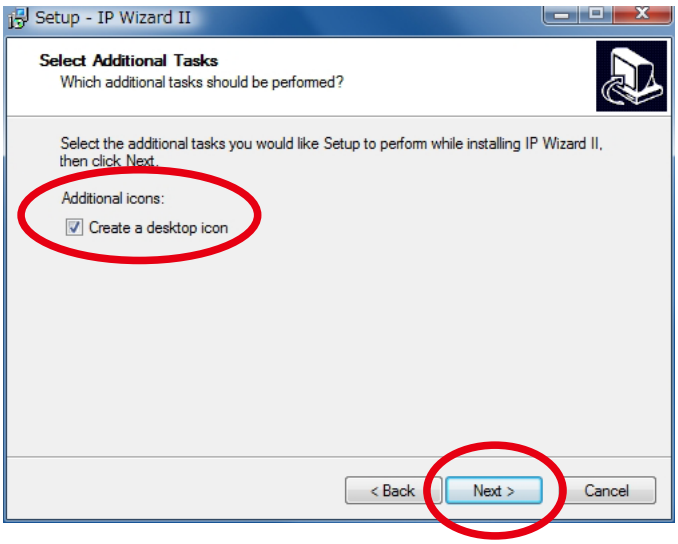
5 【Next】をクリックします。

※インストール先を変更する場合は、【Browse】をクリックしてパソコン内のインストール先を指定します。



6 デスクトップアイコンを作成する場合は、【Next】をクリックします。

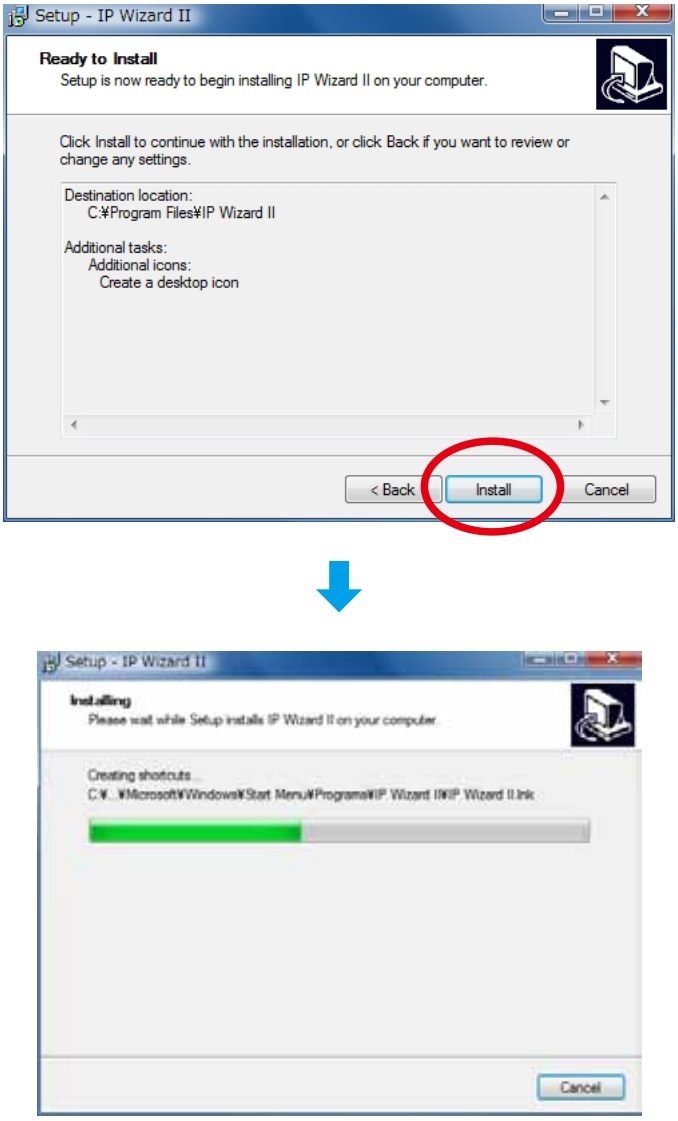
※デスクトップアイコンを作成しない場合は、【Create a desktop icon】の「✓」をクリックして外したあと【Next】をクリックします。



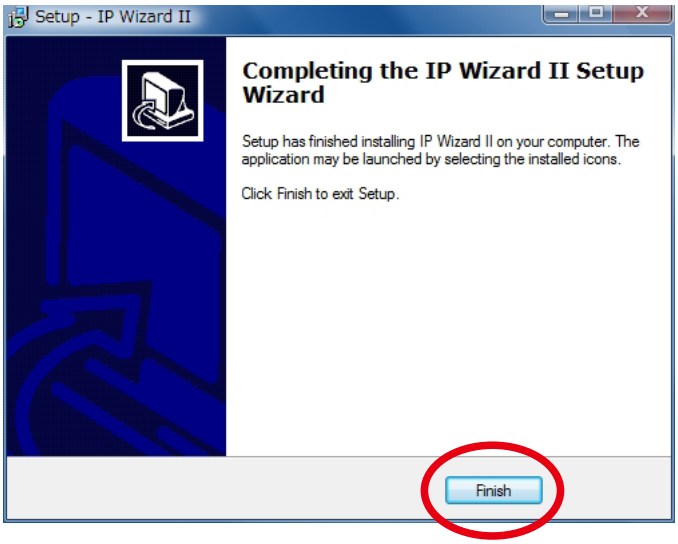
▼デスクトップアイコン

2-02 「IP Wizard Ⅱ」をインストールする

7 【Install】をクリックして、インストールを開始します。



8 【Finish】をクリックしてウィンドウを閉じます。



2-03 LAN内のパソコンからモニタリングする①

◆「IP Wizard Ⅱ」を使ってモニタリングする

モニタリング（カメラ映像を見ること）を行うライブ画面を開きます。

ライブ画面を表示するためには、Internet Explorer6.0以降（32bitのみ）が必要です。

1 パソコンで、「IP Wizard Ⅱ」のデスクトップアイコンをダブルクリックしてを起動します。
もしくは、「スタート」ー「プログラム」ー「IP Wizard Ⅱ」を選択して起動します。

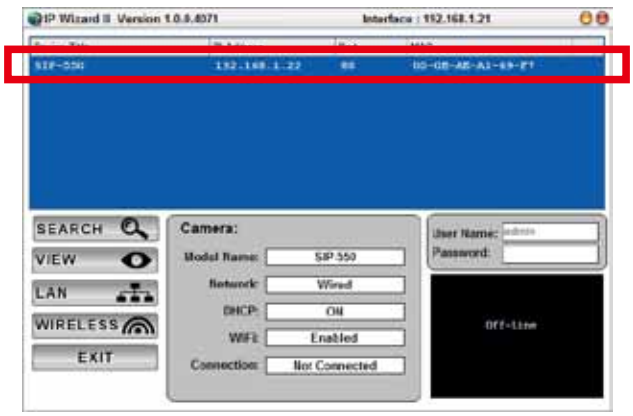
2 「ユーザーアカウント制御」の確認ウィンドウが表示されます。【許可】をクリックしてください。

インストール中、[インストール確認]、[セキュリティ警告]などのウィンドウが表示されることがあります。（表示されるタイミング回数は、パソコンのOS、Internet Explorer のバージョンなどにより異なります。）表示された時は、【インストールする】、【許可】等をクリックしてください。

3 ローカルエリアネットワーク内を自動的に検索し、接続されているカメラをリスト内に表示します。

※カメラがリスト内に表示されない場合は、【SEARCH】をクリックして、再度検索を行ってください。
それでもカメラを見つけることができない時は、カメラやルーター、パソコンの接続を確認してください。

※DHCP環境以外で接続している場合、もしくはカメラをパソコンに直接接続している場合には、カメラがリスト表示されるまでに時間がかかる場合があります。
（パソコンがネットワークを再構築している場合があります）
しばらく時間をおいて【SEARCH】をクリックして、再度検索を行ってください。



2-03 LAN内のパソコンからモニタリングする①

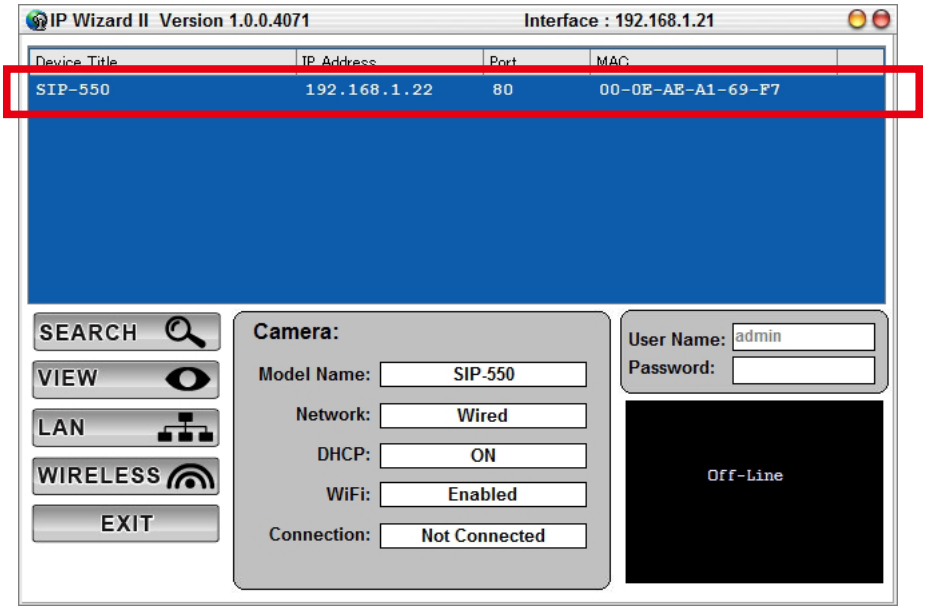
■リストに表示されるIPアドレスについて

●DHCP環境で接続しているの場合
ルーターが自動的にIP アドレスを割り当てます。

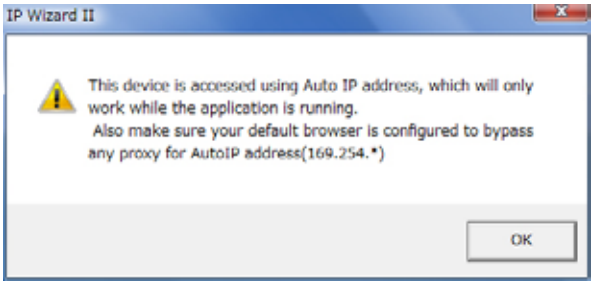
●DHCP環境以外で接続している場合（社内LAN など）
「192.168.0.100」のIPアドレスが割り当てられます。
※カメラを複数台接続している場合には、「IP Wizard Ⅱ」は、いずれか1台のカメラしか見つけることができません。それぞれのカメラのIPアドレスを固定に設定してください。
《設定方法➡[4-07 IPアドレスを固定にする]P.48》
※社内ネットワークの場合、ネットワーク管理者にご相談ください。

●カメラをパソコンに直接接続している場合
「192.168.0.100」のIPアドレスが割り当てられます。

4 リスト内に表示されているカメラをダブルクリックします。



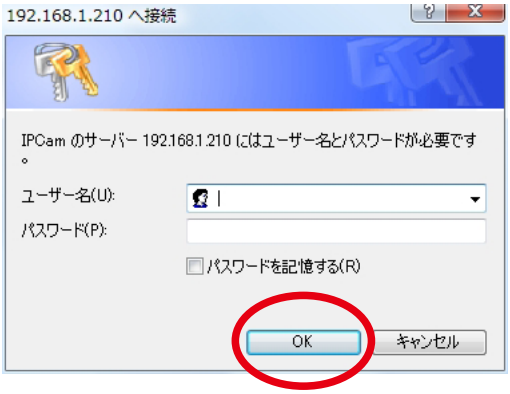
DHCP環境以外で接続している場合、もしくはカメラをパソコンに直接接続している場合には、下の警告画面が表示されます。【OK】をクリックます。
※無線で使用されていたカメラ（SIP-550）は、カメラをリセットしてください（カメラの設定は工場出荷値になります）。《リセットボタン➡P.13》



2-03 LAN内のパソコンからモニタリングする①

4 ユーザー名とパスワードの確認が表示されます。ユーザー名に「admin」と入力して、【OK】をクリックします。

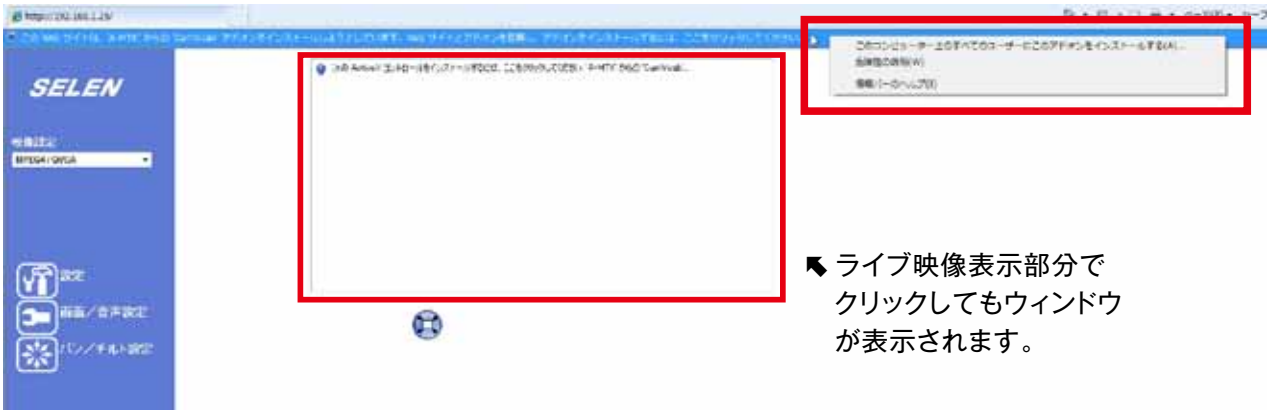
※初期値は、ユーザー名[admin]、パスワードは[空欄(無)]になっています。
セキュリティトラブル防止のため、パスワードを設定してください。
《設定方法➡[4-07 IPアドレスを固定にする]P.48》



5 Internet Explorer でライブ画面が立ち上がり、情報バーにセキュリティ警告が表示されます。

※Internet Explorer のセキュリティレベル設定などで、ライブ画面が開かなかったり、アドオン、ActiveX が機能しない場合があります。ライブ画面が表示されない場合は、セキュリティレベルの設定を調整してください。
※セキュリティレベルは、お客様の責任において設定をお願いします。

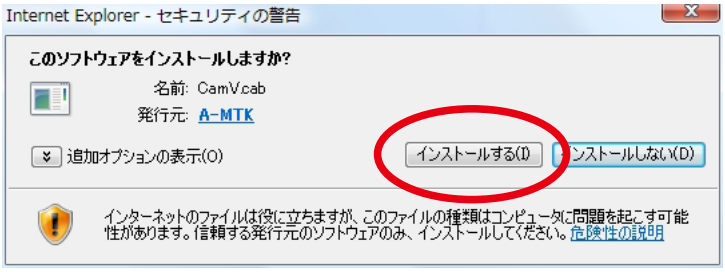
6 情報バーのセキュリティ警告上で一度クリックをしてウィンドウを表示し、[このコンピューター上のすべてのユーザーにこのアドオンをインストールする]をクリックします。



↖ ライブ映像表示部分でクリックしてもウィンドウが表示されます。

2-03 LAN内のパソコンからモニタリングする①

7 【インストールする】をクリックします。



8 ライブ画面内のライブ映像が表示されます。

㊟電源周波数60Hz 帯の地域にお住いのお客様へ

本製品は工場出荷時、電源周波数50Hz の設定になっています。ライブ映像がチラつく原因になることもありますので、設定変更をお願いします。設定方法は、下記の通りです。
①ライブ画面［設定］－［カメラ］－［映像］タブの順位にクリックして ［映像］の画面を表示します。
②［電源周波数］項目の［60Hz］側のチェックボタンをクリックして、【OK】をクリックします。
③SELEN ロゴ下の［ライブ画面］をクリックするとライブ画面に戻ります。

㊟時計表示について

カメラが、NTPサーバーに接続できない環境で長期間使用していると、時間の表示は少しづつズレが生じます（初期値）。その際は、定期的に日時の設定をしてください。
《設定方法➡［5-15 日時設定］P.79》

2-04 LAN内のパソコンからモニタリングする②

◆ Webブラウザ（Internet Explorer）からモニタリングする

カメラは、「IP Wizard Ⅱ」を使わずにInternet Explorerでモニタリングすることができます。

1 カメラと同じネットワーク内のパソコンでInternet Explorer を起動します。

2 アドレスバーに［http://］＋［ローカルのIP アドレス］＋［:（コロン）］＋［HTTPポートに設定した番号］を入力します。※ローカルネットワーク上では、ポート番号の入力を省略することができます。

http:// カメラのIPアドレス ： ポート番号

IPアドレスについて

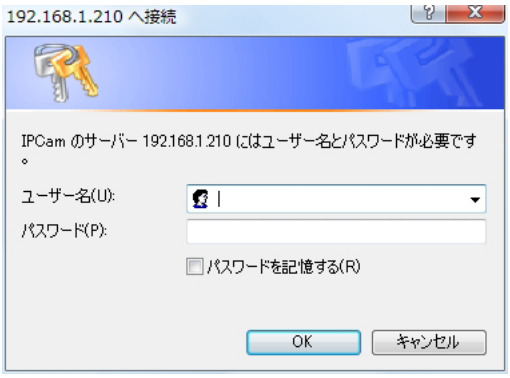
●ネットワーク上にDHCP環境がある場合
カメラのIPアドレスはDHCP サーバーから自動で割り当てられます（初期設定時）。
「IP Wizard Ⅱ」を起動して確認するか、DHCPサーバーで確認してください。

●ネットワーク上にDHCP サーバーがない場合
カメラのIPアドレスは「192.168.0.100」、ポート番号「80」が割り当てられます。
ネットワーク環境が「192.168.0. ××」であればアドレスバーに「192.168.0.100」を入力します。
ネットワーク環境が「192.168.0. ××」でない場合は、一旦「IP Wizard Ⅱ」で接続して、ネットワーク環境に合わせたIPアドレスを設定してください。《設定方法➡［4-07 IPアドレスを固定にする］P.48》

●カメラをパソコンに直接接続している場合
パソコンのIP アドレスを「192.168.0. ××」、サブネットマスクを「255.255.255.0」に設定した後、アドレスバーに「192.168.0.100」を入力します。

3 ユーザー名とパスワードの確認が表示されます。ユーザー名とパスワードを入力して、【OK】をクリックします。

※初期値は、ユーザー名［admin］、パスワードは［空欄（無）］になっています。



4 ライブ画面が表示されます。

※見ているパソコンから初めてカメラにアクセスした場合には、「IP Wizard Ⅱ」からのモニタリングと同様にセキュリティ警告が表示されます。
《参照➡［2-03 LAN内のパソコンからモニタリングする］P.21》

2-05 ライブ画面について

ライブ画面の表示について

3

SIP-550
無線接続設定

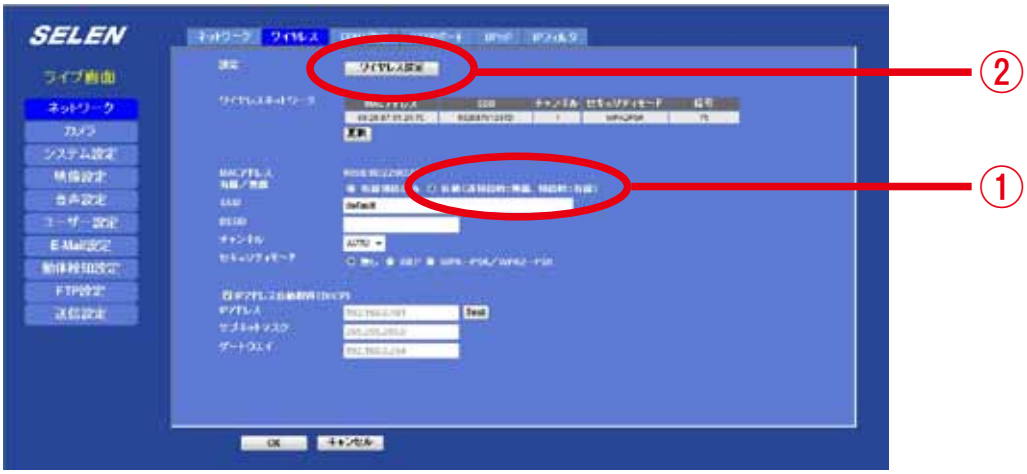
3-01　無線LANで接続する …… P.28
3-02　無線LAN 接続時のIP アドレス設定…… P.34

3-01 無線LANで接続する

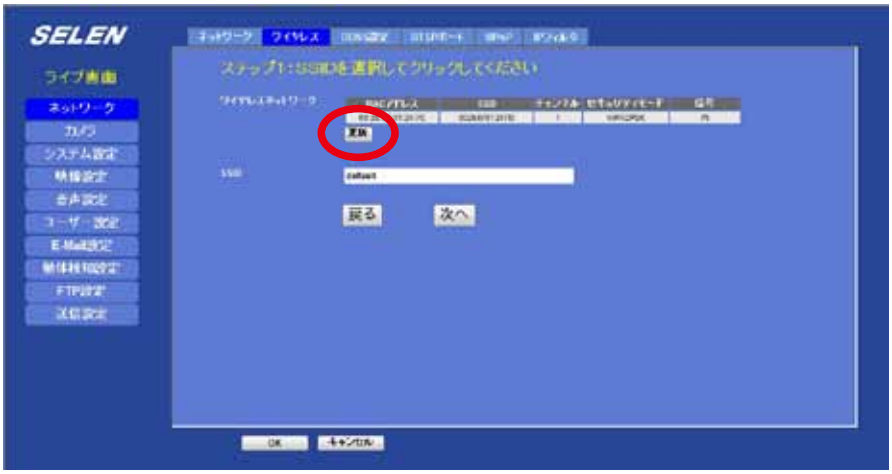
「SIP-550」は、IEEE802.11g/b 対応の無線LANでネットワークに接続できます。
設定は、有線LAN を接続した状態で行います。また、電波状況の良い環境で無線接続するブロードバンドルーターとカメラ（SIP-550）が近くに見える範囲で行ってください。

1 カメラ（SIP-550）がルーターとLAN ケーブルで接続され、かつローカルエリアネットワークでモニタリングできる状態で、ライブ画面［設定］－［ネットワーク］－［ワイヤレス］タブの順にクリックして［ワイヤレス］の画面を表示します。

2 ［有線／無線］項目の［自動（非接続時:無線、接続時:有線）］のチェックボタンをクリックして選択した後に、【ワイヤレス設定】をクリックします。
※初期設定は［自動］になっています。



3 〔SSIDの設定〕
［ステップ1］画面が表示されます。
【更新】をクリックして一覧を更新します。



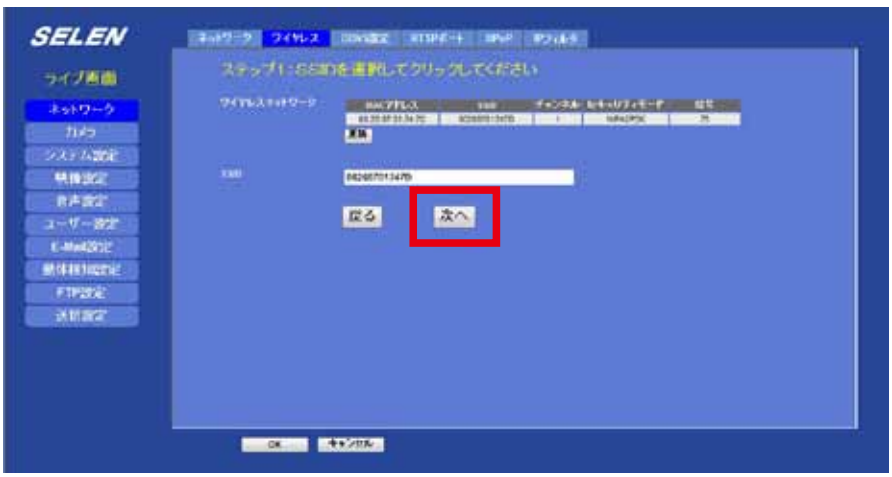
3-01 無線LANで接続する

4 更新された一覧から、ワイヤレス接続するルーターのSSID をクリックします。
［SSID］欄にSSIDが自動入力されます。

※英数字で手入力もできますが、誤入力を防ぐためにも［SSID］をクリックして自動入力をご使用ください。

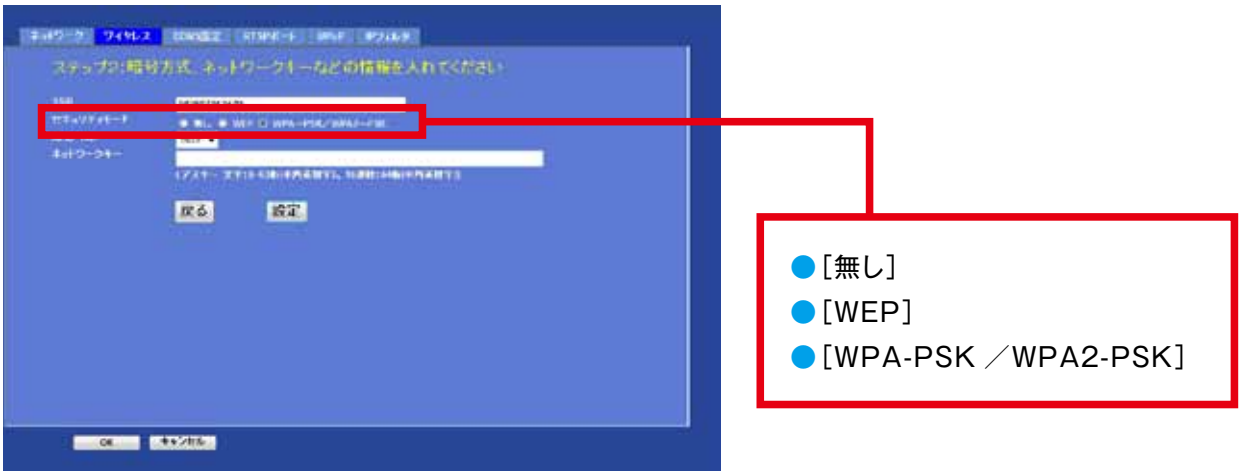
5 【次へ】をクリックします。

※【戻る】をクリックすると前の画面に戻ります。



6 〔セキュリティモードの設定〕

［ステップ2］画面が表示されます。
ルーターに設定している［セキュリティモード］が自動的に選択されます。



セキュリティは、下記の順で強固になります。

WEP ＜ WPA-PSK（TKIP） ＜ WPA-PSK（AES） ＜ WPA2-PSK

7

6で選択された［無し］、［WEP］、［WPA-PSK ／WPA2-PSK］の項目によって、それぞれ異なる設定項目が表示されます。

●［無し］の場合

入力項目はありません。
【設定】をクリックします。

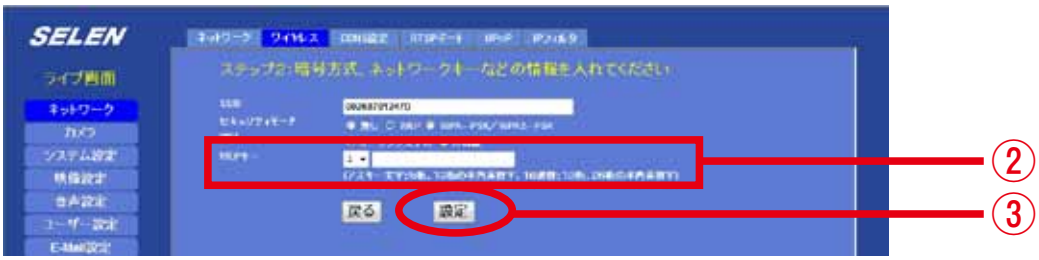
3-01 無線LANで接続する

●［WEP］の場合

①ルーターに設定している［認証］と同じ項目のチェックボタンをクリックして選択します。
［オープンシステム］
［共有鍵］

②ルーターに設定している［WEP キー］と同じ数字をプルダウン（1 ～4）から選択します。
また、設定されている文字を入力します。

③【設定】をクリックします。

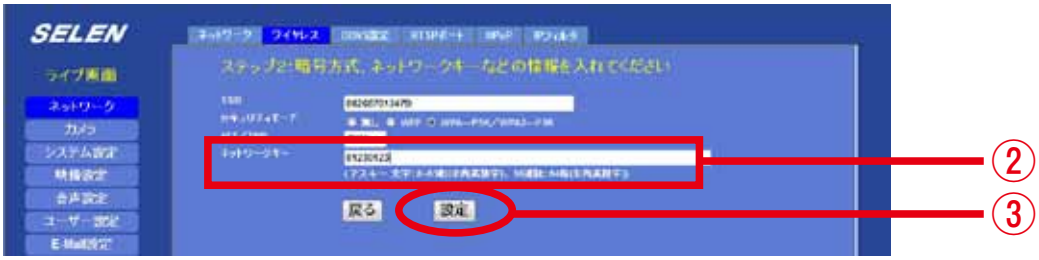


●［WPA-PSK ／WPA2-PSK］の場合

①ルーターに設定している暗号方式と同じ暗号方式を［AES ／TKIP］のプルダウンから選択します。
［AES］
［TKIP］
※ルーター側で暗証方式が「自動選択」の場合は、どちらを選択しても構いませんが、セキュリティが強固なAESをおすすめします。

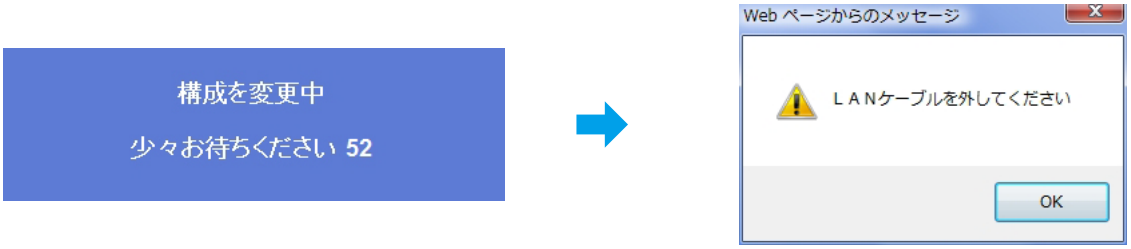
②ルーターに設定しているものと同じネットワークキーを［ネットワークキー］項目に入力します。
※右の「01230123」は、例です。

③【設定】をクリックします。



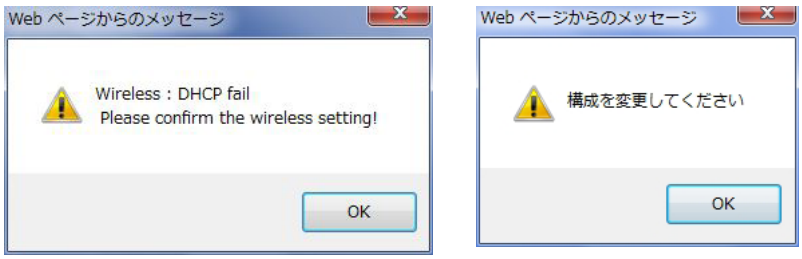
3-01 無線LANで接続する

8 [構成を変更中]が表示されます。
画面終了後、[LAN ケーブルを外してください]ウィンドウが表示されたら、【OK】をクリックします。



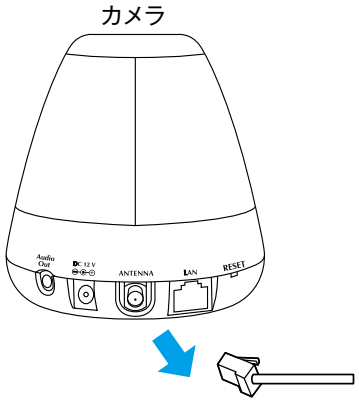
■設定が失敗している場合

[Wireless : DHCP fail Please confirm the wireless setting]、もしくは[構成を変更してください]ウィンドウが表示された場合は、この時点で設定に失敗しています。
一度SELEN ロゴ下の[ライブ画面]をクリックして、最初から設定し直してください。



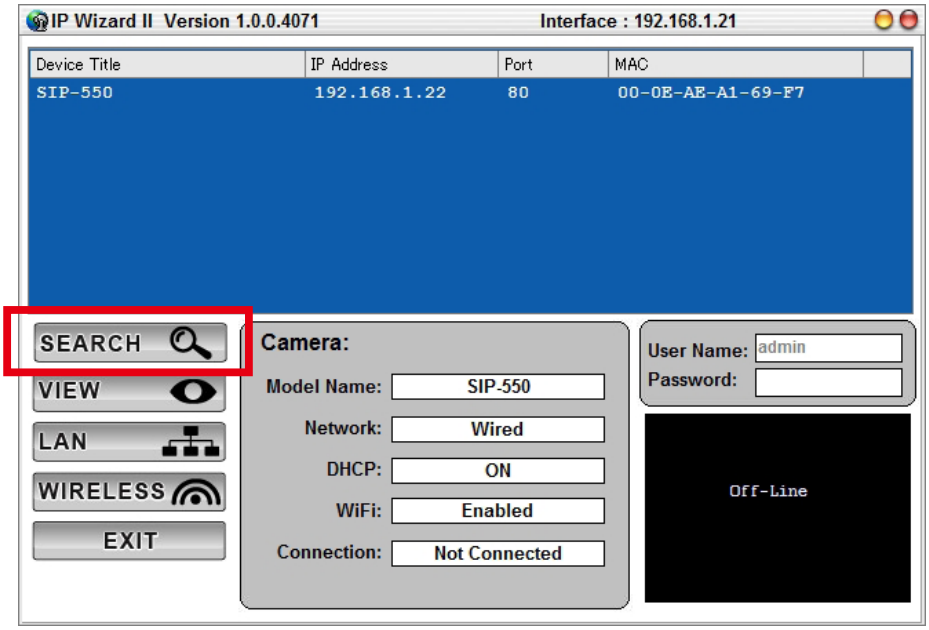
■間違えやすい入力事項　※ルーターで設定されている内容を正確に入力してください。
[SSID]
[セキュリティーモード]
[AES/TKIP]
[ネットワークキー]
[認証]
[WEP キー]

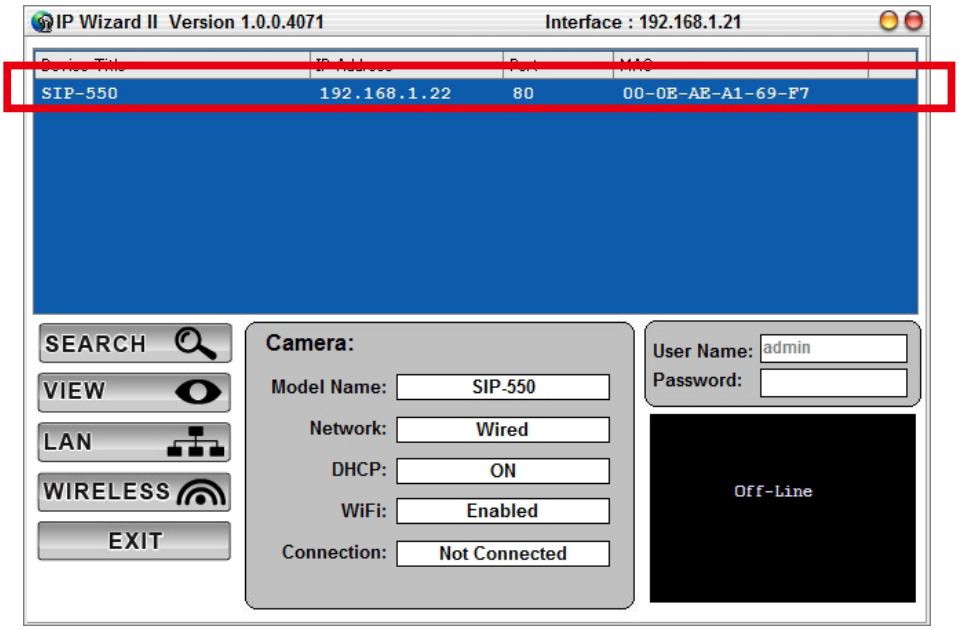
9 Internet Explorerを閉じ、本体からLANケーブルを外してください。
※専用ACアダプターは、抜かないでください。



3-01 無線LANで接続する

10 IP Wizard Ⅱの【SEARCH】をクリックして、カメラを検索します。
［ワイヤレス］設定したカメラが表示されていれば設定は完了です。





■無線設定したカメラが見つからない、
**　または右のウィンドウが表示された場合**

少し時間をおいてから、再度【SEARCH】をクリックします。
㊟アドレスなどの設定変更をしてから検索するまでの時間が短いと、
　検索に失敗することがあります。
［ワイヤレス］設定したカメラが表示されていれば設定は完了です。
症状が変わらない場合は、最初から設定をやり直してください。

3-02 無線LAN接続時のIPアドレス設定

無線LAN 接続時でも、有線LAN 接続時と同様に個別のIPアドレスが割り当てられます。
無線LAN接続を固定のIPアドレスにする必要がある場合には、設定を変更してください。
※設定の変更は、必ず有線接続した状態で行ってください。また、ワイヤレス設定《設定方法➡[3-01 ワイヤレス設定]P.28》を設定後に行ってください。

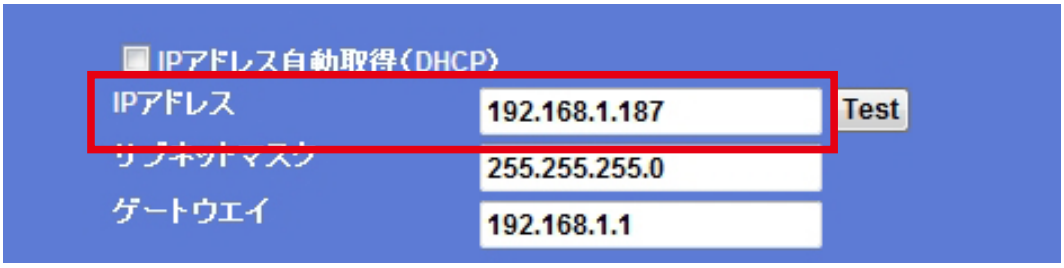
1 ライブ画面［設定］－［ネットワーク］－［ワイヤレス］タブの順にクリックして［ワイヤレス］の画面を表示します。

2 **IP アドレスを自動取得する➡** ［IPアドレス自動取得］の□をクリックして☑にします（初期設定）。
6に進みます。

IP アドレスを固定にする ➡ ［IPアドレス自動取得］の☑をクリックして✓マークを外します。

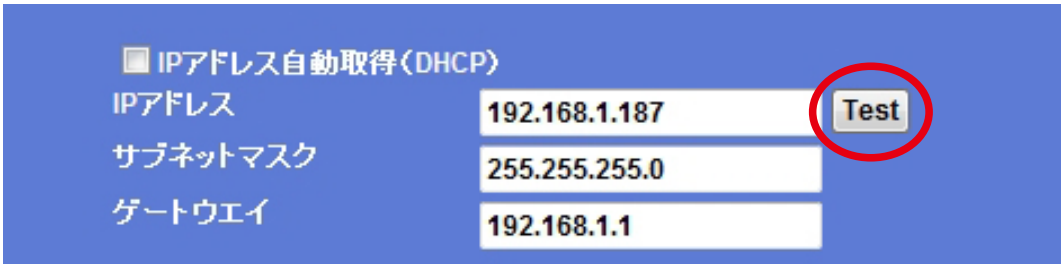
3 設定したいIPアドレス（ルーターのDHCP機能範囲外の任意IPアドレス）を入力をします。

㊟DHCP機能を使用していないネットワーク環境で使用される場合は、ネットワーク管理者に確認のうえ、設定を行ってください。



3-02 無線LAN接続時のIPアドレス設定

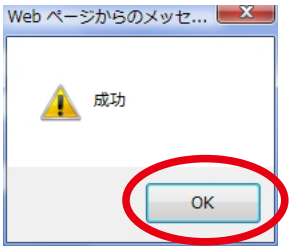
4 【Test】をクリックします。



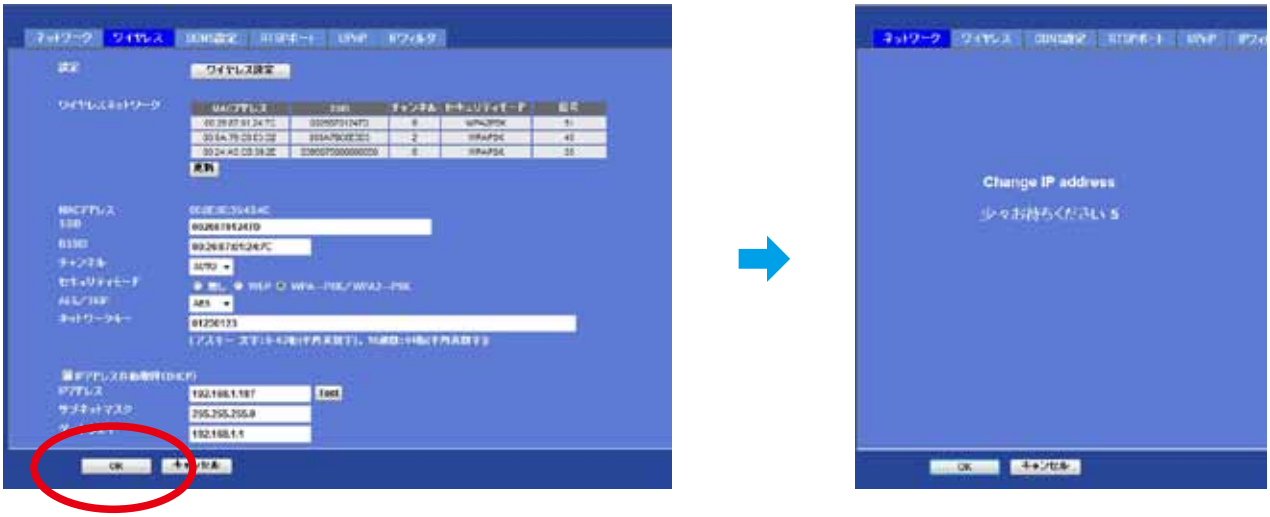
5 [成功]のウィンドウが表示されたら、【OK】をクリックします。

[This address is in use!]のウィンドウが表示された場合は、設定したIPアドレスが他の機器等で使用されています。【OK】をクリックして、3から別のIPアドレスで設定し直してください。

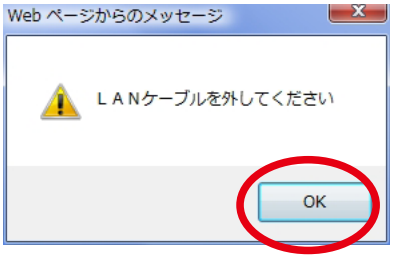
㊟接続しているルーターによっては、ホームネットワークカメラを設定しているパソコンのIPアドレスを[成功]と表示する場合があります。パソコンのIPアドレスがルーターのDHCP機能範囲外に設定されている場合は注意が必要です。



6 【OK】をクリックします。
設定変更を開始します。

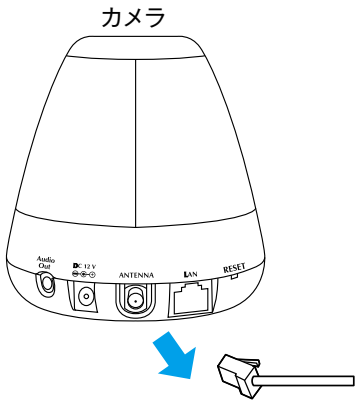


7 画面終了後、[LAN ケーブルを外してください]ウィンドウが表示されたら、【OK】をクリックします。

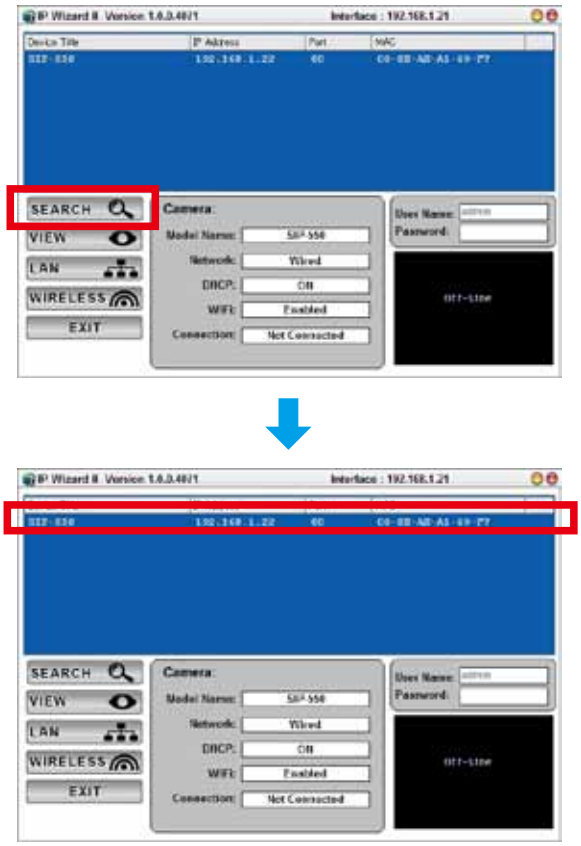


3-02 無線LAN接続時のIPアドレス設定

8 Internet Explorerを閉じ、本体からLANケーブルを外してください。
※専用ACアダプターは、抜かないでください。



9 IP Wizard Ⅱの【SEARCH】をクリックして、カメラを検索します。
［ワイヤレス］設定したカメラが表示されていれば設定は完了です。

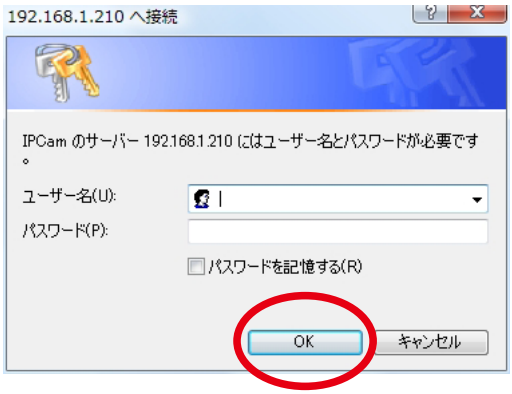


■無線設定したカメラが見つからない場合

少し時間をおいてから、再度【SEARCH】をクリックします。
㊟アドレスなどの設定変更をしてから検索するまでの時間が短いと、検索に失敗することがあります。
［ワイヤレス］設定したカメラが表示されていれば設定は完了です。
症状が変わらない場合は、最初から設定をやり直してください。

10 ユーザー名とパスワードの確認が表示されます。
［ユーザー名］と［パスワード］を入力して、【OK】をクリックします。

※初期値は、ユーザー名［admin］、パスワードは［空欄（無）］になっています。



11 ライブ画面表示されます。

4

インターネット接続とモニタリング

4-01 インターネット接続 …… P.38
4-02 インターネット経由でモニタリングする …… P.40
4-03 iPhoneでモニタリングする …… P.42
4-04 iPhoneでモニタリングする時の操作 …… P.43
4-05 UPnP 設定 …… P.45
4-06 IPアドレスを自動的に取得する …… P.46
4-07 IPアドレスを固定にする …… P.48
4-08 HTTPポートを設定する …… P.51
4-09 DDNS 設定 …… P.53

4-01 インターネット接続

本製品は、離れた場所からインターネットに接続できるパソコン・iPhone からモニタリングすることができます。インターネット経由でモニタリングする場合は、あらかじめカメラ・ルーター等の設定が必要です。

インターネット環境イメージ

※1：一部の機能が制限されます。 ※画面はイメージです。

接続の流れ

1 ネットワークカメラの確認

ローカルエリアネットワーク内でモニタリングができることを確認します。

2 DDNSドメインの取得

●DDNS対応ルーターなどでドメインを取得する場合

ルーターなどの取扱説明書を参照して取得してください。
※使用する機器は、ネットワークカメラと同じローカルネットワーク内にあることが必要です。

●「DynDNS」を使ってドメインを取得する場合

本製品は、「DynDNS」のDDNS機能に対応しています。
「DynDNS」を使用する場合は、あらかじめ登録と設定が必要です。
また、IP更新のため月1回のログインが必要です。(2011.8 時点)
《設定方法➡［4-09 DDNS設定］P.53》

3 ポート開放

インターネット経由でアクセスするには、ルーターのポートを開放する必要があります。
ポートの開放には、次の2 通りの方法があります。

UPnP機能でポートを開放する

ルーターがUPnP機能に対応している場合は、カメラ側を設定するだけでルーターが自動的にポートを開放します。

手順

❶IPアドレスを自動取得に設定します。
《設定方法➡［4-06 IPアドレスを自動で取得する］P.46》

❷［UPnP］設定します。
《設定方法➡［4-05 UPnP設定］P.45》

※ルーター側にUPnP機能があることをご確認ください。
※他の機器でUPnP機能を使用している場合、他の機器のポートがカメラに割り当てられてしまうことがあります。
そのような場合には、ポートフォワーディングによるポート開放をおすすめします。

ポートフォワーディングでポートを開放する

ルーターがUPnP機能に対応していない場合は、カメラ側とルーター側両方の設定が必要です。

手順

❶IPアドレスを固定に設定します。
《設定方法➡［4-07 IPアドレスを固定にする］P.48》

❷LAN内で他の機器と重複しないHTTPポートを設定します。
《設定方法➡［4-08 HTTPポートを設定する］P.51》

❸❶❷で設定したIPアドレスとHTTPポート番号をルーター側でポートフォワーディング設定します。
ルーターなどの取扱説明書を参照してください。

※ルーターによってポートフォワーディング機能を、アドレス変換、静的IP マスカレード、バーチャルサーバー、仮想サーバー、またはポートマッピングと説明している場合があります。

1 2 3 で準備完了です。

4-02 インターネット経由でモニタリングする

外出先や遠隔地からインターネット経由でモニタリングすることができます。

1 インターネット接続されているパソコンでInternet Explorerを起動します。

2 アドレスバーに下記のどちらかを入力します。
※「ポート番号」は、ポート開放したポートの番号です。

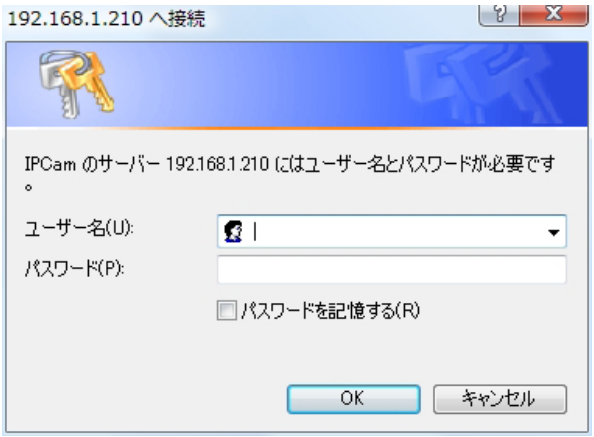
http:// DDNS ドメイン ： ポート番号

or

http:// グローバルIPアドレス ： ポート番号

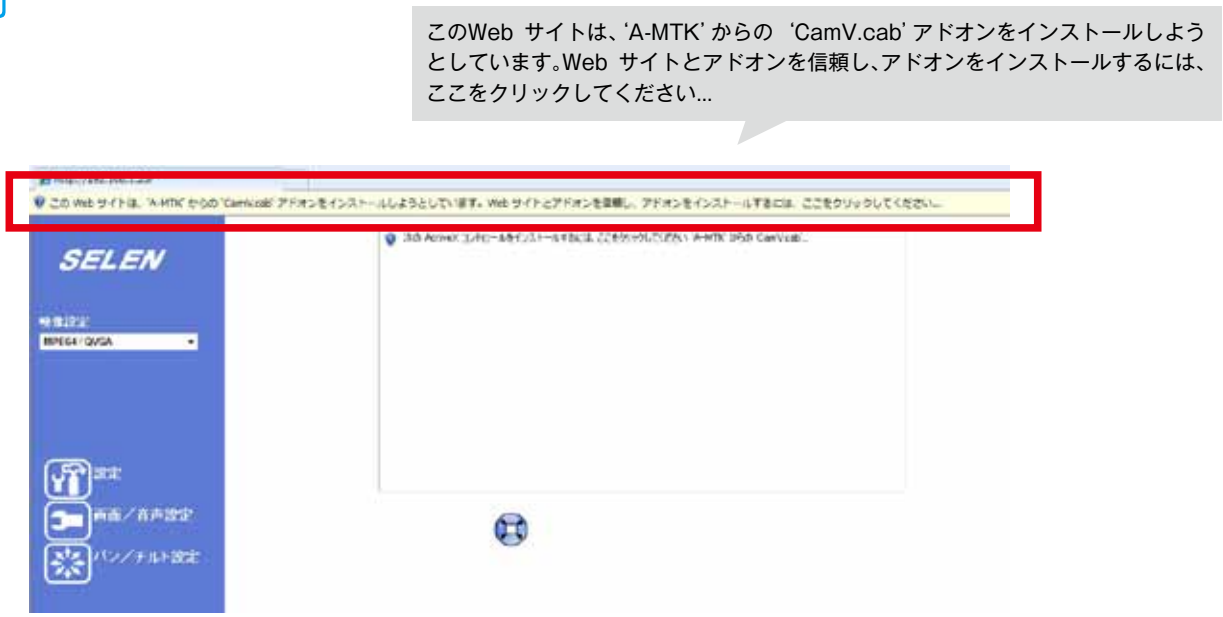
3 設定した［ユーザー名］と［パスワード］を入力してください。

※初期値は、ユーザー名「admin」、パスワードは［空欄］無になっています。



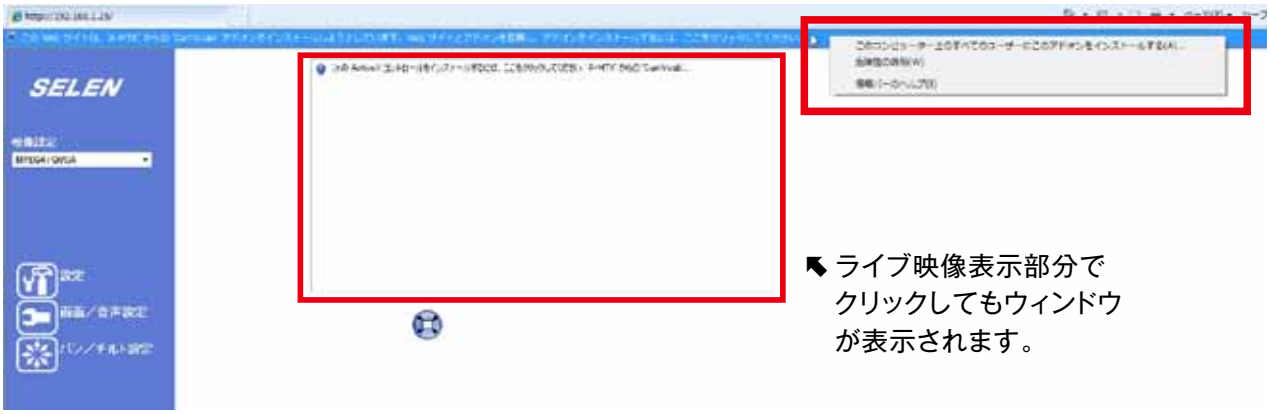
4-02 インターネット経由でモニタリングする

4 Internet Explorer でライブ画面が立ち上がり、情報バーにセキュリティ警告が表示されます。



※Internet Explorer のセキュリティレベル設定などで、ライブ画面が開かなかったり、アドオン、ActiveX が機能しない場合があります。ライブ画面が表示されない場合は、セキュリティレベルの設定を調整してください。
※セキュリティレベルは、お客様の責任において設定をお願いします。

5 情報バーのセキュリティ警告上で一度クリックをしてウィンドウを表示し、[このコンピューター上のすべてのユーザーにこのアドオンをインストールする] をクリックします。



↖ ライブ映像表示部分でクリックしてもウィンドウが表示されます。

6 ライブ画面が表示されます。

4-03 iPhoneでモニタリングする

iPhoneからインターネット接続してモニタリングすることができます。

1 iPhoneのウェブブラウザを立ち上げます。

2 ウェブブラウザのアドレスバーに下記のどちらかを入力します。
※ローカルエリアネットワーク内で接続する場合は、カメラの［IPアドレス］＋［:（コロン）］＋［HTTPポートに設定した番号］を入力します。（無線ルーターの環境でWiFi接続の場合）
※「ポート番号」は、ポート開放したポートの番号です。

http:// DDNS ドメイン ： ポート番号

or

http:// グローバルIPアドレス ： ポート番号

3 ユーザー名とパスワードの確認が表示されますので、設定したユーザー名とパスワードを入力します。

※初期値は、ユーザー名「admin」、パスワードは［空欄］無になっています。

4 ライブ画面（IPCAM画面）が表示されます。

4-04 iPhoneでモニタリングする時の操作

ライブ映像をタップすると、
下のパン･チルト操作画面に
移動します。

㊟黄色い丸で囲まれた2 つのボタンは、操作できません。

[ホーム]を押すと、
上の画面に移動します。

[▲][▼][◀][▶]で、
パン/ チルト機能を
操作できます。

矢印が表示されて、その
方向に移動します。
例 [▶]を押した場合

4-04 iPhoneでモニタリングする時の操作

IPCAM 画面

[ORIGINAL WEB]をタップ
すると、下の画面に移動します。

ORIGINAL WEB 画面

左の画面に戻る時は、ブラウザの
[戻る]ボタンを押します。

基本的な操作は、パソコン上で
の操作と同じですが、一部機能
が制限されます。

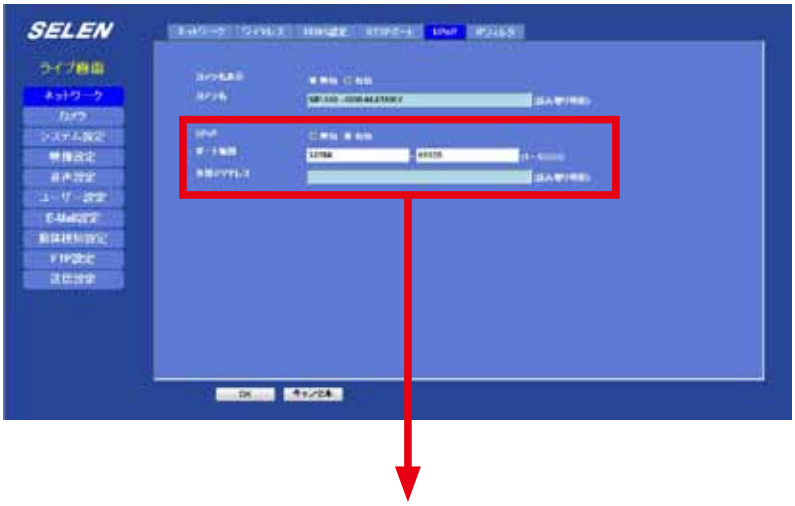
IPCAM 画面では、ライブ映像が約2 ～3秒ごとに1 更新します。
※ネットワークの状況によっては、さらに時間がかかる場合があります。

ORIGINAL WEB 画面の方が、比較的スムーズな動きでライブ映像を確認することができます。

4-05 UPnP設定

UPnP対応ルーターを使用して簡単にポート設定ができます。
※ルーター側にＵＰｎＰ機能があることをご確認ください。

1 ライブ画面［設定］－［ネットワーク］－［UPnP］タブの順にクリックして［UPnP］の画面を表示します。



2 ［UPnP］の【有効】のチェックボタンをクリックして選択します。

［ポート範囲］を変更する場合は、数値を入力します。

3 【OK】をクリックします。

［外部IPアドレス］の欄に、アドレスが表示されます。
※少し時間がかかる場合があります。
※一度、アドレスが表示された後に【キャンセル】をクリックすると、アドレスの表示は消えますが、設定はキャンセルされません。
［無効］を選択して【OK】をクリックして、設定を上書きしてください。
※［外部IPアドレス］がルーター側に設定される際、同じネットワーク内にある他の機器等のポート設定が変わってしまう場合があります。

UPnP設定で開放されたポート番号
※：(コロン)の後ろの数値です。

4 「SELEN」ロゴ下の［ライブ画面］をクリックしてライブ画面に戻ります。

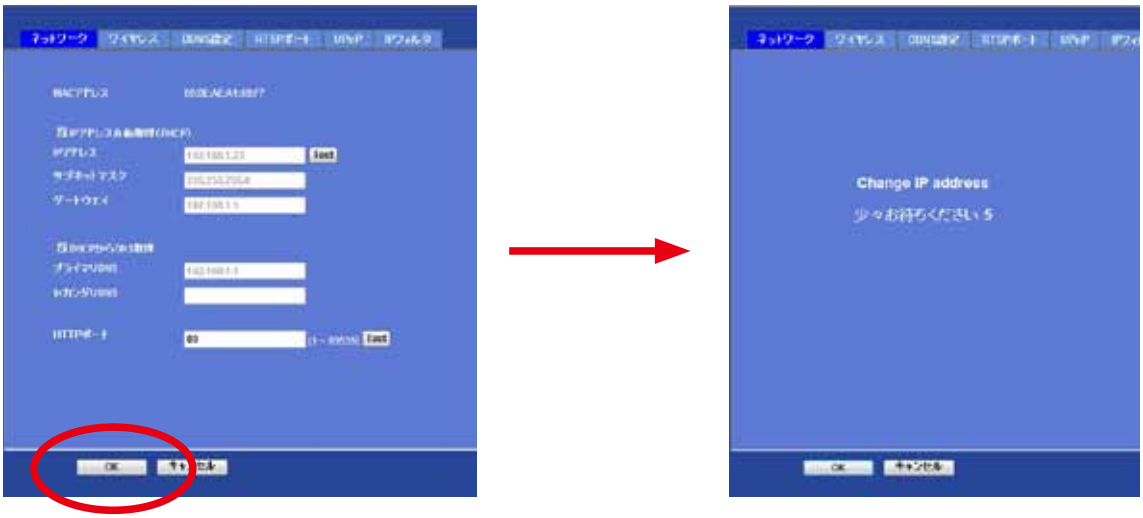
4-06 IPアドレスを自動的に取得する

DHCP機能を使用して、IPアドレスを自動的に取得することができます。(初期設定値)

1 ライブ画面 [設定] ー [ネットワーク] ー [ネットワーク] タブの順にクリックして [ネットワーク] の画面を表示します。

2 [IPアドレス自動取得] の□をクリックして☑にします。

3 【OK】をクリックします。
設定変更を開始します。

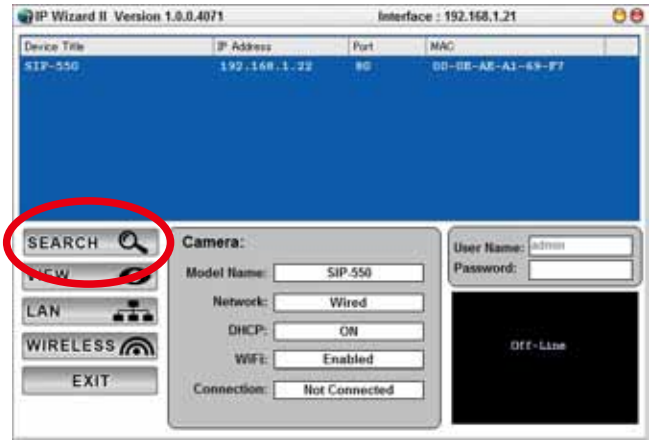


4-06 IPアドレスを自動的に取得する

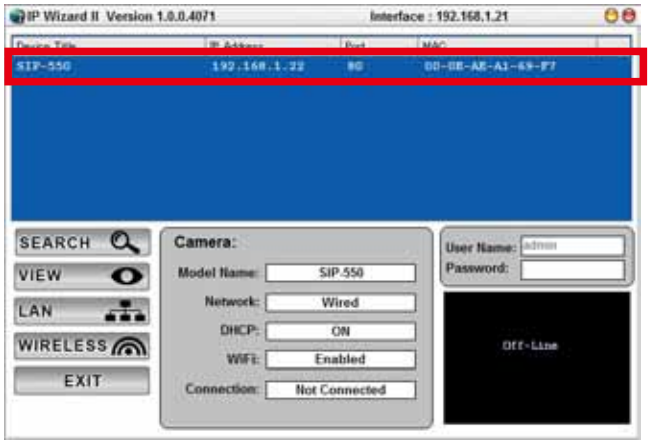
4 【OK】をクリックします。

5 Internet Explorer を閉じます。

6 「IP Wizard Ⅱ」で【SEARCH】をクリックして再検索ます。



7 カメラをダブルクリックして、ライブ画面を開きます。



4-07 IPアドレスを固定にする

ポートフォワーディングする場合、社内LAN などの固定IPアドレスを割り当てているネットワーク環境で使用する際にIPアドレスを固定する必要がでてくる場合があります。

1 ライブ画面 [設定] ー [ネットワーク] ー [ネットワーク] タブの順にクリックして [ネットワーク] の画面を表示します。

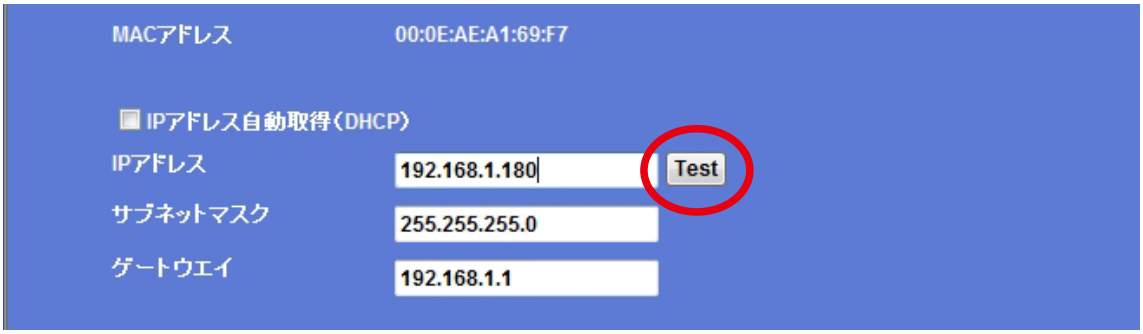
2 [IPアドレス自動取得] の☑をクリックして✓マークを外します。

3 設定したいIPアドレス（ルーターのDHCP機能範囲外の任意IPアドレス）を入力をします。

㊟DHCP機能を使用していないネットワーク環境で使用される場合は、ネットワーク管理者に確認のうえ、設定を行ってください。

4-07 IPアドレスを固定にする

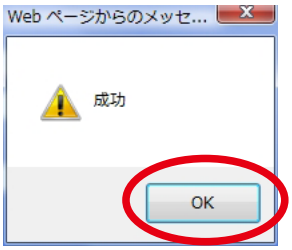
4 【Test】をクリックします。



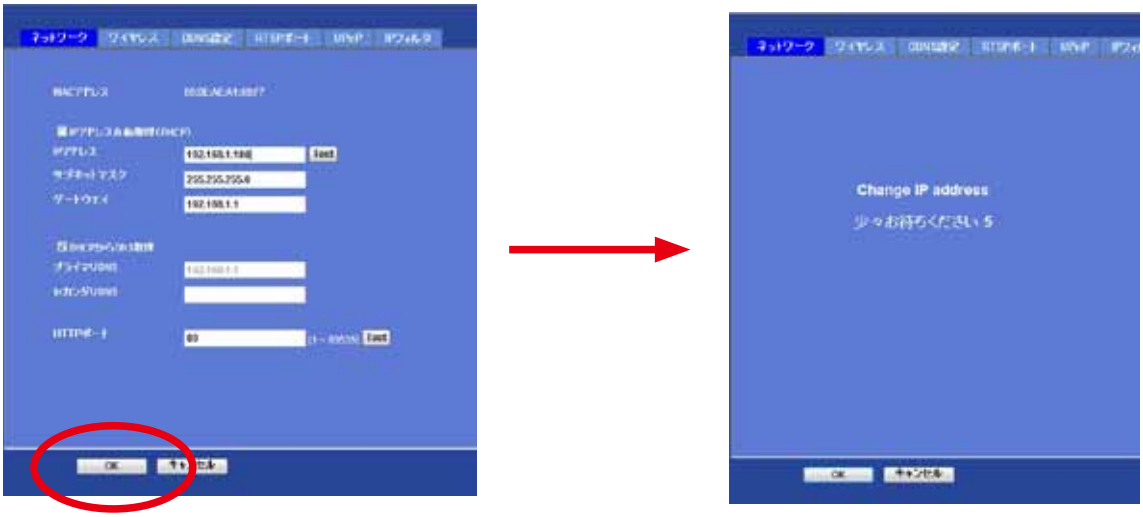
5 [成功]のウィンドウが表示されたら、【OK】をクリックします。

[This address is in use!]のウィンドウが表示された場合は、設定したIPアドレスが他の機器等で使用されています。【OK】をクリックして、3から別のIPアドレスで設定し直してください。

㊟接続しているルーターによっては、ホームネットワークカメラを設定しているパソコンのIPアドレスを[成功]と表示する場合があります。パソコンのIPアドレスがルーターのDHCP機能範囲外に設定されている場合は注意が必要です。

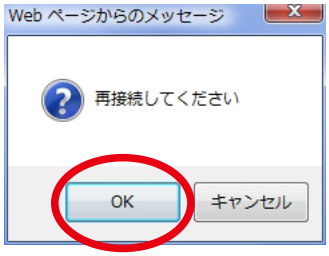


6 【OK】をクリックします。
設定変更を開始します。



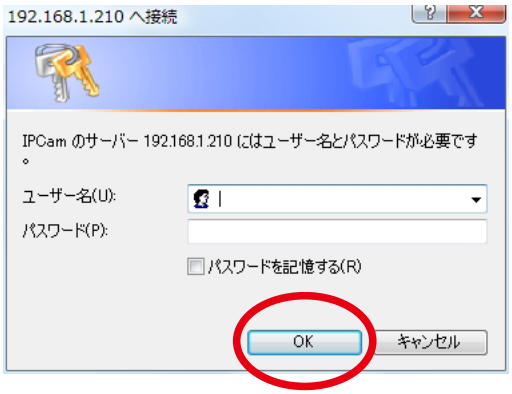
4-07 IPアドレスを固定にする

7 【OK】をクリックします。



8 ユーザー名とパスワードの確認が表示されます。
[ユーザー名]と[パスワード]を入力して、【OK】をクリックします。

※初期値は、ユーザー名[admin]、パスワードは[空欄（無）]になっています。



9 ライブ画面に戻ります。

4-08 HTTPポートを設定する

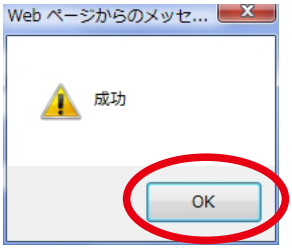
1 ライブ画面［設定］－［ネットワーク］－［ネットワーク］タブの順にクリックして［ネットワーク］の画面を表示します。

2 ［HTTPポート］に任意の番号を入力します。
㊟同じLAN内で他の機器が使用していない番号を入力します。

3 【Test】をクリックします。

4 ［成功］のウィンドウが表示されたら、【OK】をクリックします。

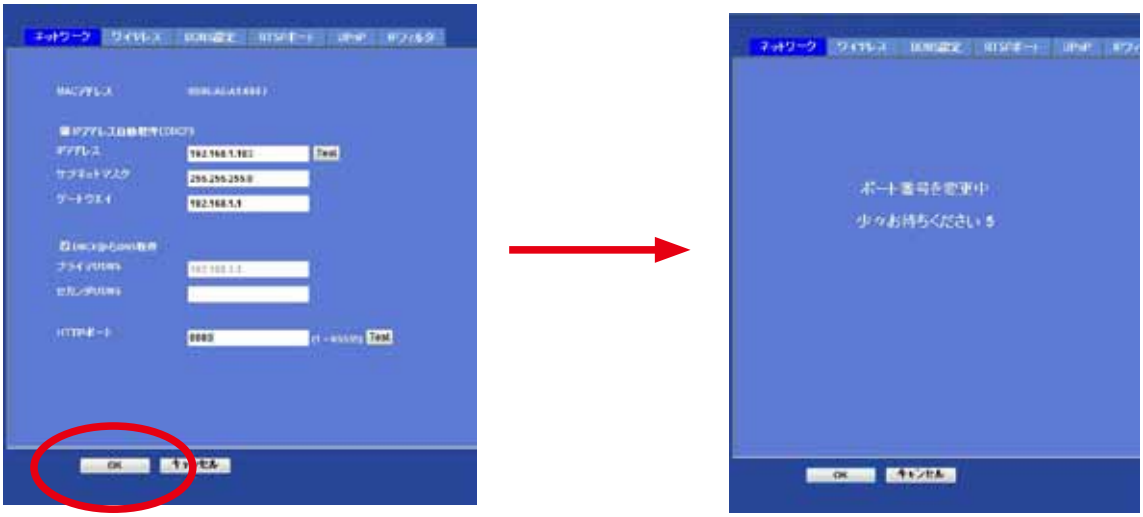
［The port is be used!］のウィンドウが表示された場合は、カメラの他の設定項目で使用されています。
【OK】をクリックして、2から別のポート番号で設定し直してください。



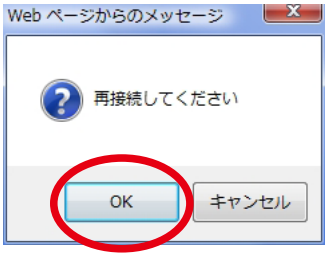
㊟【Test】では、他のネットワーク機器で使用しているポート番号はチェックできません。

4-08 HTTPポートを設定する

5 【OK】をクリックします。
設定変更を開始します。

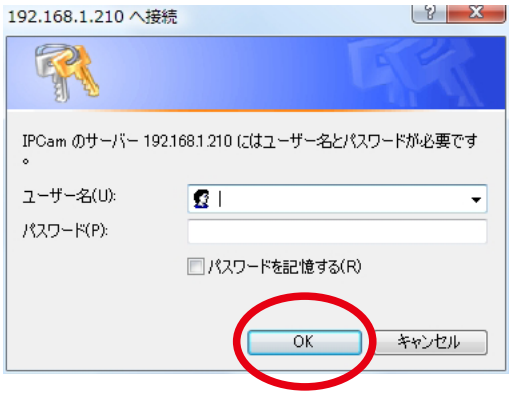


6 【OK】をクリックします。



7 ユーザー名とパスワードの確認が表示されます。
[ユーザー名]と[パスワード]を入力して、【OK】をクリックします。

※初期値は、ユーザー名[admin]、パスワードは[空欄（無）]になっています。



8 ライブ画面に戻ります。

4-09 DDNS設定

カメラのDynDNSのDDNS機能を使用するための設定をすることができます。

本機は、DynDNSのDDNS機能に対応しています。
カメラの設定をする前に、下記のサイトで「ホスト名・ユーザー名・パスワード」の登録を行ってください。
http://www.dyn.com/dns/

1 ライブ画面［設定］－［ネットワーク］－［DDNS 設定］タブの順にクリックして［DDNS 設定］の画面を表示します。

2 各項目の設定内容・設定方法は、次の通りです。

項目	設定内容/ 設定方法
DDNS 設定	DynDNSのDDNS機能を使用するときは、［有効］をクリックして選択します。
サーバー名	（DynDNS専用）
ホスト名	あらかじめDynDNSで登録した内容を入力します。
ユーザー名	
パスワード	

3 【OK】をクリックします。

4 「SELEN」ロゴ下の［ライブ画面］をクリックしてライブ画面に戻ります。

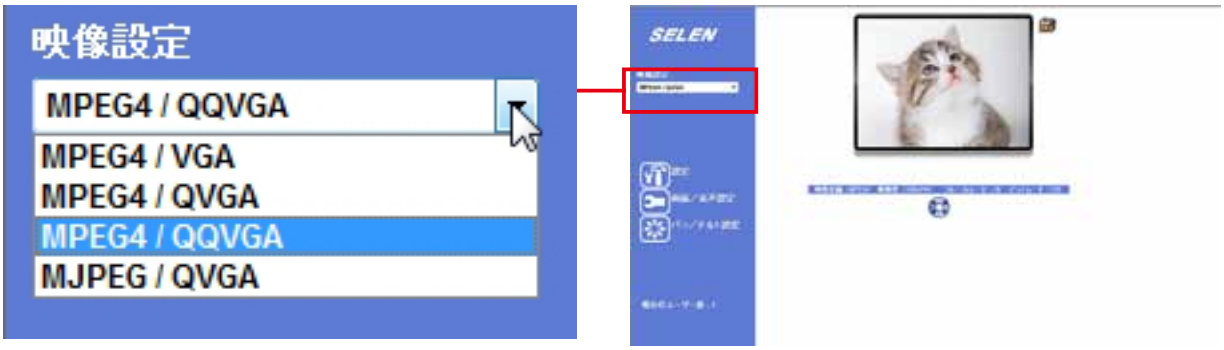
5

さまざまな機能の設定・操作

5-01 ライブ映像の画面サイズを変更する …… P.55
5-02 [MJPEG]の解像度を指定する …… P.56
5-03 ライブ映像を全画面で表示する …… P.58
5-04 ライブ映像に日付・時間を表示する …… P.59
5-05 映像を見やすく調整する …… P.61
5-06 パン/チルトを操作する …… P.63
5-07 ツアーを実行する …… P.64
5-08 ツアーを設定する …… P.65
5-09 プリセットを登録する …… P.68
5-10 プリセットを[有効]指定する・削除する …… P.70
5-11 デジタルズームでライブ映像を拡大する …… P.72
5-12 スナップショットを撮る …… P.73
5-13 映像を録画する …… P.75
5-14 カメラの状態/バージョンを確認する …… P.78
5-15 日時設定 …… P.79
5-16 ユーザーの権限を管理する …… P.81
5-17 ログインできるIPアドレスを管理する …… P.86
5-18 メールお知らせ機能① 定期的にメールを受け取る …… P.88
5-19 メールお知らせ機能② 動体検知時にメールを受け取る …… P.92
5-20 メール設定 …… P.97
5-21 FTPサーバーに保存する① 定期的に保存する …… P.99
5-22 FTPサーバーに保存する② 動体検知時に保存する …… P.103
5-23 FTP設定 …… P.108
5-24 動体検知設定を登録する …… P.111
5-25 ファイル …… P.114
5-26 ローカルエリアネットワークにデバイス名を表示する …… P.115
5-27 デバイスタイトルを変更する …… P.116
5-28 RTSPポート …… P.117
5-29 カメラ周辺の音を聴く …… P.118
5-30 カメラにスピーカーをつけて音を出す …… P.120
5-31 カメラの設定内容をバックアップする …… P.123
5-32 バックアップした設定内容でカメラを設定する …… P.124
5-33 カメラを初期化する …… P.126
5-34 カメラを再起動する …… P.128
5-35 情報バーを表示(非表示)にする …… P.129

5-01 ライブ映像の画面サイズを変更する

1 ライブ画面の［映像設定］をプルダウンします。



2 ここで選択できるのは、下記の4 つの項目です。

- ●MPEG4-VGA［640×480］
- ●MPEG4-QVGA［320×240］
- ●MPEG4-QQVGA［160×120］
- ●MJPEG（VGA/QVGA/QQVGA）

※M-JPEGの解像度は、［5-02 MJPEG の解像度を指定する］P.56 で指定することができます。

■640×480イメージ

■320×240イメージ

■160×120イメージ

※イメージは MPEG4 の場合

3 項目を選択すると、ライブ映像の表示サイズが変わります。

※右は、「MPEG4-VGA」を選択した場合

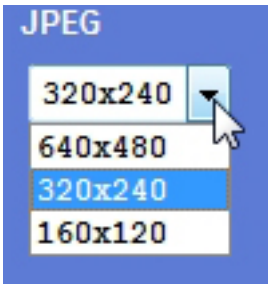
5-02 [MJPEG]の解像度を指定する

映像設定で、MJPEGを選択した時の画像サイズを設定できます。

1 ライブ画面［設定］－［映像設定］－［MJPEG］タブの順にクリックして［MJPEG］の画面を表示します。

2 解像度をプルダウンして、項目を選択します。

- 640 ×480（VGA）
- 320 ×240（QVGA）
- 160 ×120（QQVGA）



3 【OK】をクリックします。

5-02 [MJPEG]の解像度を指定する

4 「変更中です」の表示後、変更した解像度が表示された［MJPEG］の画面に戻ります。

5 「SELEN」ロゴ下の［ライブ画面］をクリックしてライブ画面に戻ります。

5-03 ライブ映像を全画面で表示する

2通りの方法でライブ映像を全画面で表示することができます。

方法 ①

1 ライブ画面等に表示されている【全画面ボタン】をクリックします。

2 ライブ映像が全画面で表示されます。
全画面表示の時に、クリックすると元の画面に戻ります。

方法 ②

1 ライブ画面【画面/ 音声設定】をクリックして、【画面/ 音声設定】の画面を表示します。

2 【全画面】をクリックします。

3 ライブ映像が全画面で表示されます。
全画面表示の時に、クリックすると元の画面に戻ります。

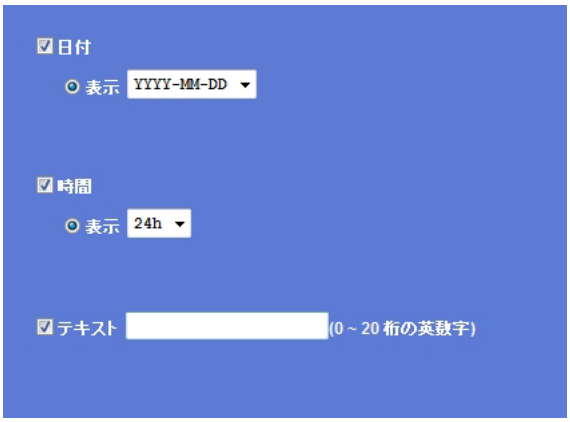
4 「SELEN」ロゴ下の［ライブ画面］をクリックしてライブ画面に戻ります。

5-04 ライブ映像に日付・時間を表示する

映像の上部に「日付」「時間」「テキスト」の表示をする/ しないを設定できます。

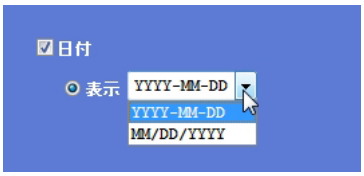
1 ライブ画面［設定］－［映像設定］－［共通設定］タブの順にクリックして［共通設定］の画面を表示します。

2 【共通設定】の画面上で、「日付」「時間」「テキスト」の表示したい項目をクリックして☑を入れます。
表示させない項目は、クリックして☑を外します。



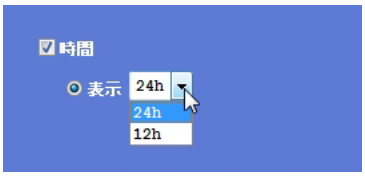
3 表示したい項目の表示方法を選択します（テキストは表示内容を入力）。

■日付



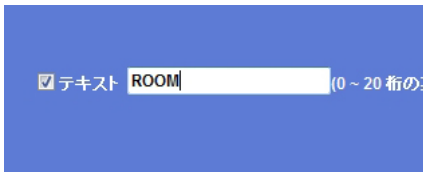
［選択項目の意味］
YYYY-MM-DD➡2011-06-20
MM/DD/YYYY➡06/20/2011

■時間



［選択項目の意味］
24h➡24時間表示
12h➡12時間表示

■テキスト



20桁までの英数字で入力します。
※小文字で入力した場合も、ライブ画面上の表示は大文字になります。
※日付･時間を表示させた場合は、ライブ画面上のテキスト表示が最大9文字になります。

5-04 ライブ映像に日付・時間を表示する

4 変更したい項目を設定したら、【OK】をクリックします。

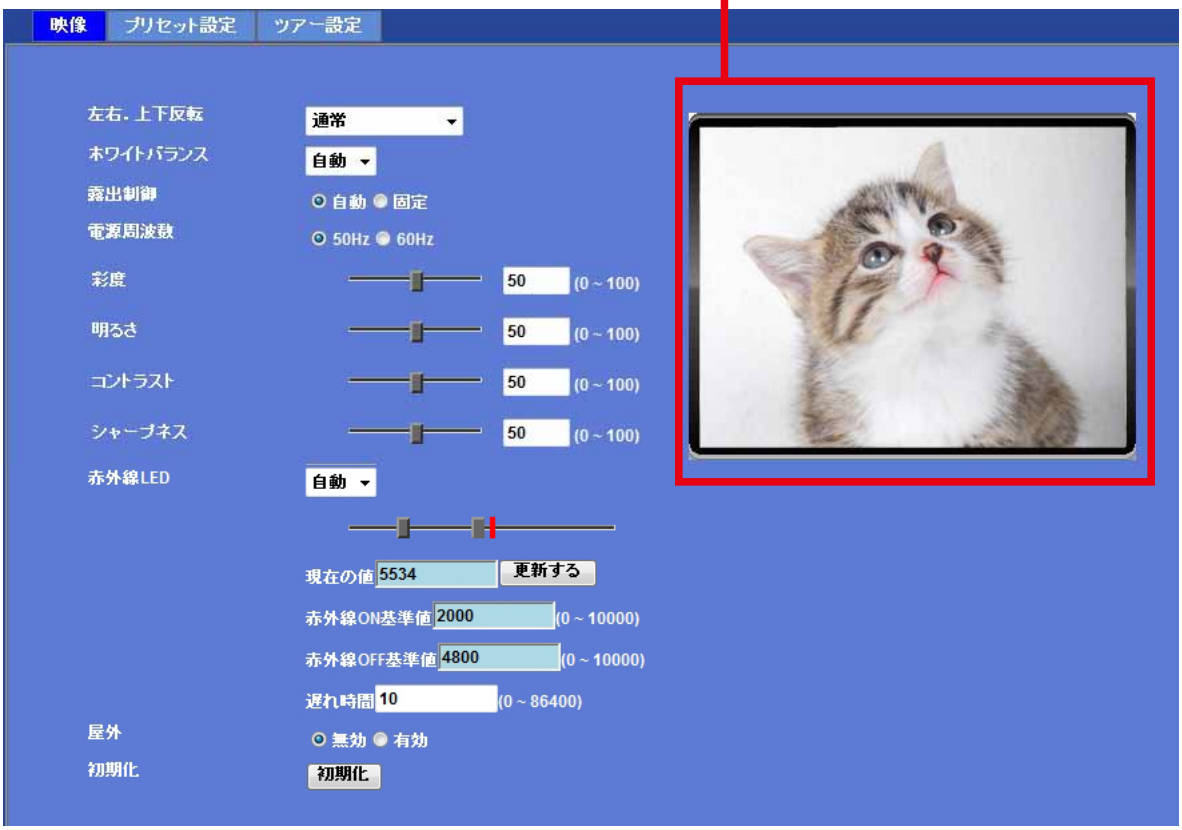
5 Internet Explorer で表示が更新されたら、「SELEN」ロゴ下の［ライブ画面］をクリックしてライブ画面に戻ります。

6 ライブ映像の上部に設定した項目が表示されています。

5-05 映像を見やすく調整する

画質の調整、赤外線LEDの設定ができます。

1 ライブ画面［設定］－［カメラ］－［映像］タブの順にクリックして［映像］の画面を表示します。



※スライドバーで表示できる全範囲

5-05 映像を見やすく調整する

2 各項目の設定内容･設定方法は、次の通りです。

項目	設定内容	設定の効果	設定方法
左右.上下反転	通常	通常の画面です。	プルダウンで選択します。 選択された映像は、プレビュー画面で確認できます。
	左右反転	映像を左右反転して表示します。	
	左右+上下反転	映像を左右、上下反転して表示します。	
	上下反転	映像を上下反転して表示します。	
ホワイトバランス	自動	ホワイトバランスを自動で調整します。	プルダウンで選択します。
	固定	ホワイトバランスを固定します。	
露出制御	自動	露出制御を自動で調整します。	チェックボタンをクリックして選択します。
	固定	露出制御を固定します。	
電源周波数※1	50Hz	50Hz帯の周波数に設定します。	チェックボタンをクリックして選択します。
	60Hz	60Hz帯の周波数に設定します。	
彩度	(0 ～ 100)	彩度を調整します。	プレビュー画面を見ながら、バーを左右に移動して調整します。 ㊟3で【OK】をクリックしなくても数値が確定されます。
明るさ	(0 ～ 100)	明るさを調整します。	
コントラスト	(0 ～ 100)	コントラストを調整します。	
シャープネス	(0 ～ 100)	シャープネスを調整します。	
赤外線LED	ON	常にLEDを照射します。	プルダウンで選択します。
	OFF	常にLEDを照射しません。	
	自動	赤外線設定内容でLED照射をON/OFFします。※2	
現在の値	—	（現在の明るさの数値です）	（設定できません）
赤外線ON基準値	（工場設定用メニュー）		
赤外線OFF基準値			
遅れ時間			
屋外	無効	室内を撮影する場合、無効にします。	チェックボタンをクリックして選択します。
	有効	屋外を撮影する場合、有効にします。	
初期化	有効	上記の設定項目が初期化されます。	【初期化】ボタンをクリックします。

※1：電源周波数は、初期化では変更されません。変更する場合は、手動で設定変更してください。
※2：[自動]の場合、使用場所の照度、反射物の有無によっては、赤外線LEDが点灯と消灯を繰り返す場合があります。
その場合は、状況に合わせて[ON（常に点灯）]/[OFF（常に消灯）]に設定してください。

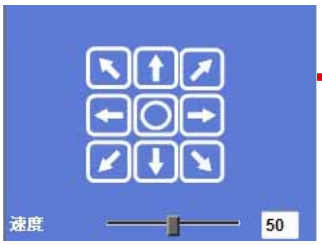
3 【OK】をクリックします。

4 「SELEN」ロゴ下の[ライブ画面]をクリックしてライブ画面に戻ります。

5-06 パン / チルトを操作する

1 ライブ画面の【パン/ チルト設定】をクリックします。

2 [パン/チルト設定] 画面が表示されます。



■操作方法

[矢印] : クリックすると、ライブ映像画面がクリック」した矢印の方向に移動します。

[●] : クリックすると、有効になっているプリセット位置に移動します。プリセットが設定されていない時はカメラの正面になります。 《設定方法➡ [5-09 プリセットを登録する]P.68》

[速度] : バーを左右に移動させると、画面が移動するスピードを調整することができます。数値が大きくなるほど早く移動します [0~100]。画面を見ながら調整してください。
※ライブ画面を移動する以外の操作には反映されません。

㊟ 無理にカメラ向きを変えてしまうと、[●] をクリックしても正面に戻らなくなってしまうほか、故障の原因になります。

3 「SELEN」ロゴ下の [ライブ画面] をクリックしてライブ画面に戻ります。

▼自動パン

カメラを自動的に左右(パン約355°)に動かしながら、ライブ映像を見ることができます。

[パン/ チルト設定] 画面で表示されている [自動パン] の【開始】をクリックすると [自動パン] がスタートし、【停止】をクリックすると、カメラはその位置で停止します。

※ [自動パン] 機能は、【停止】ぜずにライブ画面に戻った場合も機能し続けます。

5-07 ツアーを実行する

指定したプリセットをきめられた順番に見ていくことができます。
※あらかじめ[ツアー設定]をしておく必要があります。
《設定方法➡[5-08 ツアーを設定する]P.65》

1 ライブ画面[パン/ チルト設定]をクリックして、[パン/ チルト設定]の画面を表示します。

2 [ツアー]のリストをプルダウンして、実行したい[ツアー設定]を選択し、【開始】をクリックします。

3 ライブ映像がツアーを開始し、ツアー設定の最後のプリセットで自動的に停止します。
途中で終了する時は、【停止】をクリックします。

※再度、【開始】をクリックした時には、設定の最初からツアーが行われます。

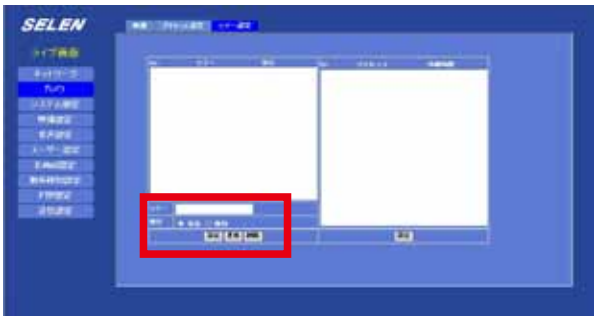
4 「SELEN」ロゴ下の[ライブ画面]をクリックしてライブ画面に戻ります。

5-08 ツアーを設定する

登録した［プリセット］を見たい順番に並べて、［ツアー設定］をつくることができます。
［ツアー設定］は、［パン/ チルト設定］画面で実行することができます。
《設定方法➡［5-07 ツアーを実行する］P.64》

1 ライブ画面［設定］－［カメラ］－［ツアー設定］タブの順にクリックして［ツアー設定］の画面を表示します。

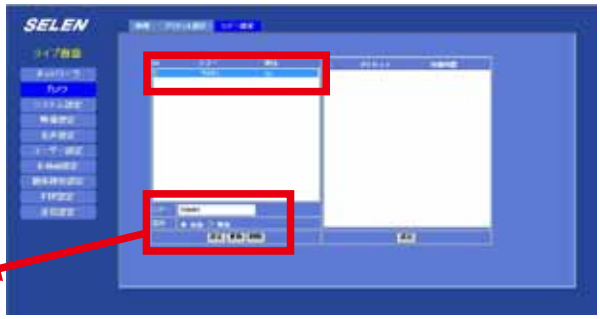
2 設定したい［ツアー］の名称を英数字で入力し、【設定】をクリックします。
※「TOUR1」という名称にした場合で、説明します。
※［実行］は、どちらで設定しても構いません。
最後にツアーを実行したツアー設定が、リスト上で［yes］と表示され、有効になります。



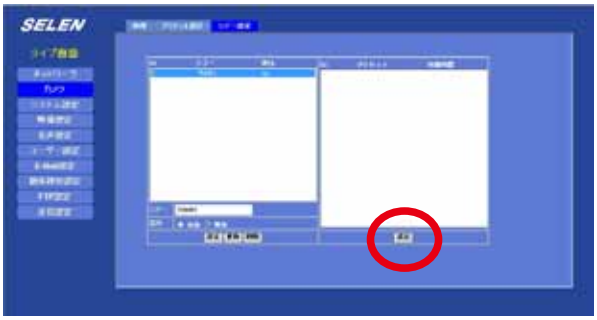
3 リスト内の「TOUR1」をクリックして選択します。

●［ツアー］の名称を変更する場合は、リスト内の［ツアー］をクリックして選択します。
表示されている名称を入力し直して【更新】をクリックします。

●［ツアー］を削除する場合は、リスト内の［ツアー］をクリックして選択して【削除】をクリックします。

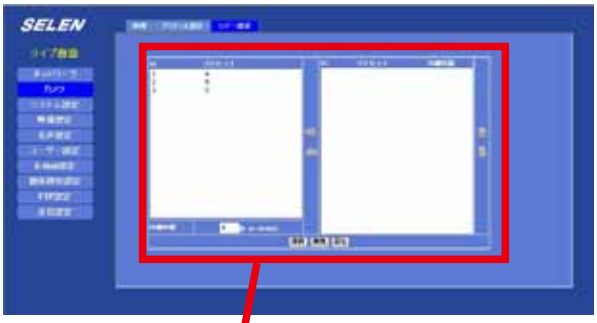


4 【設定】をクリックします。



5-08 ツアーを設定する

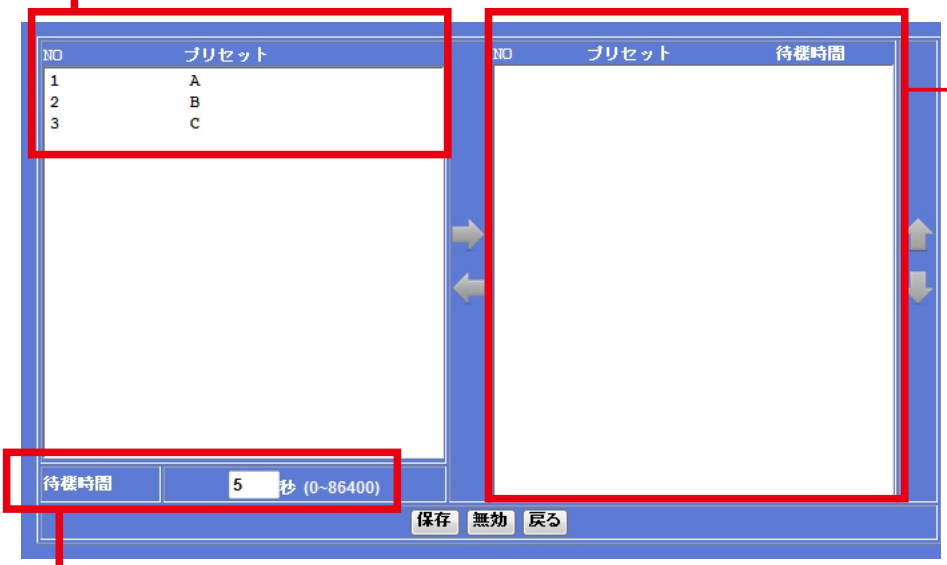
5 右の画面が表示されます。
下の「表示内容」と、「操作について」を参考に、ツアー内容をセットします。



例［プリセット設定］で、［A］、［B］、［C］3つのプリセットが設定されている場合です。
《設定方法➡［5-09 プリセットを登録する］P.68》

■表示内容

［プリセット設定］で設定されているプリセットのリスト



セットしたプリセット表示欄

ここにセットされたプリセットは、上から順番に設定された［待機時間］でツアーを実行します。

待機時間：カメラレンズがプリセット位置まで移動する時間と、そこで停止する時間の合計
※プリセット位置から次のプリセット位置まで移動している間に［待機時間］が経過した場合には、次のプリセット位置へ行かずに、さらに次のプリセット位置へ移動します。

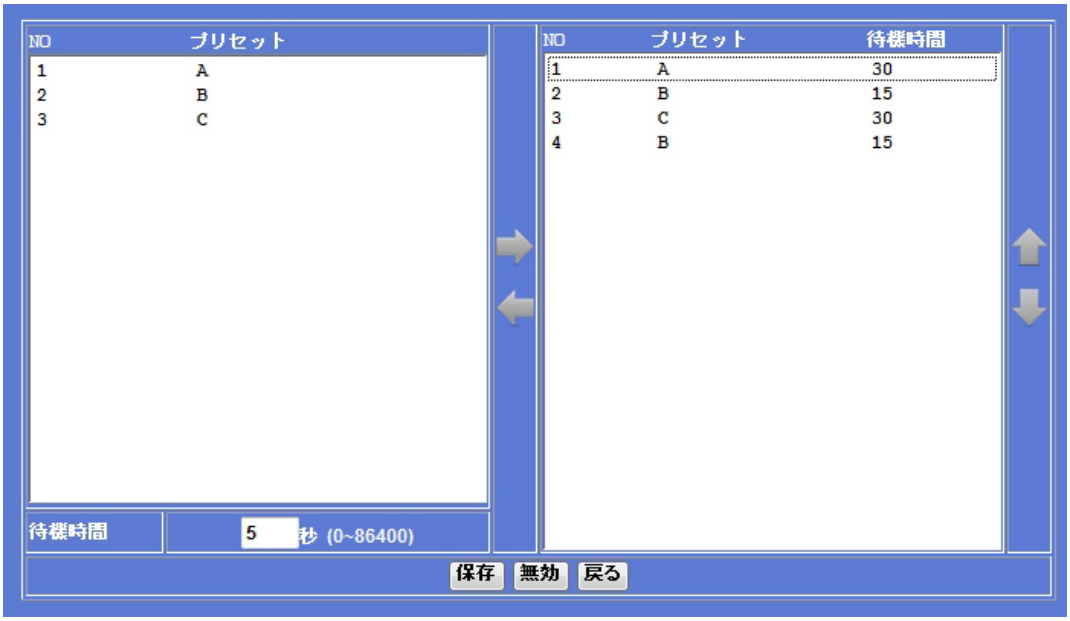
■操作について

表示	設定内容/ 設定方法
	プリセットのリストで選択されているプリセットをセットします。 ※［待機時間］は、この操作でのみ設定ができます。セットした後に変更する場合は、一度削除して再度セットし直します。
	セットされているプリセットを削除します。
	セットされたプリセットの実行する順番を1段上げます。
	セットされたプリセットの実行する順番を1段下げます。
	セットされたツアー内容を保存して、前の画面に戻します。
	セットされたツアー内容を前回保存した状態に戻します。
	セットされたツアー内容を保存せずに、前の画面に戻します。

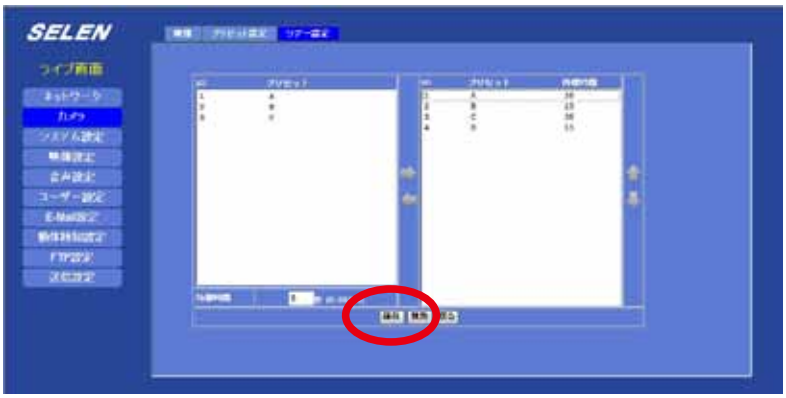
5-08 ツアーを設定する

例下は、以下のツアー内容を設定した場合です。

▼［A］:［待機時間］30秒
▼［B］:［待機時間］15秒
▼［C］:［待機時間］30秒
▼［B］:［待機時間］15秒



6 【保存】をクリックします。



7 リスト内の［ツアー］をクリックして選択すると、右側にツアーの内容が表示されるようになります。

「SELEN」ロゴ下の［ライブ画面］をクリックしてライブ画面に戻ります。

5-09 プリセットを登録する

カメラが撮影する位置（プリセット）を登録しておくことができます。

1 ライブ画面［パン/ チルト設定］をクリックして、［パン/ チルト設定］の画面を表示します。

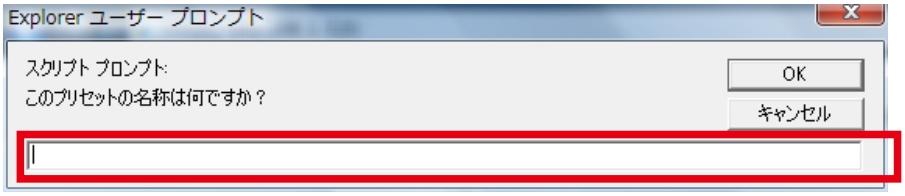
2 ［矢印］で、プリセットに登録したい画面に移動します。

3 プリセットの作成（登録）方法
【プリセット追加】をクリックします。

4 Internet Explorer で警告が表示された場合は、ウィンドウをクリックしてポップアップ表示された「スクリプト化されたウィンドウを一時的に許可」をクリックします。
警告ウィンドウが閉じた後に、再度【プリセット追加】をクリックします。

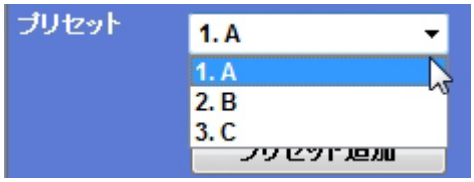
5-09 プリセットを登録する

5 ［このプリセット名称は何ですか?］ウィンドウが表示されますので、プリセット名を英数字で入力して【OK】をクリックします。



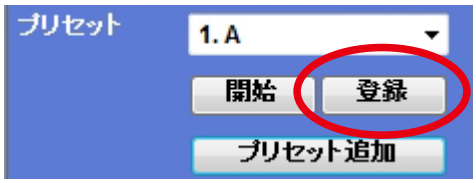
6 ［プリセット］のプルダウン表示部分にプリセットが追加されます。
下は、「A」「B」「C」という名称の3 つのプリセットを登録した場合の例です。

※プリセットが複数追加した場合は、名称の表示部分をプルダウンすると、追加が確認できます。

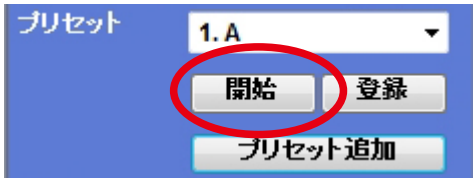


7 登録したプリセットの操作

■プリセット位置を修正する場合
名称名称の表示部分をプルダウンして、修正したいプリセットを選択します。
［パン/ チルト操作部］で、プリセット位置に指定したい場所へ画面を移動し、【登録】をクリックします。



■ライブ映像の画面をプリセット位置へ移動する場合
名称名称の表示部分をプルダウンして、移動させるプリセットを選択し、【開始】をクリックします。
画面がプリセット位置へ移動します。



8 「SELEN」ロゴ下の［ライブ画面］をクリックしてライブ画面に戻ります。

「 をクリック時のプリセット［有効］指定」、「プリセット名称の変更」、「プリセットの削除」は、《5-10 プリセットを［有効］指定する・削除する》P.70 を参照してください。

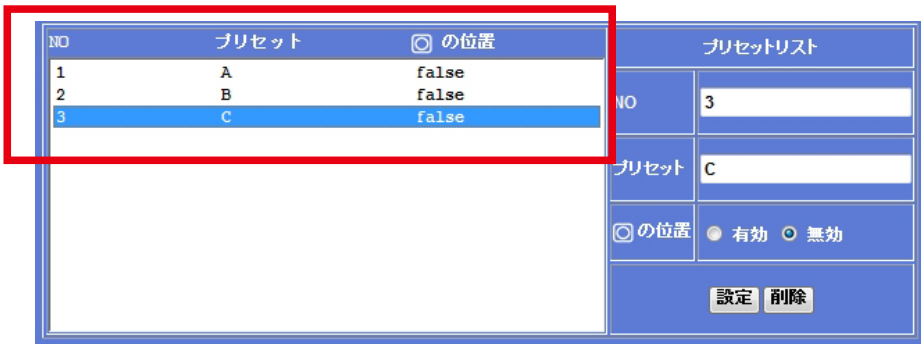
5-10 プリセットを［有効］指定する・削除する

［パン/ チルト設定］で追加したプリセットの「◎をクリックした時のプリセットの指定」、「プリセット名称の変更」「プリセットの削除」をすることができます。
※「5-09 プリセットを登録する」は、P68 を参照してください。

1 ライブ画面［設定］－［カメラ］－［プリセット設定］タブの順にクリックして［プリセット設定］の画面を表示します。

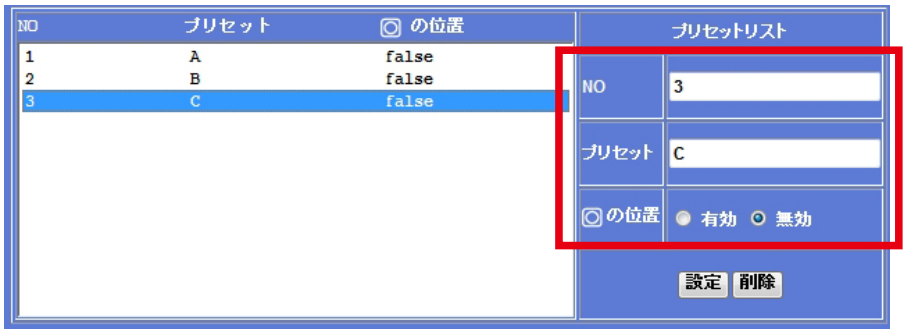
2 ［プリセット設定］画面が表示されます。
設定を変更したいプリセットをクリックして選択します。
※［A］、［B］、［C］という名称の3つのプリセットが登録されている場合を例に説明します。

3 クリックして設定を変更するプリセットを選択します。



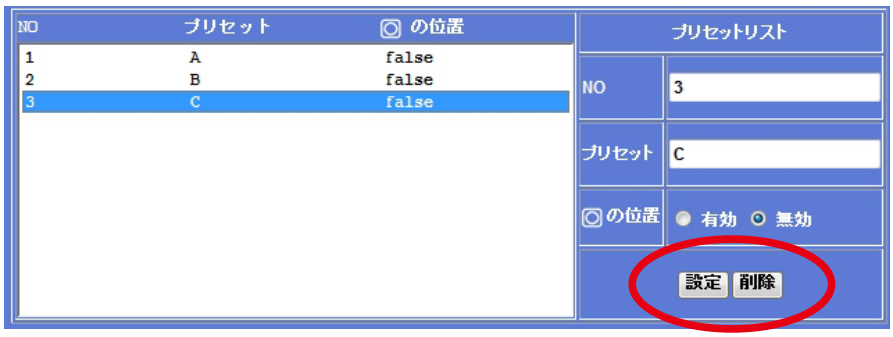
5-10 プリセットを［有効］指定する・削除する

4 下記を参考に、修正したい内容を入力、もしくはクリックで選択します。



項目	設定内容/ 設定方法
NO	（変更できません）
プリセット	プリセットの名称を英数字で変更できます。
の位置	［有効］に設定すると、「パン/ チルト操作」で、をクリックした時に移動するプリセットに指定できます。チェックボックスをクリックで選択します。 ※［有効］にできるプリセットは、1つだけです。新たに有効なプリセットが設定されると、［有効］になっていたプリセットの設定は［無効］になります。 ※設定が内場合は、カメラの正面位置になります。 ※ ［有効］になったプリセットは、リスト内で 「true」と表示されます。

5 【設定】をクリックすると、リスト内のプリセットが更新されます。
プリセットを削除したい場合は、【削除】をクリックします。



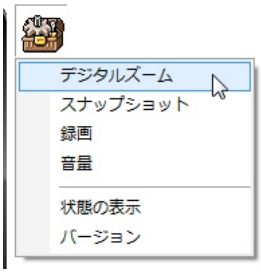
6 「SELEN」ロゴ下の［ライブ画面］をクリックしてライブ画面に戻ります。

5-11 デジタルズームでライブ映像を拡大する

デジタルズーム機能を操作することができます。

1 ライブ画面［ツールボックス］をクリックして、ウインドウを開き、ウインドウ内の［デジタルズーム］をクリックして選択します。

※［ツールボックス］ウインドウ内の［デジタルズーム］、［スナップショット］、［録画］、［音量］は、どれか1項目の選択のみ可能です。



2 ライブ映像は、デジタルズームされた状態で表示され、右側に［デジタルズーム］の操作画面が表示されます。
操作画面内の ▦ で囲まれた範囲が、カメラ映像のデジタルズームされる部分です。

※［デジタルズーム］画面表示中に【設定】をクリックして［設定］画面に切り替えた後にライブ画面にすると、通常のライブ画面に戻っています。
【画面/ 音声設定】、【パン/ チルト設定】の場合は、［デジタルズーム］画面表示のままになります。

［デジタルズーム］の操作画面

▼ ▦ の操作について

▦ は、［デジタルズーム］に切り替えた時、はじめは操作画面内の左上にあります。

▦ は、マウスのポインタを■以外の範囲内からドラッグして移動できます。

▦ は、マウスのポインタを■の位置からドラッグ&ドロップして、範囲の拡大･縮小できます。

3 ［デジタルズーム］画面の表示を終了する時は、1 2 の手順で、［ツールボックス］ウインドウ内の［デジタルズーム］をクリックします。

※［デジタルズーム］表示中は、［ツールボックス］ウインドウ内の［デジタルズーム］は、☑された状態になっています。

4 通常のライブ画面に戻ります。

5-12 スナップショットを撮る

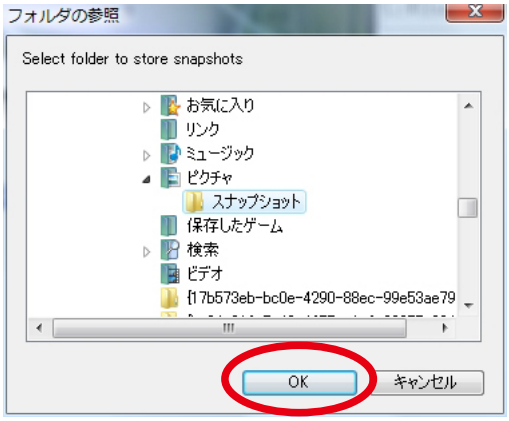
ライブ映像を画像として保存することができます。

1 ライブ画面［ツールボックス］をクリックして、ウインドウを開き、ウインドウ内の［スナップショット］をクリックします。

※［ツールボックス］ウインドウ内の［デジタルズーム］、［スナップショット］、［録画］、［音量］は、どれか1項目の選択のみ可能です。

2 ライブ映像の右側に［スナップショット］の操作ボタンが表示されます。

3 【フォルダ】をクリックします。
エクスプローラー「フォルダの参照」が開きますので、保存先のフォルダを指定し【OK】をクリックします。



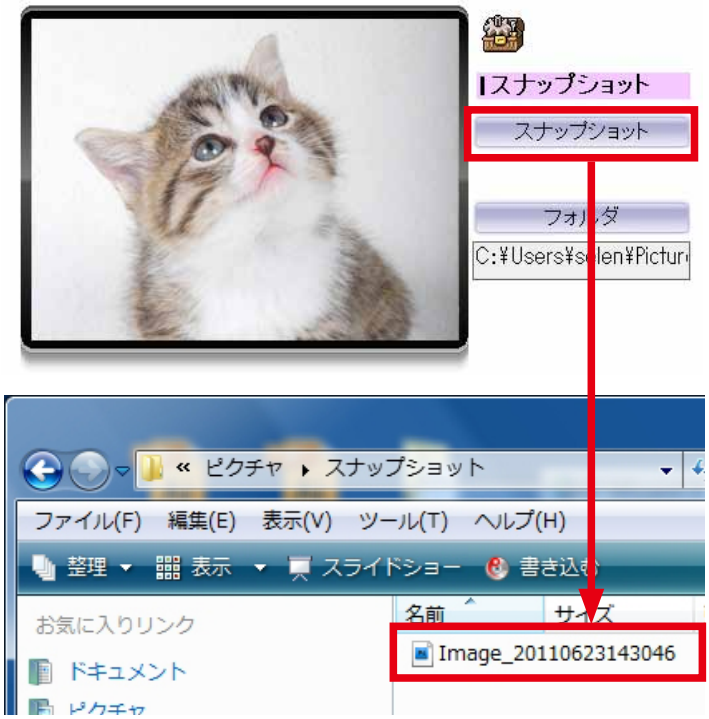
4 ボックスの中にディレクトリが表示されます。
ボックス上でクリックしカーソルを入れると、ポップアップでディレクトリを確認できます。

※保存する画像の容量は、パソコンに支障ない範囲で行ってください。

5-12 スナップショットを撮る

5 【スナップショット】をクリックすると、画像が指定されたフォルダに保存されます。

画像は、1回クリックする毎に、1枚のJPEG形式データが保存されます。
データ名は「Image_（年月日時間）」になります。



■保存される画像について

［共通設定］で「日付」「時間」「テキスト」が表示される設定になっている場合は、画像内にも表示された状態で保存されています。

右の画像は、「日付」「時間」「テキスト」が表示した状態で保存された画像の例です。

注意!!
Windows VistaやWindows7では、デフォルトでAdministrator アカウントが無効になっているため保存できない場合があります。その場合には、Internet Explorerを管理者として立ち上げる必要があります。下記の手順で操作してください。
①一度、Internet Explorer を閉じます。
②Internet Explorer ショートカット、もしくは「スタート」－「プログラム」－「Internet Explorer」で右クリックして、「管理者として実行」を選択して立ち上げます。
③管理者として実行されたInternet Explorer 上でライブ画面を表示します。
④1から操作します。

6 ［スナップショット］を終了する時は、1 2 の手順で、［ツールボックス］ウインドウ内の［スナップショット］をクリックします。

※［スナップショット］表示中は、［ツールボックス］ウインドウ内の［スナップショット］は、☑になっています。

7 通常のライブ画面に戻ります。

5-13 映像を録画する

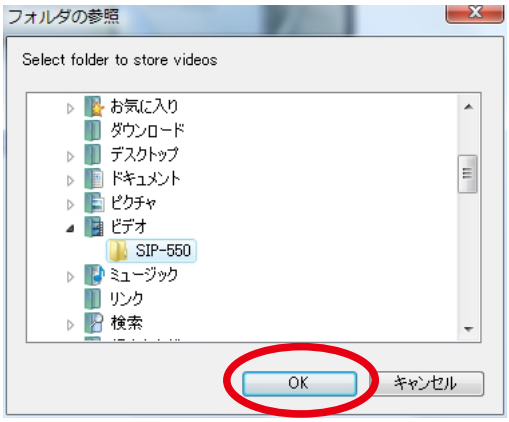
ライブ映像を画像として保存することができます。

1 ライブ画面［ツールボックス］をクリックして、ウインドウを開き、ウインドウ内の［録画］をクリックします。

※［ツールボックス］ウインドウ内の［デジタルズーム］、［スナップショット］、［録画］、［音量］は、どれか1項目の選択のみ可能です。

2 ライブ映像の右側に［録画］の操作ボタンが表示されます。

3 【フォルダ】をクリックします。
エクスプローラー「フォルダの参照」が開きますので、保存先のフォルダを指定し【OK】をクリックします。



4 ボックスの中にディレクトリが表示されます。ボックス上でクリックしカーソルを入れると、ポップアップでディレクトリを確認できます。

※保存する画像の容量は、パソコンに支障ない範囲で行ってください。

5-13 映像を録画する

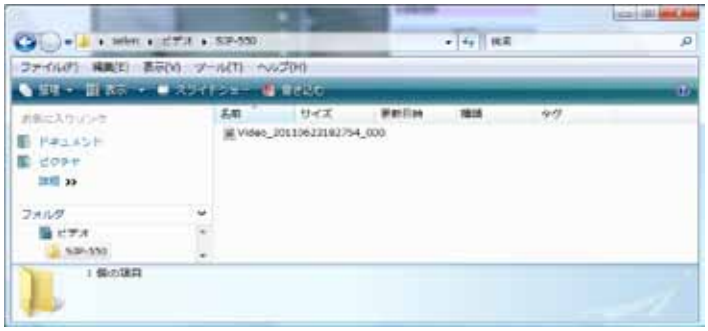
5 【録画】をクリックすると、録画を開始します。

6 録画中は、画面右上に「REC」が表示され、【録画】ボタンの表示が【停止】ボタンに切り替わります。
【停止】をクリックすると、録画を停止します。

※録画中に設定画面を開いたり、ブラウザを閉じると録画は停止します。

7 映像は、指定されたフォルダ内にAVI 形式のデータで保存されます。

※データ名は、「Video_（年月日時間）_000」になります。
※1ファイルは、最大約5分の動画になります。



注意!!
Windows VistaやWindows7では、デフォルトでAdministrator アカウントが無効になっているため保存できない場合があります。その場合には、Internet Explorerを管理者として立ち上げる必要があります。下記の手順で操作してください。
①一度、Internet Explorer を閉じます。
②Internet Explorer ショートカット、もしくは「スタート」ー「プログラム」ー「Internet Explorer」で右クリックして、「管理者として実行」を選択して立ち上げます。
③管理者として実行されたInternet Explorer 上でライブ画面を表示します。
④1から操作します。

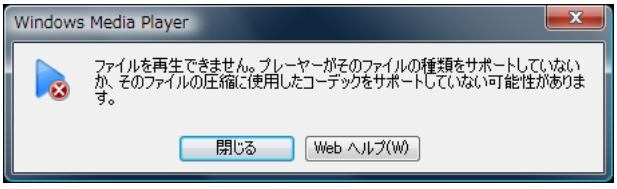
5-13 映像を録画する

■保存される映像について

映像は、AVI 形式に対応したソフトウェアで再生できます。

[共通設定]で「日付」「時間」「テキスト」が表示される設定になっている場合は、映像内にも表示された状態で保存されています。
右の映像は、「日付」「時間」「テキスト」が表示した状態で保存された映像の例です。

㊟再生時に下のような表示が出た時、または映像が出ない、音声が出ない時は、コーデックのインストールをお試しください。コーデックは、付属のCD-ROM内「codec」フォルダにあります。

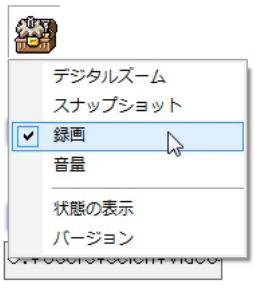


▼映像が出ない場合にインストール
「XviD-1.1.3-28062007」

▼音声が出ない場合にインストール
「Codec45_JVCG726E」

8 [録画]を終了する時は、1 2 の手順で、[ツールボックス]ウインドウ内の[録画]をクリックします。

※[録画]表示中は、[ツールボックス]ウインドウ内の[録画]は、☑された状態になっています。

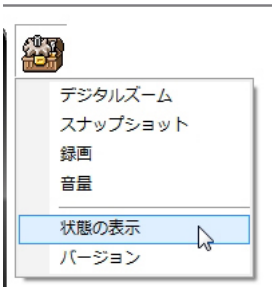


9 通常のライブ画面に戻ります。

5-14 カメラの状態 / バージョンを確認する

状態の確認の確認ができます

1 ライブ画面［ツールボックス］をクリックして、ウインドウを開き、ウインドウ内の［状態の表示］をクリックして選択します。

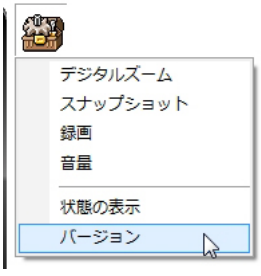


2 ［状態の表示］画面が表示されます。
【閉じる】をクリックして閉じます。

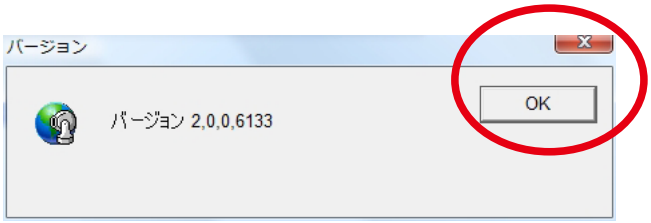
※ライブ画面のライブ映像上で右クリックし、［状態の表示］を選択をした場合も同様です。

バージョンの確認ができます

1 ライブ画面［ツールボックス］をクリックして、ウインドウを開き、ウインドウ内の［バージョン］をクリックして選択します。



2 ［バージョン］画面が表示されます。
【閉じる】か 【OK】をクリックして閉じます。



5-15 日時設定

日時設定を行うことができます。

1 ライブ画面[設定]ー[システム設定]ー[日時設定]タブの順にクリックして[日時設定]の画面を表示します。

2 各項目の設定内容・設定方法は、次の通りです。

項目	設定内容	設定の効果	設定方法
カメラ日時	（設定されたている時間を表示）		（設定できません）
パソコン時間	（パソコンの時間を表示）		（設定できません）
時間設定	パソコンと同期※1	設定を行っているパソコンの日時に合わせて設定します。	チェックボタンをクリックして選択します。 ※［手動設定］を選択した場合は、年月日、時間をプルダウンで選択します。
	手動設定※1	手動で日時設定します。	
	NTPと同期	NTPサーバーとの通信により、自動的に日時設定します。	
NTPサーバー	（time.stdtime.gov.tw）	NTPサーバーの設定をします。	サーバー名を入力します。※3
NTP更新間隔	1h～24h（1時間毎）	NTPサーバーとの更新時間の間隔を設定します。	プルダウンで選択します。
タイムゾーン	※2	—	—

※1：「手動設定」、「パソコンと同期」の場合、時間に誤差が生じますので、定期的に確認してください。
※2：「GMT+09 (Seoul, Osaka, Sapporo, Tokyo)」でご使用ください。当社では、国外での使用を保証しておりません。
※3：【テスト】ボタンをクリックすると、NTPサーバーとの通信確認ができます。
正常に通信できた時は、[成功]のウインドウが表示されます。【OK】ボタンをクリックしてください。
[Error：Connection Fail！]のウインドウが表示された場合は、サーバー名や通信状態などを確認してください。

5-15 日時設定

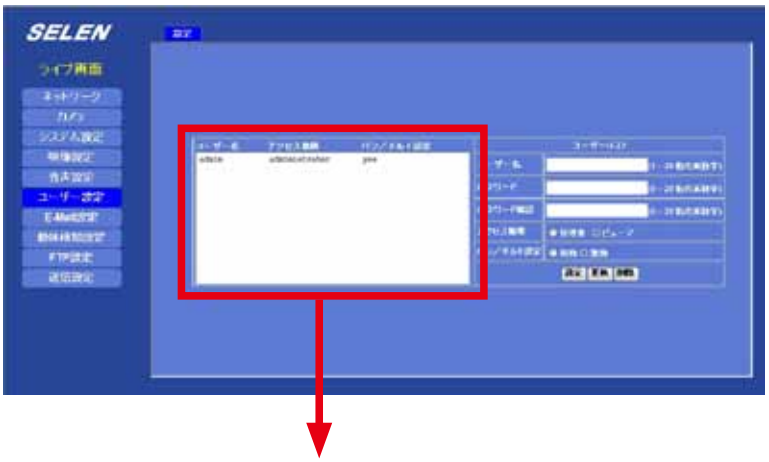
3 【OK】をクリックすると、カメラ日時が更新されます。

4 「SELEN」ロゴ下の［ライブ画面］をクリックしてライブ画面に戻ります。

5-16 ユーザーの権限を管理する

パスワード設定、モニタリングするユーザー制限、ユーザーのアクセス権限を制限する設定・変更ができます。セキュリティを強化する意味でも、パスワードの設定をおすすめします。
※[ユーザー設定]は、[admin]でログイン中のみ設定・変更ができます。

1 ライブ画面 [設定]－[ユーザー設定]をクリックして [ユーザー設定]の画面を表示します。



設定されているユーザー名とユーザーのアクセス権限とパン/ チルト設定の設定権限が表示されています。

ユーザー名	アクセス権限	パン／チルト設定
admin	administrator	yes

▼アクセス権限
administrator＝管理者（設定変更することができます）
viewer＝ビューア（[設定]の画面にアクセスできません）

▼パン/ チルト設定
yes ＝[パン/ チルト設定]の操作ができます。
No ＝[パン/ チルト設定]の画面にアクセスできません。

[初期設定]
ユーザー数：1
ユーザー名：admin
パスワード：空欄（無）
アクセス権限：administrator
パン/ チルト権限：yes
※[admin]は、パスワードの設定・変更のみ可能です。

ユーザーの登録・削除、ユーザーアクセス権限の設定・変更ができます。

❶ユーザーを追加する ➡P.82
❷ユーザーの設定内容を更新する ➡P.83
❸ユーザーを削除する ➡P.85

5-16 ユーザーの権限を管理する

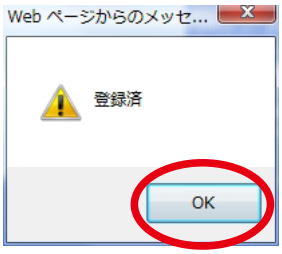
❶ユーザーを追加する

2 「ユーザーリスト」に設定したい内容を入力します。

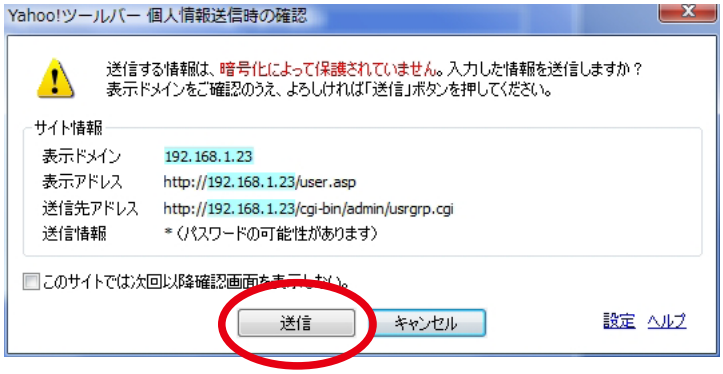
例 ユーザー名：USER1
パスワード：1234
アクセス権限：ビューア
パン/ チルト設定：無効

3 【設定】をクリックします。

注「登録済」ウィンドウが表示された場合は、同じユーザー名の設定があります。【OK】をクリックして、別のユーザー名で設定を行ってください。



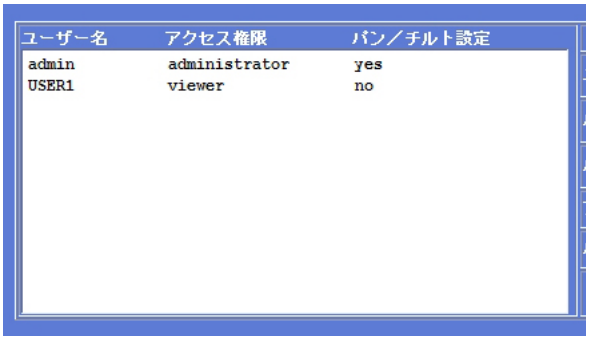
4 【送信】等をクリックします。



5 リストに「USER1」が追加されます。

ライブ画面に戻る場合は、「SELEN」ロゴ下の［ライブ画面］をクリックします。

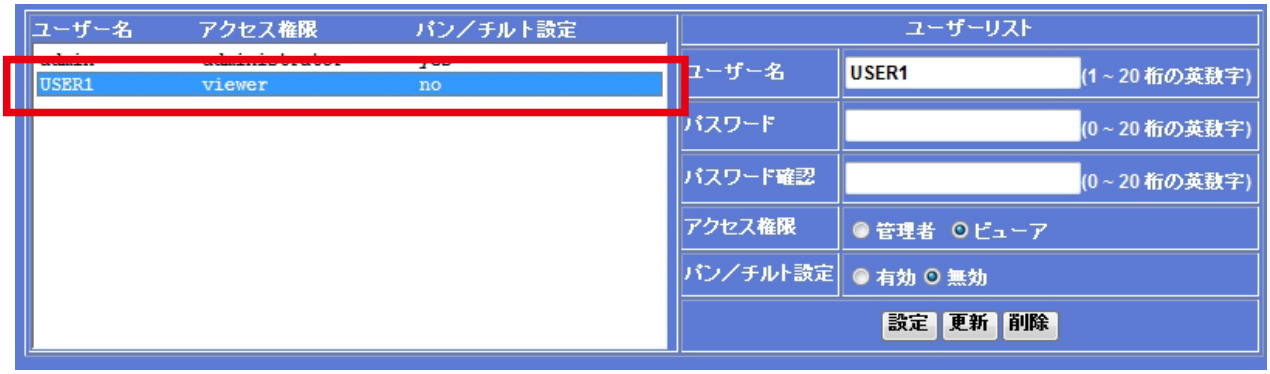
追加したユーザーでログインする場合は、一度Internet Explrer を閉じて、「IP Wizard Ⅱ」で【SEARCH】を実行した後に、追加したユーザー名・パスワードでログインしてください。



5-16 ユーザーの権限を管理する

❷ユーザーの設定内容を更新する

2 設定変更したいユーザーをクリックして選択します。(青色で表示)
「ユーザーリスト」の欄にパスワード以外の設定内容が表示されます。

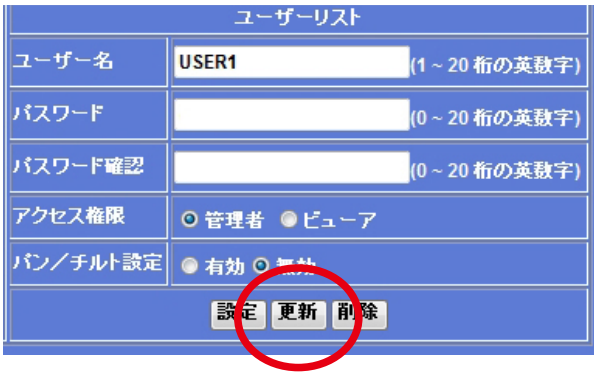


3 変更したい設定内容を入力、もしくはクリックして選択します。

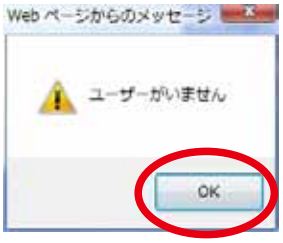
例 ユーザー名：USER1
パスワード：1234 ➡無
アクセス権限：ビューア➡管理者
パン/ チルト設定：無効

※変更前のパスワード入力は、必要はありません。
例の場合は、「1234」は入力しない。変更後、パスワードを「空欄（無）」にしたいので、[パスワード]、[パスワード確認]欄は共に空欄にします。

4 【更新】をクリックします。

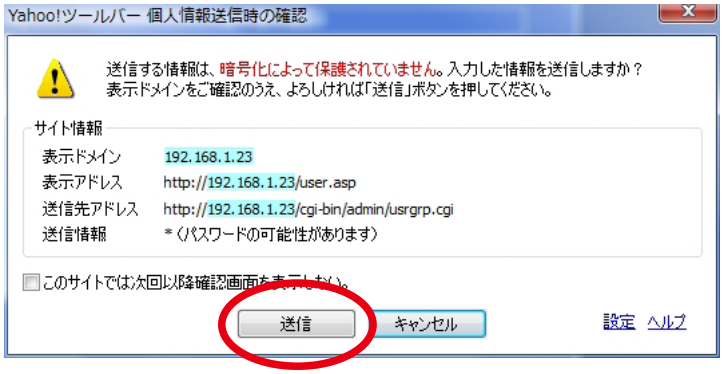


㊟ユーザー名を変更することはできません。
設定のないユーザー名を入力して【更新】をクリックした場合、「ユーザーがいません」のウィンドウが表示されます。【OK】をクリックして、再度設定を行ってください。

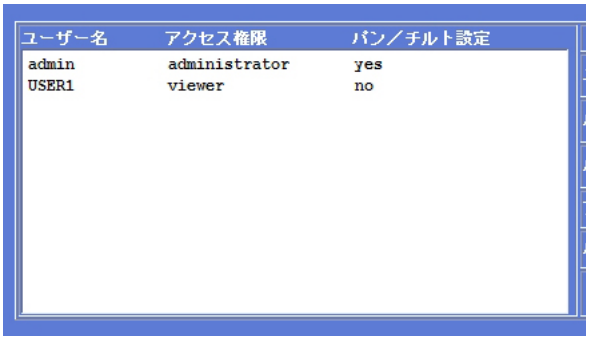


5-16 ユーザーの権限を管理する

5 【送信】等をクリックします。



6 リストが更新されます。

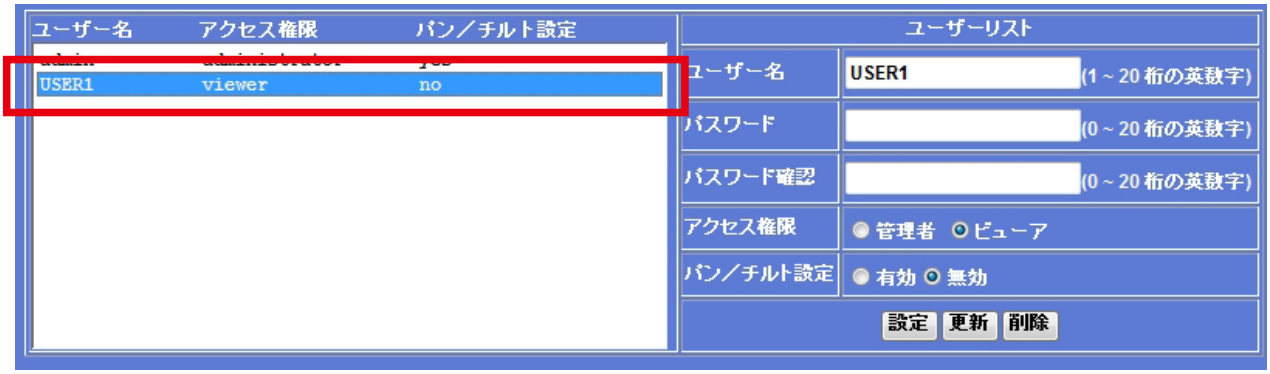


7 「SELEN」ロゴ下の［ライブ画面］をクリックして
ライブ画面に戻ります。

5-16 ユーザーの権限を管理する

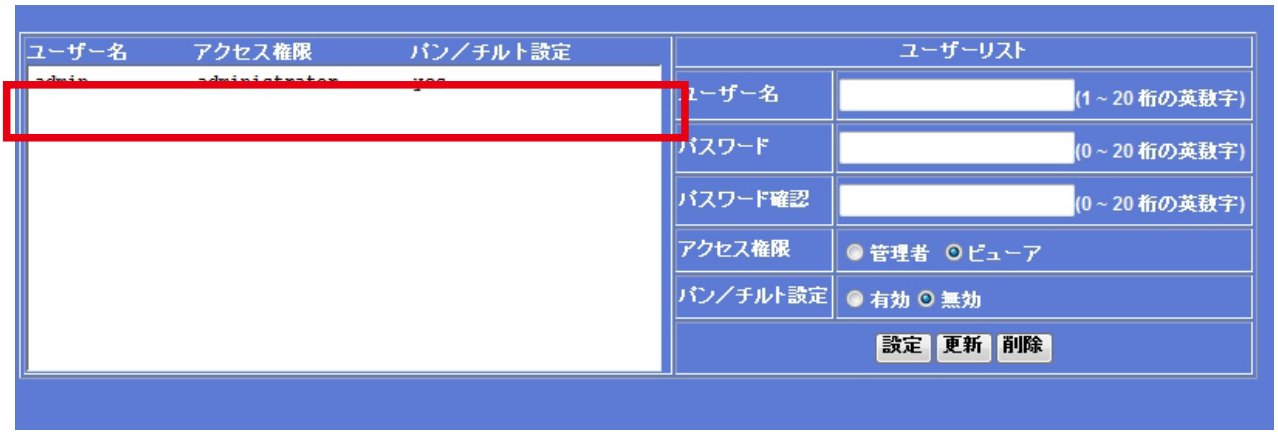
❸ユーザーを削除する

2 削除したいユーザーをクリックして選択します。(青色で表示)
「ユーザーリスト」の欄にパスワード以外の設定内容が表示されます。



3 【削除】をクリックします。

4 リストからユーザーが削除されます。



5 「SELEN」ロゴ下の［ライブ画面］をクリックして
ライブ画面に戻ります。

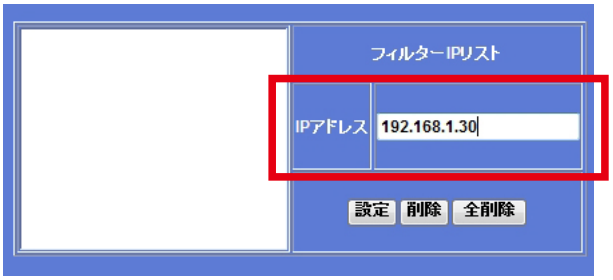
5-17 ログインできるIPアドレスを管理する

ホームネットワークカメラにログインできるIPアドレスを管理することができます。

1 ライブ画面［設定］－［ネットワーク］－［IPフィルタ］タブの順にクリックして［IPフィルタ］の画面を表示します。

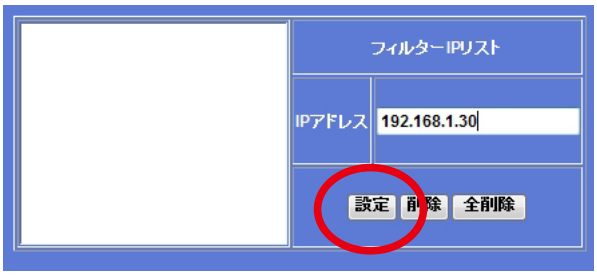
2 IPアドレスを入力します。

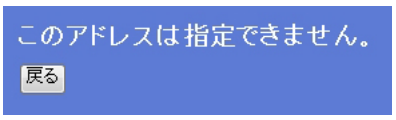
※あらかじめ許可するIP アドレスのリストにするのか、拒否するIP アドレスのリストにするのかを決めておきます。



3 【設定】をクリックします。

※設定できないIP アドレスが含まれていると、［このアドレスは指定できません。］と表示されます。
【戻る】をクリックして、設定をやり直してください。





4 リストにIPアドレスが登録されます。

他のIP アドレスも登録する場合は、2 3 を繰り返してリストを作成します。

■IPアドレスを削除する場合

リストのIPアドレスをクリックして選択し、【削除】をクリックします。

■IPアドレスをすべて削除する場合

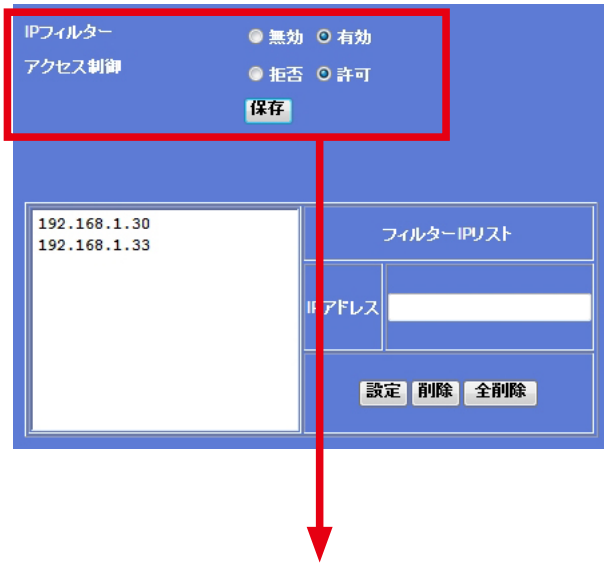
【全削除】をクリックします。

5-17 ログインできるIPアドレスを管理する

5 IPフィルターの【有効】をクリックして選択します。

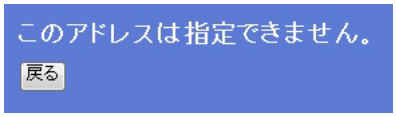
リストのIPアドレスからのアクセスを【拒否】するのか、リスト欄のIPアドレスからのみアクセスを【許可】するのかをクリックして選択します。

※IPフィルターの【無効】が選択されている場合は、リストが作成されていてもIPフィルタは機能しません。



6 【保存】をクリックします。

※設定できないIP アドレスが含まれていると、[このアドレスは指定できません。]と表示されます。
【戻る】をクリックして、設定をやり直してください。



ネットワークの環境により、IPアドレスが変更されてログインできない場合があります。
ネットワークに詳しい方、もしくはネットワーク管理者が設定されることをおすすめします。

7 「SELEN」ロゴ下の [ライブ画面] をクリックしてライブ画面に戻ります。

5-18 メールお知らせ機能① 定期的にメールを受け取る

「メールお知らせ機能」で、設定した時間に画像や映像をメールで受け取ることができます。

1 「メールお知らせ機能」を使用するために、あらかじめ下記の設定を行います。
① [5-20 メール設定]➡P.97
② [5-25 ファイル]➡P.114　※画像と映像どちらを受け取るのかを設定します。

2 ライブ画面 [設定]ー[送信設定]ー[設定] タブの順にクリックして [送信設定]の画面を表示します。

3 ①任意の英数字で [名称]を入力します。　例「MON_THU」
② [有効]項目 [はい]のチェックボタンをクリックして選択します。
③ [種類]項目 [スケジュール, 送信間隔☐秒]のチェックボタンをクリックして選択します。
④ [種類]項目 [スケジュール, 送信間隔☐秒]の☐に送信間隔を入力します。　例30秒
※ [送信間隔]は、設定した [有効期間]内の送信と次の送信までの秒数です。

5-18 メールお知らせ機能① 定期的にメールを受け取る

4 [有効期間]を指定します。

①☑を入れた曜日に送信します。

② [開始時間（送信を開始する時間）]をプルダウンして選択します。

※左側が時（0 ～23）、右側が分（0 ～59）です。

例16時10分から開始したい場合は、左側を「16」、右側を「10」と選択します。

③ [期間]をプルダウンして選択します。

※左側が時間（0 ～167）、右側が分（0 ～59）です。

例3分間送信したい場合は、左側を「0」、右側を「3」と選択します。

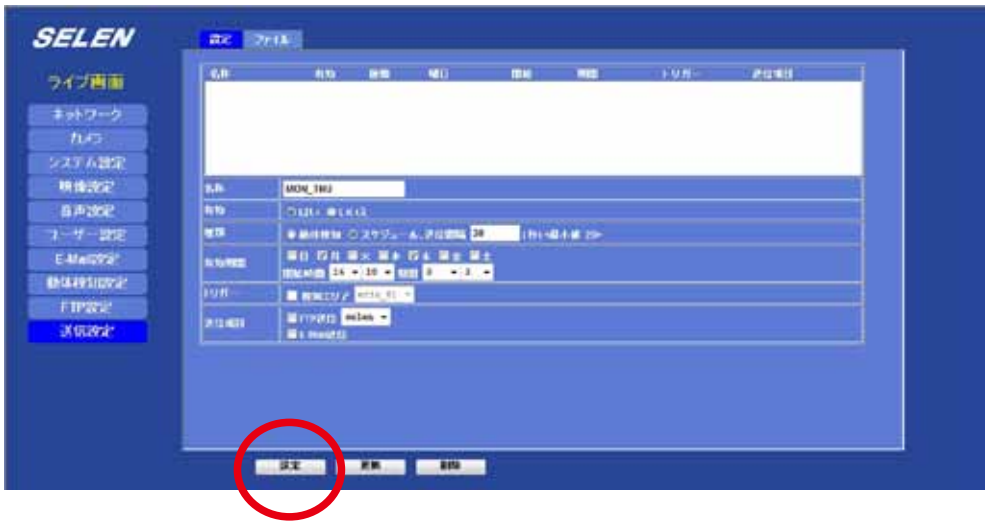
例月曜日と木曜日の16時10分から3分間メール送信する場合

5 E-mail送信のチェックボックスに☑を入れます。

5-18 メールお知らせ機能① 定期的にメールを受け取る

6 [送信項目]にあらかじめ設定したE-mail設定の内容が表示されます。
各項目は、入力し直すことができます。
㊟ [ファイル添付]のチェックボックを外すと、[ファイル]設定で選択されている画像もしくは映像が添付されません。

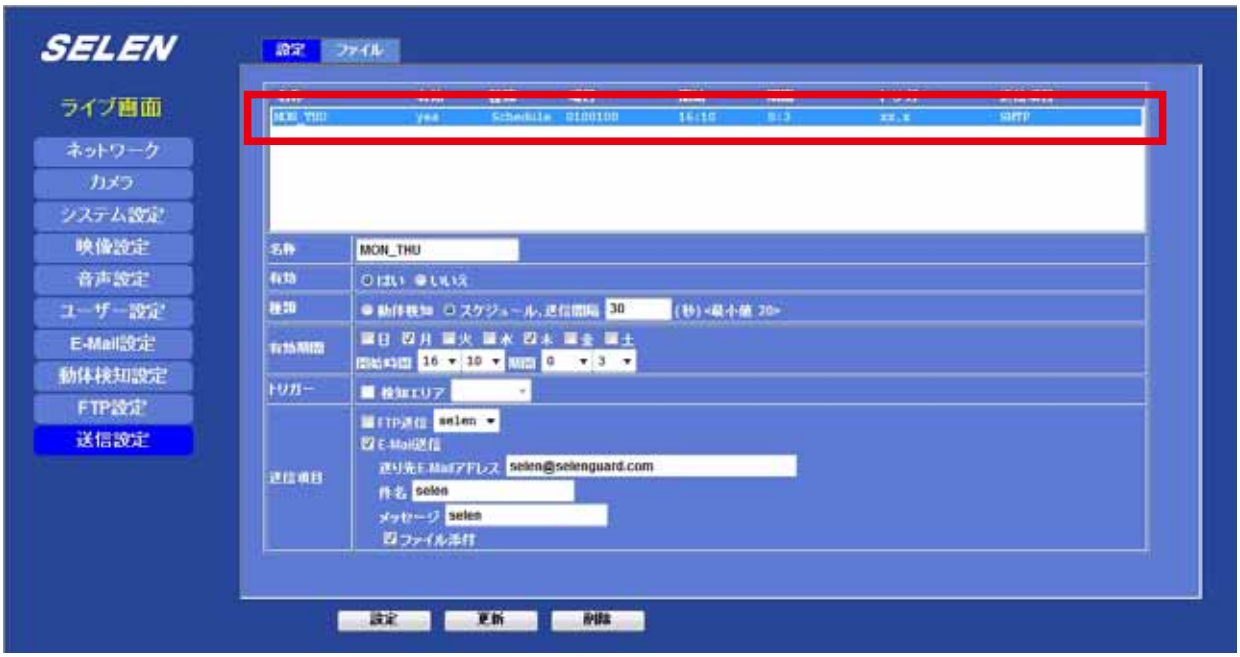
7 【設定】をクリックします。



8 【送信】をクリックします。

5-18 メールお知らせ機能① 定期的にメールを受け取る

9 リストに設定が登録されます。



■設定内容を修正する場合

リスト内の設定をクリックして選択すると、その設定内容が各項目に表示されます。
設定を変更したい項目の入力をし直してください。
【更新】をクリックします。

■設定を削除する場合

リスト内の設定をクリックして選択します。
【削除】をクリックします。

10 「SELEN」ロゴ下の［ライブ画面］をクリックしてライブ画面に戻ります。

㊟ 映像や画像の［開始時間］は、設定時間と90秒程度ずれる場合があります。
㊟ 保存される映像や画像は、1 秒間に1 枚（約1FPS）程度です。撮影される位置や検知したものの速さ等により検知されたものが映らない場合があります。

5-19 メールお知らせ機能② 動体検知時にメールを受け取る

「メールお知らせ機能」で、動体検知した時に画像や映像をメールで受け取ることができます。

1 「メールお知らせ機能」を使用するために、あらかじめ下記の設定を行います。
① [5-20 メール設定]➡P.97
② [5-25 ファイル]➡P.114　※画像と映像どちらを受け取るのかを設定します。
③ [5-24 動体検知設定を登録する]➡P.111

2 ライブ画面 [設定]ー[送信設定]ー[設定] タブの順にクリックして [送信設定]の画面を表示します。

3 ①任意の英数字で [名称]を入力します。　例「kenchi」
② [有効]項目 [はい]のチェックボタンをクリックして選択します。
③ [有効]項目 [動体検知]のチェックボタンをクリックして選択します。

5-19 メールお知らせ機能② 動体検知時にメールを受け取る

4 [有効期間]を指定します。

①☑を入れた曜日に送信します。

② [開始時間（送信を開始する時間）]をプルダウンして選択します。

※左側が時（0 ～23）、右側が分（0 ～59）です。

例16時から開始したい場合は、左側を「16」、右側を「0」と選択します。

③ [期間]をプルダウンして選択します。

※左側が時間（0 ～167）、右側が分（0 ～59）です。

例1 時間30分間を対象にする場合は、左側を「1」、右側を「30」と選択します。

例月曜日と木曜日の16時から1時間30分間の間に動体検知した時にメール送信する場合

5 [トリガー]項目 [検知エリア]のチェックボタンをクリックして選択します。

[トリガー]項目 [検知エリア]右のプルダウン項目の中から設定する検知エリアを選択します。

※プルダウン項目には、あらかじめ動体検知設定で登録された設定内容が表示されます。

例「eria_02」

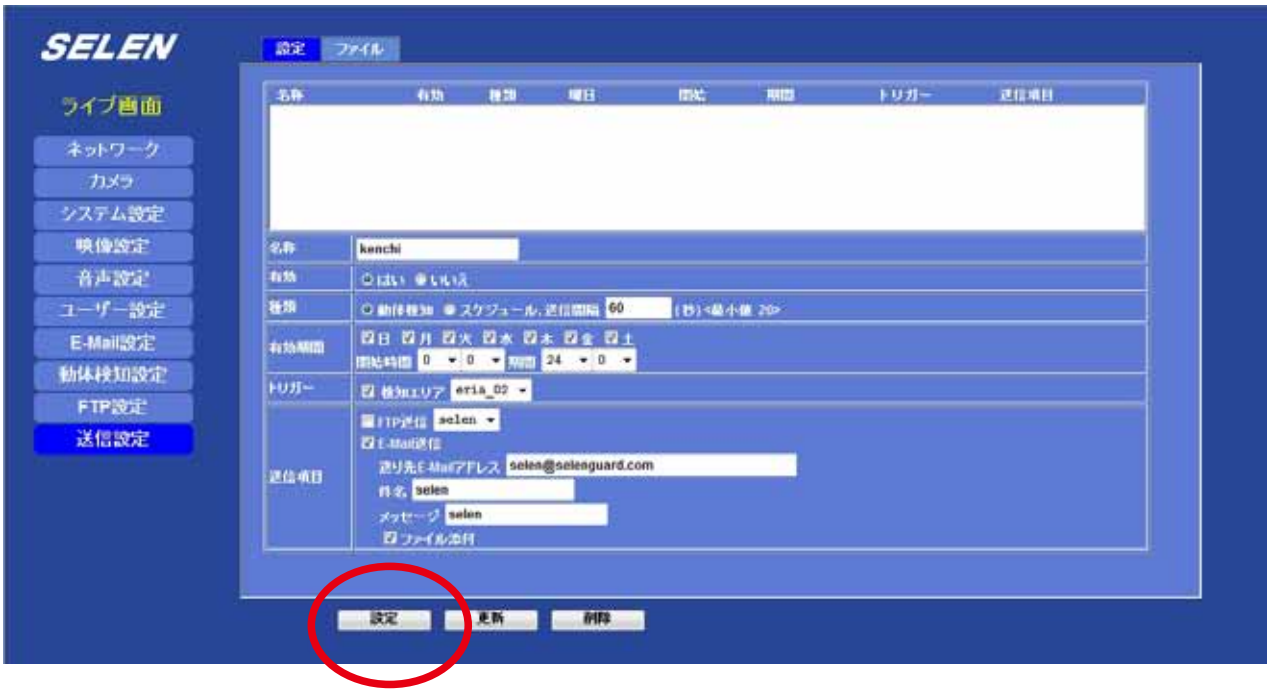
5-19 メールお知らせ機能② 動体検知時にメールを受け取る

6 E-mail送信のチェックボックスに☑を入れます。

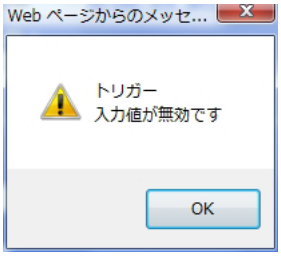
7 [送信項目]にあらかじめ設定したE-mail設定の内容が表示されます。
各項目は、入力し直すことができます。
㊟ [ファイル添付]のチェックボックスを外すと、[ファイル]設定で選択されている画像もしくは映像が添付されません。

5-19 メールお知らせ機能② 動体検知時にメールを受け取る

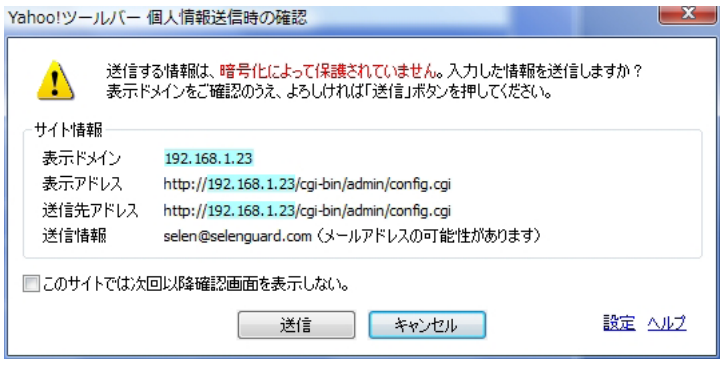
8 【設定】をクリックします。



※［種類］項目［動体検知］を選択し、［トリガー］に☑が入っていない状態で【設定】をクリックすると、［トリガー入力値が無効です］のウィンドウが表示されます。
【OK】をクリックしてウィンドウを閉じ、［トリガー］に☑を入れてください。

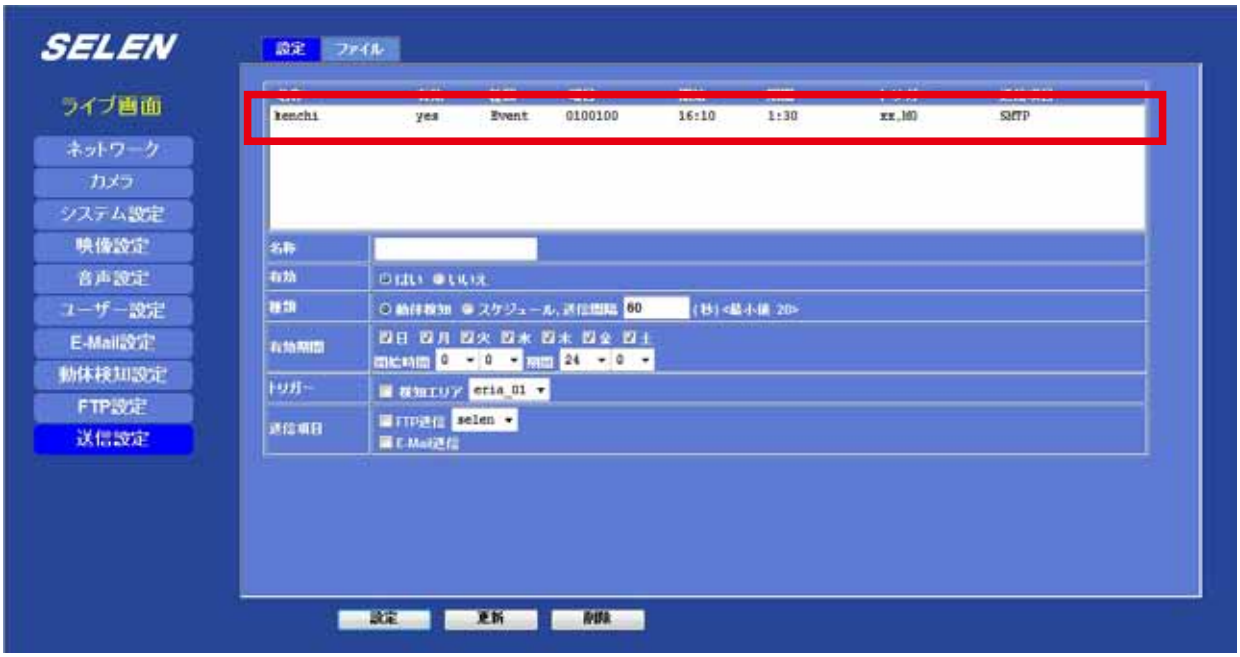


9 【送信】をクリックします。



5-19 メールお知らせ機能② 動体検知時にメールを受け取る

9 リストに設定が登録されます。



■設定内容を修正する場合

リスト内の設定をクリックして選択すると、その設定内容が各項目に表示されます。
設定を変更したい項目の入力をし直してください。
【更新】をクリックします。

■設定を削除する場合

リスト内の設定をクリックして選択します。
【削除】をクリックします。

10 「SELEN」ロゴ下の［ライブ画面］をクリックしてライブ画面に戻ります。

㊟ 動体検知時に送信される映像や画像は動体検知の前後約5秒になりますが、記録容量により変化します。
㊟ 保存される映像や画像は、1 秒間に1 枚（約1FPS）程度です。撮影される位置や検知したものの速さ等により検知されたものが映らない場合があります。

5-20 メール設定

「メールお知らせ機能」で、メールを送信するための設定です。

1 ライブ画面［設定］－［E-Mail設定］をクリックして［E-Mail設定］の画面を表示します。

2 下の表を参考に各項目を入力します。

項目	設定内容/ 設定方法
SMTPサーバー	送信に使用するメールアドレスのプロバイダー毎に契約されている内容入力します。 SMTP認証については、【無効】、【有効】どちらかのチェックボックスをクリックして選択します。 ご契約書類、契約内容がわかるものをあらかじめご用意ください。
SMTPポート	
SMTP認証	
ユーザー名	
パスワード	
メール送信元	
メール送信先	メールを受信するメールアドレスを入力します。
件名&メッセージ	件名&メッセージを入力します。　※入力しなくても構いません。

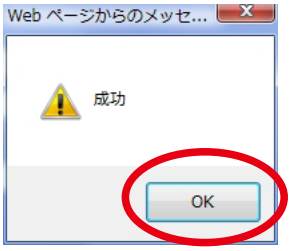
5-20 メール設定

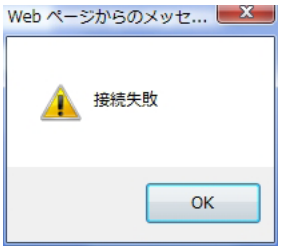
3 【Test】をクリックします。

4 【Test】をクリックします。

［成功］画面が表示されたら、【OK】をクリックします。
送信先のアドレスで、メールの受信をご確認ください。

［接続失敗］などが表示された場合は【OK】をクリックして、内容を確認して**2**の入力をやり直してください。





㊟設定された内容は、［送信設定］項目内の［送り先E-Mail アドレス］、［件名］、［メッセージ］へ自動的に設定されます。

5 「SELEN」ロゴ下の［ライブ画面］をクリックしてライブ画面に戻ります。

5-21 FTPサーバーに保存する① 定期的に保存する

設定した時間に画像や映像をFTPサーバーに保存することができます。

1 「メールお知らせ機能」を使用するために、あらかじめ下記の設定を行います。
① [5-23 FTP設定]➡P.108
② [5-25 ファイル]➡P.114　※画像と映像どちらを受け取るのかを設定します。

2 ライブ画面 [設定]ー[送信設定]ー[設定]タブの順にクリックして [送信設定]の画面を表示します。

3 ①任意の英数字で [名称]を入力します。　例「MON_THU」
② [有効]項目 [はい]のチェックボタンをクリックして選択します。
③ [種類]項目 [スケジュール, 送信間隔□秒]のチェックボタンをクリックして選択します。
④ [種類]項目 [スケジュール, 送信間隔□秒]の□に送信間隔を入力します。　例30秒
※ [送信間隔]は、設定した [有効期間]内の送信と次の送信までの秒数です。

5-21 FTPサーバーに保存する① 定期的に保存する

4 [有効期間]を指定します。

①☑を入れた曜日に送信します。

② [開始時間（送信を開始する時間）]をプルダウンして選択します。

※左側が時（0 ～23）、右側が分（0 ～59）です。

例16時10分から開始したい場合は、左側を「16」、右側を「10」と選択します。

③ [期間]をプルダウンして選択します。

※左側が時間（0 ～167）、右側が分（0 ～59）です。

例3分間送信したい場合は、左側を「0」、右側を「3」と選択します。

例月曜日と木曜日の16時10分から3分間FTP保存する場合

5 FTP送信のチェックボックスに☑を入れます。

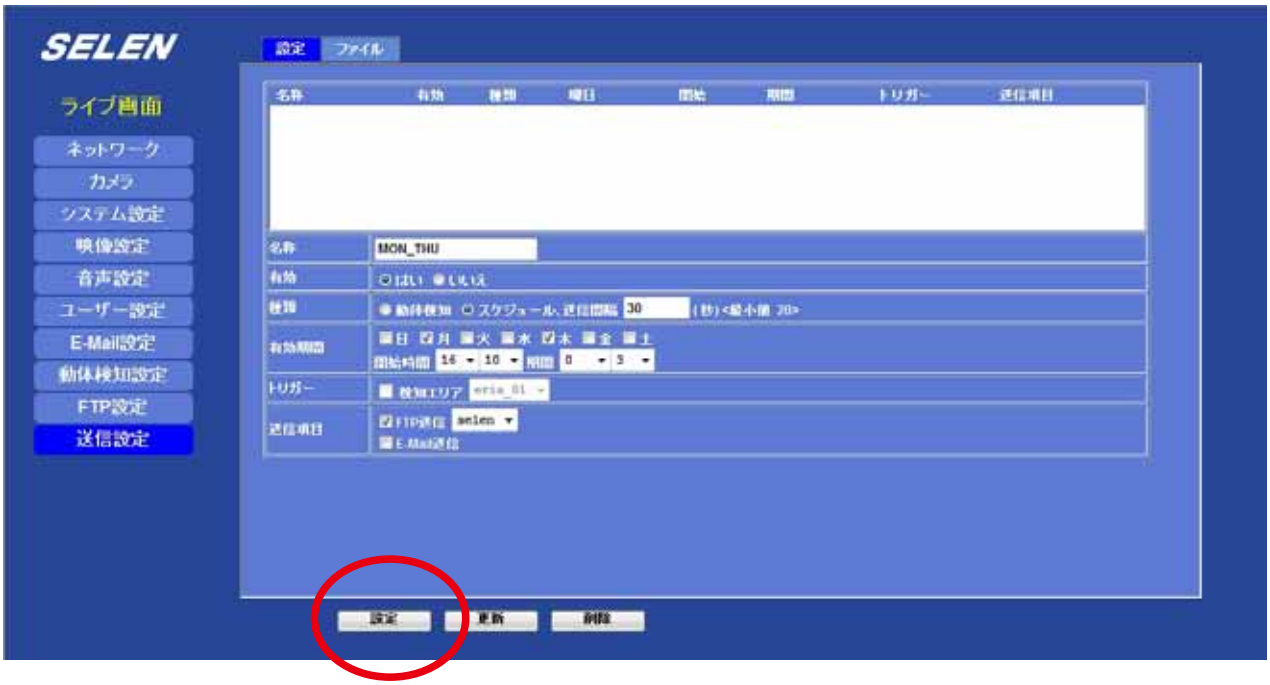
プルダウン項目のの中から設定するFTP設定を選択します。

※プルダウン項目には、あらかじめFTP設定で登録された設定内容が表示されます。

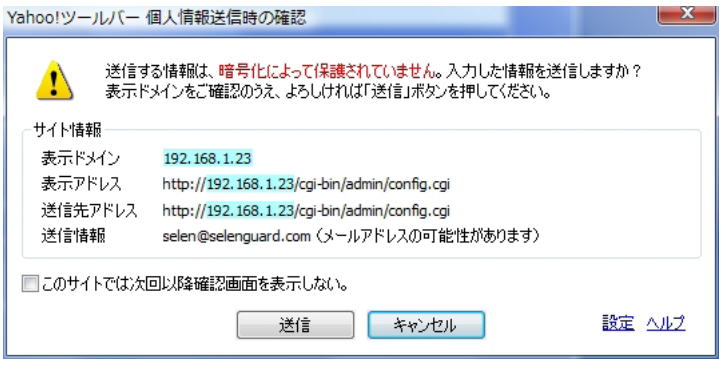
例「selen」

5-21 FTPサーバーに保存する① 定期的に保存する

6 【設定】をクリックします。

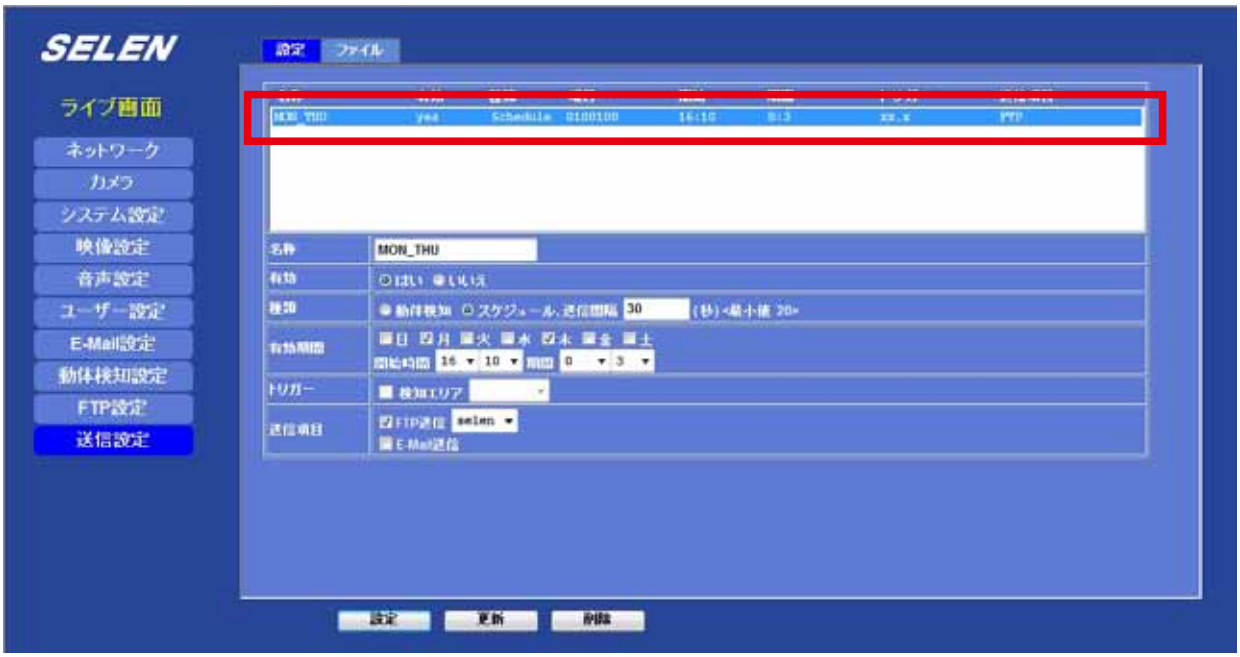


7 【送信】をクリックします。



5-21 FTPサーバーに保存する① 定期的に保存する

8 リストに設定が登録されます。



■設定内容を修正する場合

リスト内の設定をクリックして選択すると、その設定内容が各項目に表示されます。
設定を変更したい項目の入力をし直してください。
【更新】をクリックします。

■設定を削除する場合

リスト内の設定をクリックして選択します。
【削除】をクリックします。

9 「SELEN」ロゴ下の［ライブ画面］をクリックしてライブ画面に戻ります。

㊟ 映像や画像の［開始時間］は、設定時間と90秒程度ずれる場合があります。
㊟ 保存される映像や画像は、1 秒間に1 枚（約1FPS）程度です。撮影される位置や検知したものの速さ等により検知されたものが映らない場合があります。

5-22 FTPサーバーに保存する② 動体検知時に保存する

動体検知した時に画像や映像をFTPサーバーに保存することができます。

1 「メールお知らせ機能」を使用するために、あらかじめ下記の設定を行います。
① [5-23 FTP設定]➡P.108
② [5-25 ファイル]➡P.114　※画像と映像どちらを受け取るのかを設定します。
③ [5-24 動体検知設定を登録する]➡P.111

2 ライブ画面 [設定]ー[送信設定]ー[設定]タブの順にクリックして [送信設定]の画面を表示します。

3 ①任意の英数字で [名称]を入力します。　例「kenchi」
② [有効]項目 [はい]のチェックボタンをクリックして選択します。
③ [種類]項目 [動体検知]のチェックボタンをクリックして選択します。

5-22 FTPサーバーに保存する② 動体検知時に保存する

4 [有効期間]を指定します。

①☑を入れた曜日に送信します。

② [開始時間（送信を開始する時間）]をプルダウンして選択します。

※左側が時（0 ～23）、右側が分（0 ～59）です。

例16時から開始したい場合は、左側を「16」、右側を「0」と選択します。

③ [期間]をプルダウンして選択します。

※左側が時間（0 ～167）、右側が分（0 ～59）です。

例1 時間30分間を対象にする場合は、左側を「1」、右側を「30」と選択します。

例月曜日と木曜日の16時から1時間30分間の間に動体検知した時にFTP保存する場合

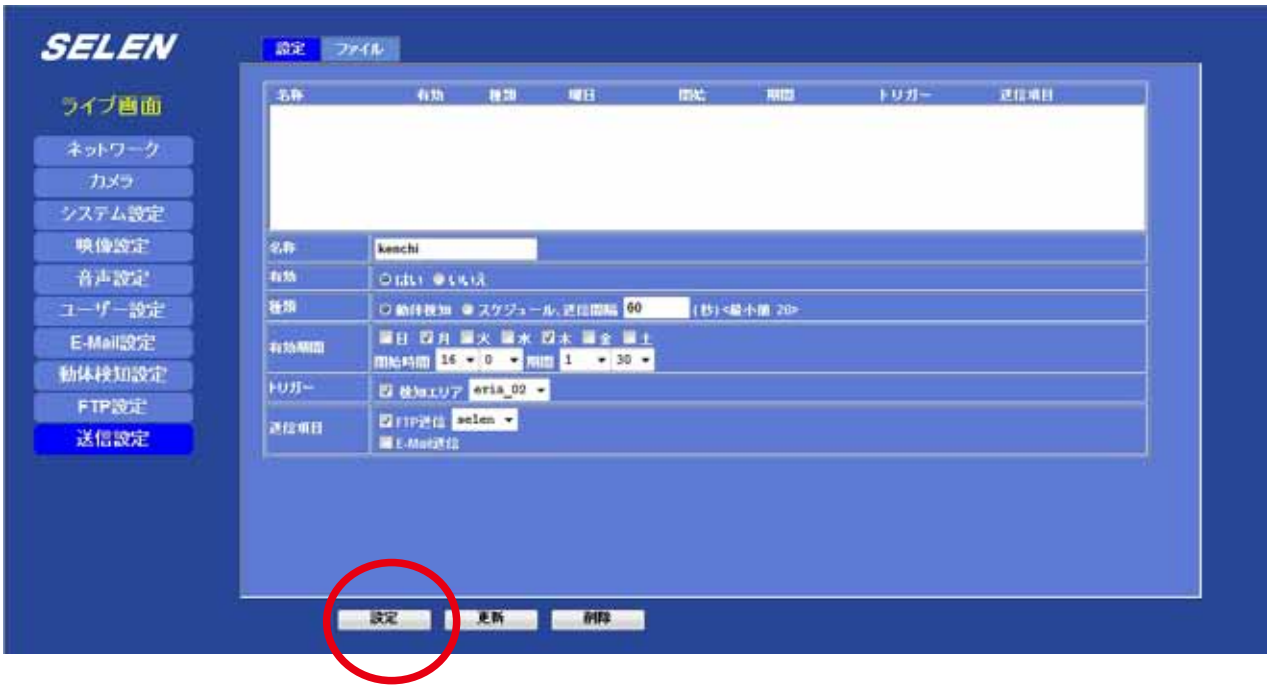
5-22 FTPサーバーに保存する② 動体検知時に保存する

5 [トリガー]項目 [検知エリア]のチェックボタンをクリックして選択します。
[トリガー]項目 [検知エリア]右のプルダウン項目の中から設定する検知エリアを選択します。
※プルダウン項目には、あらかじめ動体検知設定で登録された設定内容が表示されます。
例「eria_02」

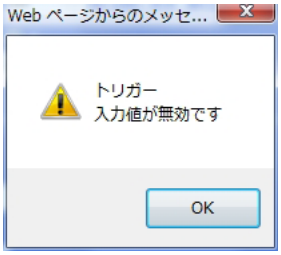
5 FTP送信のチェックボックスに☑を入れます。
プルダウン項目の中から設定するFTP設定を選択します。
※プルダウン項目には、あらかじめFTP設定で登録された設定内容が表示されます。
例「selen」

5-22 FTPサーバーに保存する② 動体検知時に保存する

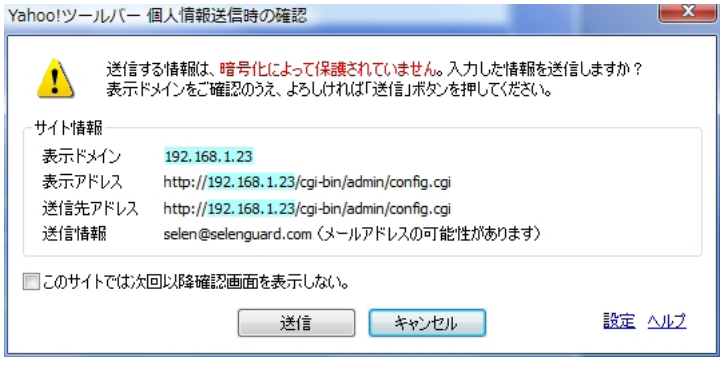
6 【設定】をクリックします。



※［種類］項目［動体検知時に送信］を選択し、［トリガー］に☑が入っていない状態で【設定】をクリックすると、［トリガー入力値が無効です］のウィンドウが表示されます。
【OK】をクリックしてウィンドウを閉じ、トリガー］に☑を入れてください。

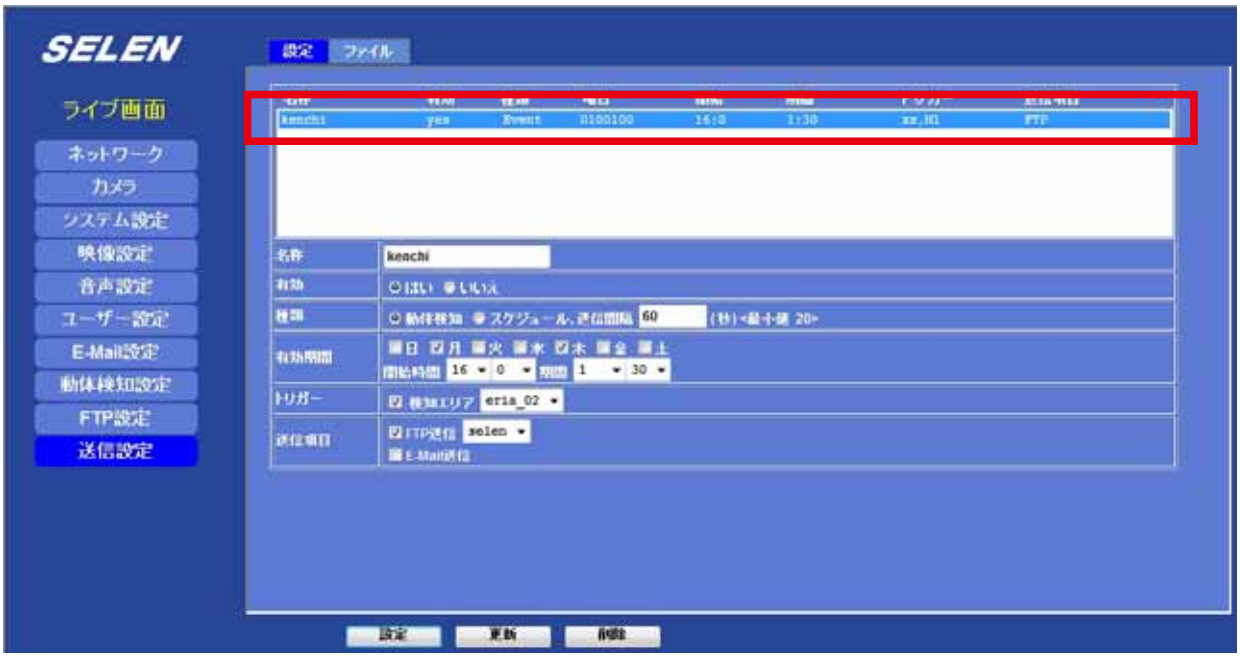


7 【送信】をクリックします。



5-22 FTPサーバーに保存する② 動体検知時に保存する

8 リストに設定が登録されます。



■設定内容を修正する場合

リスト内の設定をクリックして選択すると、その設定内容が各項目に表示されます。
設定を変更したい項目の入力をし直してください。
【更新】をクリックします。

■設定を削除する場合

リスト内の設定をクリックして選択します。
【削除】をクリックします。

9 「SELEN」ロゴ下の［ライブ画面］をクリックしてライブ画面に戻ります。

㊟ 動体検知時に送信される映像や画像は動体検知の前後約5秒になりますが、記録容量により変化します。
㊟ 保存される映像や画像は、1 秒間に1 枚（約1FPS）程度です。撮影される位置や検知したものの速さ等により検知されたものが映らない場合があります。

5-23 FTP設定

FTPサーバーに保存するための設定です。
※FTPサーバーは、カメラと同じローカルエリアネットワークに接続してください。

1 ライブ画面［設定］－［FTP設定］をクリックして［FTP設定］の画面を表示します。

2 下の表を参考に各項目を入力します。

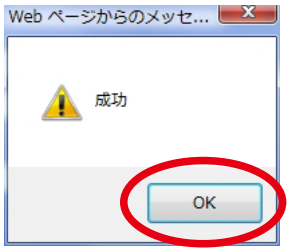
項目	設定内容/ 設定方法
名称	任意の英数字で名称を入力します。
FTPサーバーアドレス	FTP サーバーのローカルアドレスを入力します。
FTPログイン名	保存するフォルダに設定したログイン名を入力します。
FTPログインパスワード	保存するフォルダに設定したパスワードを入力します。
FTPポート	㊟ ［21］以外の設定は、ネットワーク管理者、もしくは、ネットワークに詳しい方が設定されることをおすすめします。
FTPパス	保存するフォルダまでのディレクトリパスを入力します。
FTPパッシブモード	パッシブモードを入力します。

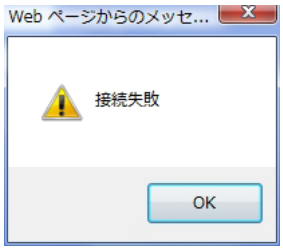
5-23 FTP設定

3 [FTP サーバーアドレス]の【Test】をクリックします。

4 【OK】をクリックしてください。
また、サーバーのフォルダに「ftp_test」のファイルが保存されたことを確認してください。

[接続失敗]などのエラーウィンドウが表示された場合は、【OK】をクリックして**2**に戻り、各項目の内容を確認して入力し直してください。

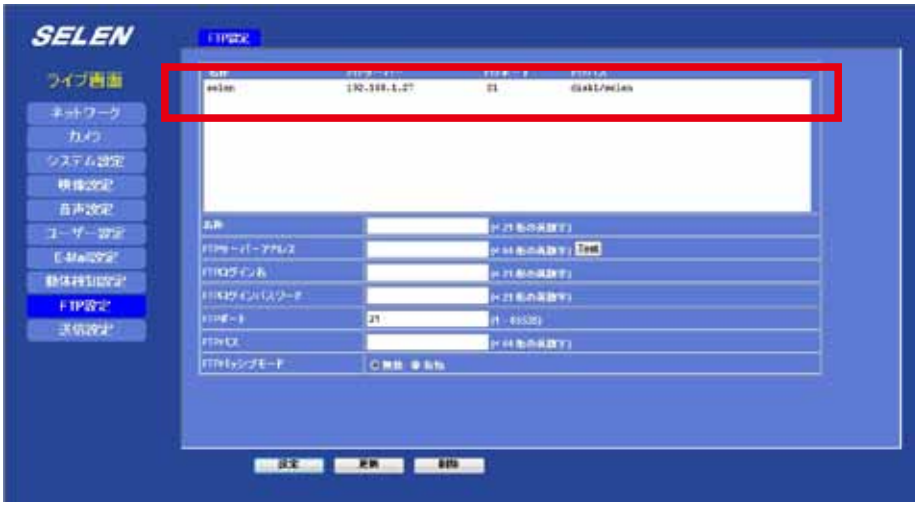




5 【設定】をクリックします。

5-23 FTP設定

6 リスト内に設定が追加されます。

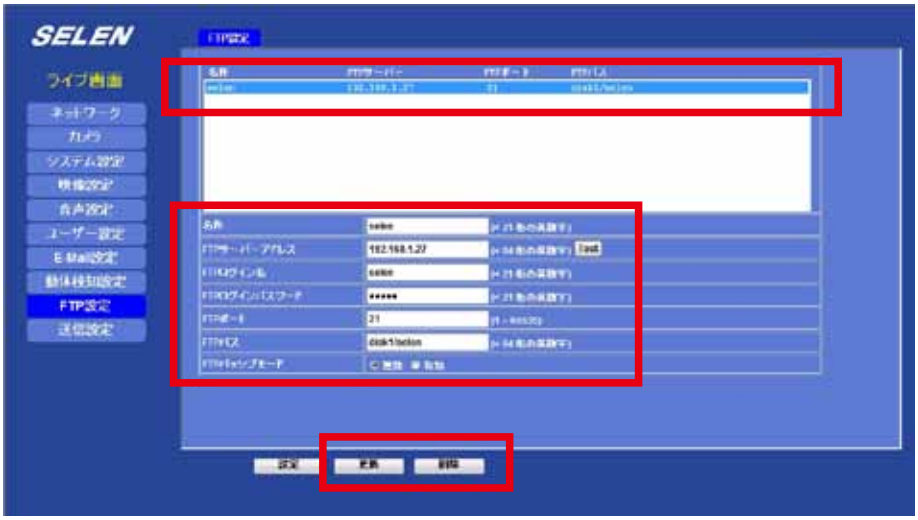


■設定内容を修正する場合

リスト内の設定をクリックして選択すると、その設定内容が各項目に表示されます。
設定を変更したい項目の入力をし直してください。
【更新】をクリックします。

■設定を削除する場合

リスト内の設定をクリックして選択します。
【削除】をクリックします。



6 「SELEN」ロゴ下の［ライブ画面］をクリックしてライブ画面に戻ります。

5-24 動体検知設定を登録する

動体検知した時にメール送信、FTP サーバーに送信する場合に、あらかじめ設定が必要です。

1 ライブ画面［設定］－［動体検知設定］をクリックして［動体検知設定］の画面を表示します。

2 【設定】をクリックします。

3 プルダウンになっている［検知エリア設定］項目に［DefaultWindow］の設定が追加されます。

ライブ映像左上に ⬚（選択範囲）が表示されます。

下の「操作について」を参考に検知範囲を選択します。

※設定は、最大4つまで作成できます。
作成された［検知エリア設定］には、名称に1～4 の番号が付きます。番号は、⬚ の番号です。

※ ⬚ は、ライブ映像内に常に表示されます。

▼ ⬚（選択範囲）の操作について

移動させる➡ ⬚ は、マウスのポインタを■以外の範囲内からドラッグします。

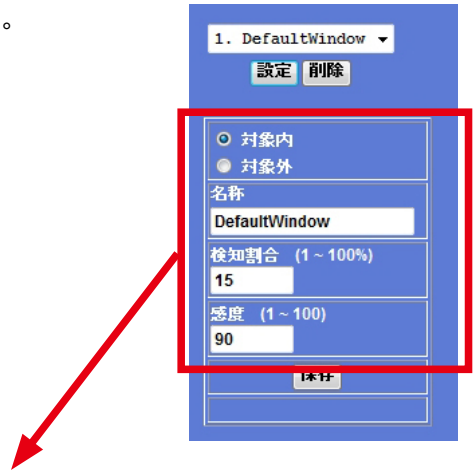
選択範囲の拡大･縮小➡ ⬚ は、マウスのポインタを■の位置からドラッグ&ドロップします。

⬚ は、作成した順番に左上に番号が入ります。若い番号が手前に表示されています。

㊟日時表示の変化を検知することがあります。検知エリアは、日時表示部を除くなどして検知しないように設定してください。

5-24 動体検知設定を登録する

4 ［検知エリア設定］の各項目を入力します。

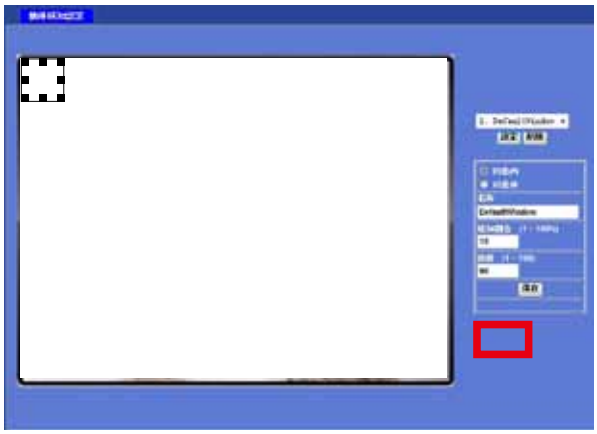


項目	初期値	設定範囲	設定内容/ 設定方法
対象エリア	対象内	［対象内］ もしくは ［対象外］	［対象内］、もしくは［対象外］のチェックボタンをクリックして選択します。 ※［送信設定］で選択可能な検知リストは、［対象内］の設定のみになります。 ※［対象外］の設定は、［対象内］すべての □ に対しての「検知しないエリア」になります。
名称	DefaultWindow	（英数字）	設定したい名称を入力します。 ※変更しなくてもかまいません。
検知割合	15	1～100%	検知割合を入力します。 数値が小さいほど検知しやすくなります。
感度	90	1～100	感度を入力します。 数値が大きいほど検知しやすくなります。

5 【保存】をクリックします。

㊟右の □ 部分に「処理中」の表示が出たことを確認してください。

※設定を変更する場合は、保存されている［検知エリア設定］をプルダウンで選択して、表示された各項目を再入力し、【保存】をクリックします。



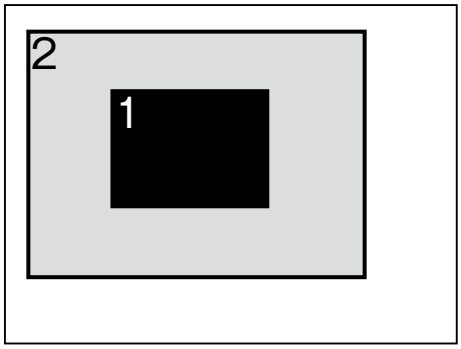
5-24 動体検知設定を登録する

▼ を複数設定した場合について

ひとつずつの［検知エリア設定］の設定方法は同じですが、複数の設定（4つまで）を組み合わせて［検知エリア設定］をすることができます。下にいくつかの例をあげておきます。グレーの部分が検知される範囲、黒い部分が検知されない範囲になります

例「2」の［検知エリア設定］が1つ設定できるパターン

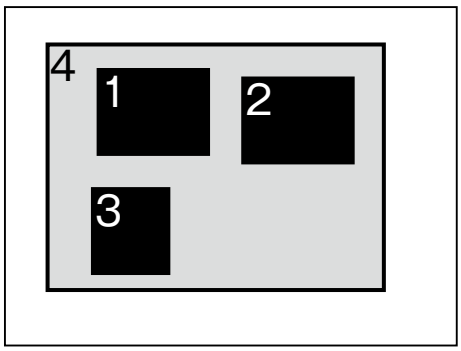
（2つの の組み合わせ）



ライブ映像の画面

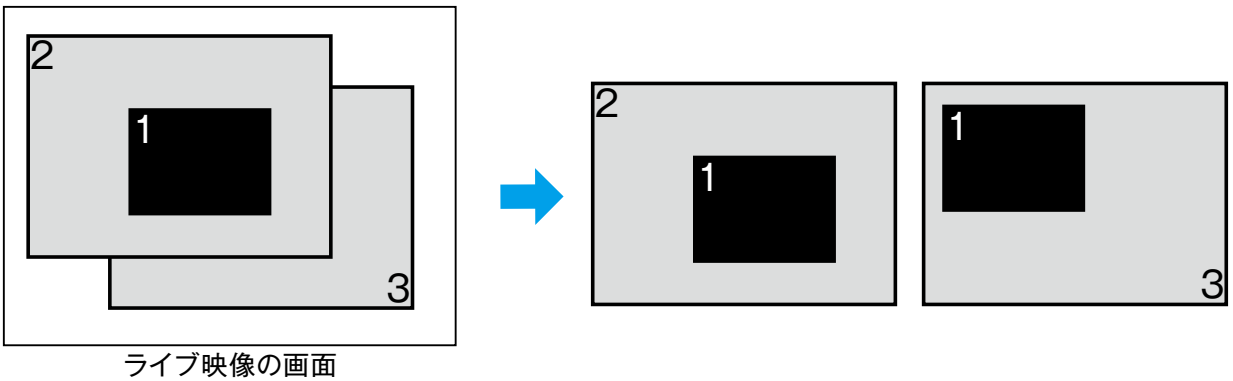
例「4」の［検知エリア設定］が1つ設定できるパターン

（4つの の組み合わせ）



ライブ映像の画面

例「2」と「3」の［検知エリア設定］が2つ設定できるパターン（3つの の組み合わせ）



ライブ映像の画面

6 「SELEN」ロゴ下の［ライブ画面］をクリックしてライブ画面に戻ります。

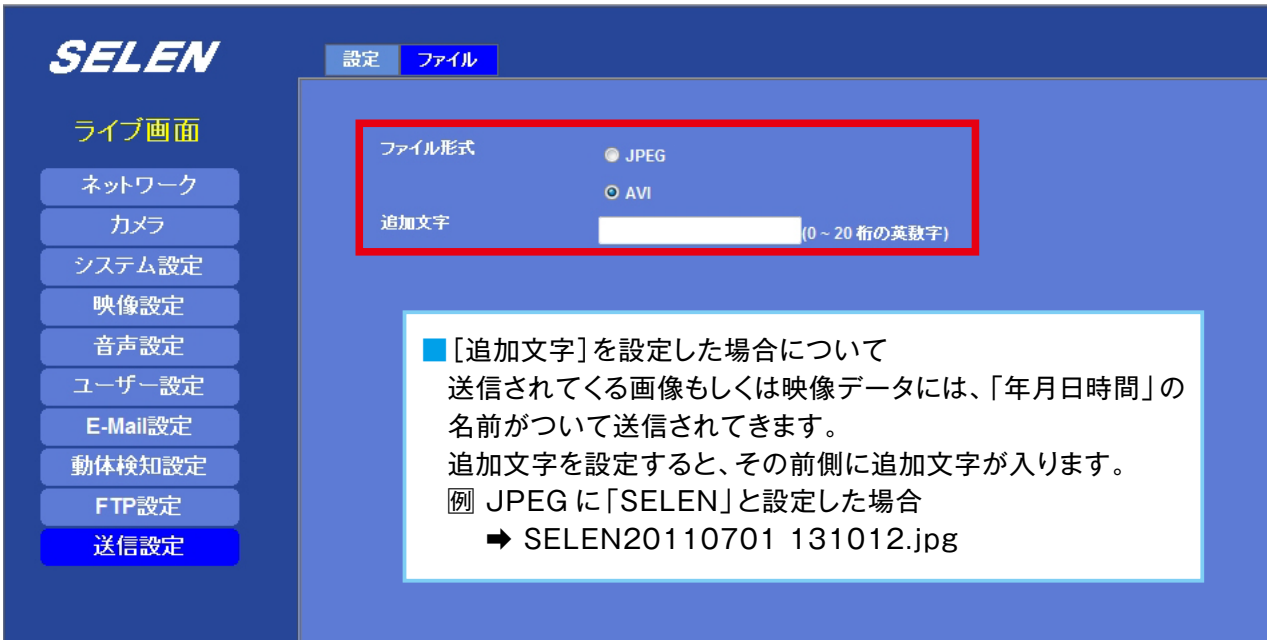
5-25 ファイル

E-Mail送信で添付するファイルを映像かスナップショットに設定できます。

1 ライブ画面［設定］－［送信設定］－［ファイル］タブの順にクリックして［ファイル］の画面を表示します。

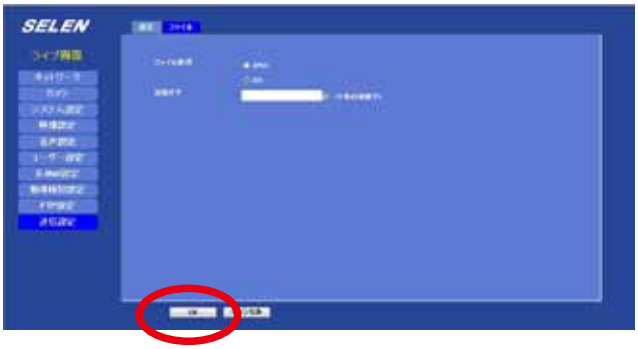
2 ［ファイル形式］の［JPEG］、［AVI］のどちらかをクリックして選択します。
■静止画を選択する場合➡JPEG
■動画を選択する場合　➡AVI

ファイル名に文字を追加したい場合は、［追加文字］を入力します。



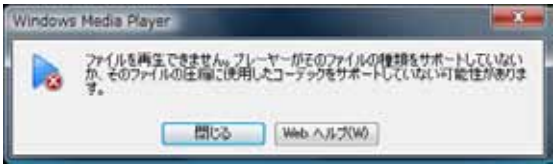
■［追加文字］を設定した場合について
送信されてくる画像もしくは映像データには、「年月日時間」の名前がついて送信されてきます。
追加文字を設定すると、その前側に追加文字が入ります。
例 JPEG に「SELEN」と設定した場合
➡ SELEN20110701 131012.jpg

3 【OK】をクリックします。



4 「SELEN」ロゴ下の［ライブ画面］をクリックしてライブ画面に戻ります。

■保存される映像について
映像は、AVI 形式に対応したソフトウェアで再生できますが、再生時に下のような表示が出た時、または映像が出ない、音声が出ない時は、コーデックのインストールをお試しください。コーデックは、付属のCD-ROM内「codec」フォルダにあります。



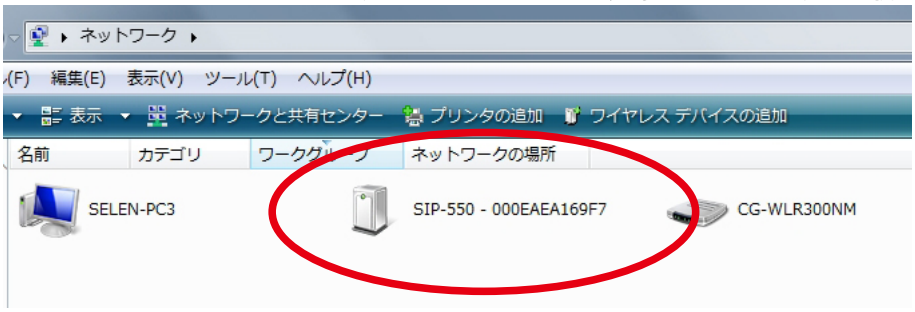
▼映像が出ない場合にインストール
「XviD-1.1.3-28062007」

▼音声が出ない場合にインストール
「Codec45_JVCG726E」

5-26 ローカルエリアネットワークにデバイス名を表示する

カメラをローカルエリアネットワーク上のデバイスとして表示できます。

□カメラがローカルネットワーク上でデバイスとして表示されている場合の例



1 ライブ画面［設定］ー［ネットワーク］ー［UPnP］タブの順にクリックして［UPnP］の画面を表示します。

2 ［カメラ名表示］の【有効】のチェックボタンをクリックして選択します。
※表示させない場合は、【無効】を選択します。

3 【OK】をクリックします。

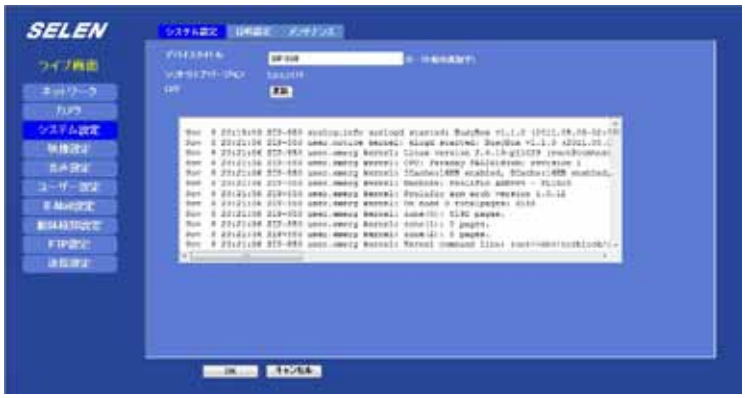
4 「SELEN」ロゴ下の［ライブ画面］をクリックしてライブ画面に戻ります。

5-27 デバイスタイトルを変更する

デバイスタイトルを変更できます。

1 ライブ画面［設定］－［システム設定］－［システム設定］タブの順にクリックして［システム設定］の画面を表示します。

また、ソフトウエアのバージョンとログが確認できます。ログは、【更新】をクリックすると表示が更新されます。

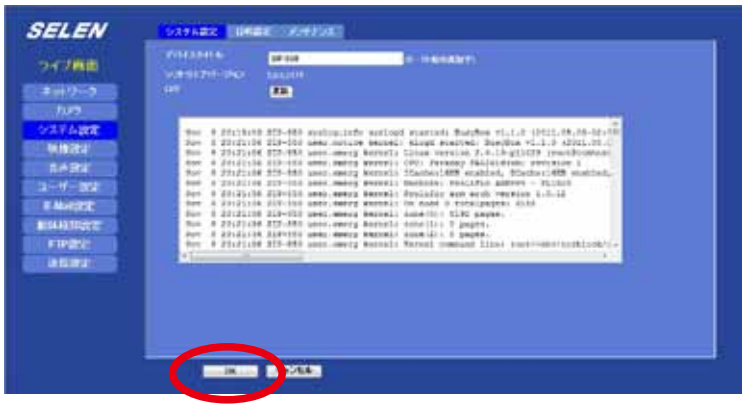


2 変更したいデバイスタイトルを入力します。

▼ここで設定するデバイスタイトルは、下記の3項目に反映されます。

- ●IP Wizard Ⅱのリスト表示名
- ●パソコンのネットワーク内の表示名 ※［UPnP］設定で［カメラ名表示］が有効の場合。
- ●［UPnP］タブの［カメラ名］項目内の表示名

3 【OK】をクリックします。



4 「SELEN」ロゴ下の［ライブ画面］をクリックしてライブ画面に戻ります。

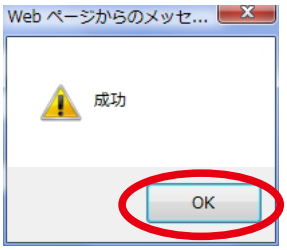
5-28 RTSPポート

RTSPポートの設定ができます。

1 ライブ画面［設定］－［ネットワーク］－［RTSPポート］タブの順にクリックして［RTSPポート］の画面を表示します。

2 ［RTSP ポート］にカメラの他の設定項目で使用していないポート番号を入力し、［RTSP ポート］の右にある【Test】をクリックします。

3 ［成功］ウィンドウが表示されたら【OK】をクリックしてウィンドウを閉じます。



4 【OK】をクリックします。

5 「SELEN」ロゴ下の［ライブ画面］をクリックしてライブ画面に戻ります。

RTSPは、音声や映像をストリーミング配信するためのプロトコルです。
RealNetworks 社、Netscape Communications 社らが共同開発した規格です。

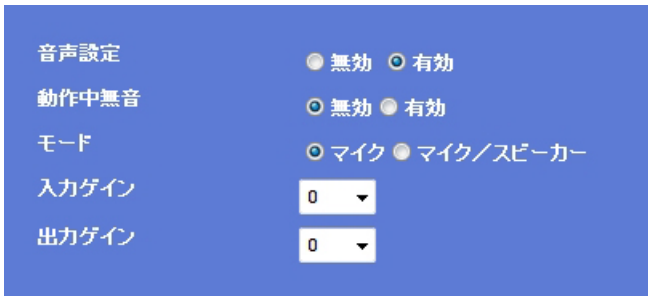
5-29 カメラ周辺の音を聴く

カメラのマイクを使用して、カメラ周辺の音を聴くことができます。
※モニタリングしているパソコンにスピーカーが必要です。

1 ライブ画面［設定］－［音声設定］をクリックして［音声設定］の画面を表示します。

2 ［音声設定］の【有効】のチェックボタンをクリックして選択します。

その他の項目は、下の表を参考に選択します。



設定項目	設定内容	設定の効果
音声設定	［無効］／［有効］※	音声設定を有効/ 無効にします。
動作中無音	［無効］／［有効］	パン/ チルトの動作音が気になる時は、有効にします。 ※有効時でも若干は聞こえる場合があります。
モード	［マイク］ / ［マイク／スピーカー］※	マイク機能のみを選択にする場合は［マイク］、マイクとスピーカー両方の機能を選択にする場合は［マイク／スピーカー］を選択します。
入力ゲイン	−60/−40/−20/0/30	マイクのゲインを調整します。
出力ゲイン	−60/−40/−20/0/30	スピーカーのゲインを調整します。

※［音声設定］が【有効】で、かつ［モード］が【マイク/ スピーカー】に設定されている場合は、ライブ画面にスピーカーのアイコンが表示されます。

5-29 カメラ周辺の音を聴く

3 【OK】をクリックします。
設定変更を開始します。

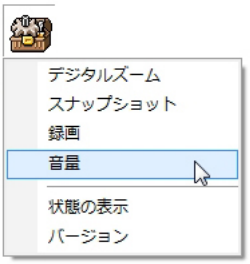
※［音声設定］項目の変更をした時にのみ表示されます。

4 「SELEN」ロゴ下の［ライブ画面］をクリックしてライブ画面に戻ります。
ライブ画面に移動すると、カメラ周辺の音声が聴こえます。

※モニタリングしているパソコンスピーカーの設定については、パソコンの取扱説明書でご確認ください。

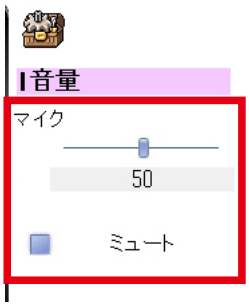
5 ライブ画面［ツールボックス］をクリックて、開いたウインドウ内の［音量］をクリックして選択します。

※［ツールボックス］ウインドウ内の［デジタルズーム］、［スナップショット］、［録画］、［音量］は、どれか1項目の選択のみ可能です。



6 音量は、バー中心のツマミを左右に移動して調整します。
数字が大きくなるほど音が大きくなります。(0～100)

ミュートする場合は、□をクリックして☑にしてください。
もう一度クリックすると、ミュートが解除されます。



7 ［音量］の画面表示を消したい時は、5の手順で［ツールボックス］ウインドウ内の［音量］をクリックして選択ます。

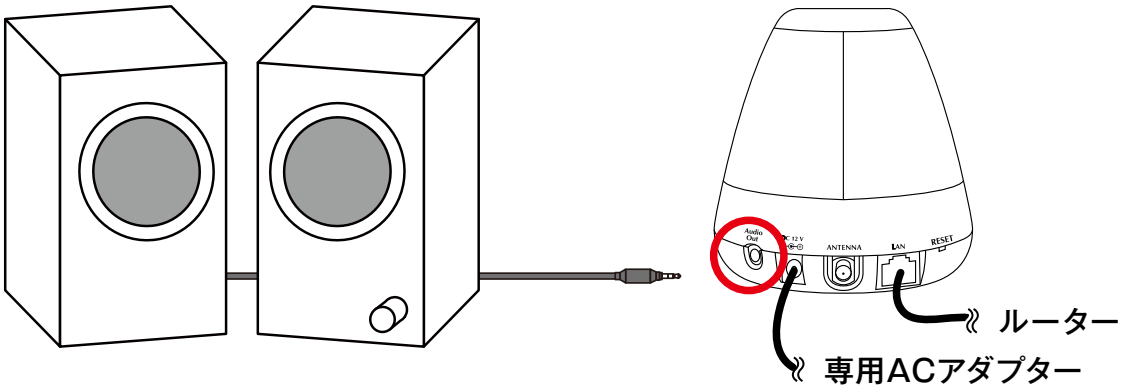
※［音量］の画面表示中は、［ツールボックス］ウインドウ内の［音量］は、☑になっています。

5-30 カメラにスピーカーをつけて音を出す

パソコンのマイク音声などをカメラに接続したスピーカーから音を出すことができます。
※アンプ内蔵スピーカー（別売）などが必要です。

設定前にセッティングしてください。

1 カメラの「音声出力端子」にアンプ内蔵スピーカー（別売）などを接続します。



2 パソコンの「マイク入力（音声入力）」の接続・設定をします。
詳しくは、パソコンの取扱説明書をご確認ください。

接続が終わった後に、カメラの設定を行います。

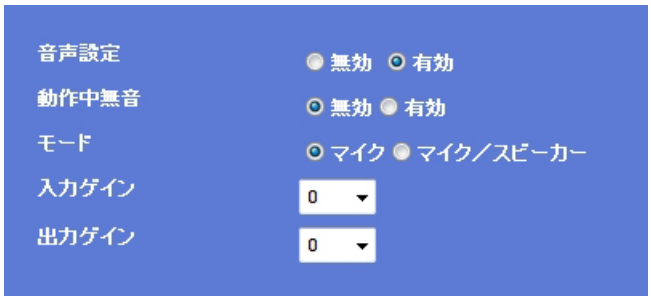
5-30 カメラにスピーカーをつけて音を出す

1 ライブ画面［設定］－［音声設定］をクリックして［音声設定］の画面を表示します。

2 ［音声設定］の［有効］のチェックボタンをクリックして選択します。

［モード］の［マイク/ スピーカー］のチェックボタンをクリックして選択します。

その他の項目は、下の表を参考に選択します。



設定項目	設定内容	設定の効果
音声設定	［無効］/［有効］※	音声設定を有効/ 無効にします。
動作中無音	［無効］/［有効］	パン/ チルトの動作音が気になる時は、有効にします。 ※有効時でも若干は聞こえる場合があります。
モード	［マイク］ / ［マイク／スピーカー］※	マイク機能のみを選択にする場合は［マイク］、マイクとスピーカー両方の機能を選択にする場合は［マイク／スピーカー］を選択します。
入力ゲイン	−60/−40/−20/0/30	マイクのゲインを調整します。
出力ゲイン	−60/−40/−20/0/30	スピーカーのゲインを調整します。

※［音声設定］が【有効】で、かつ［モード］が［マイク/ スピーカー］に設定されている場合は、ライブ画面にスピーカーのアイコンが表示されます。

5-30 カメラにスピーカーをつけて音を出す

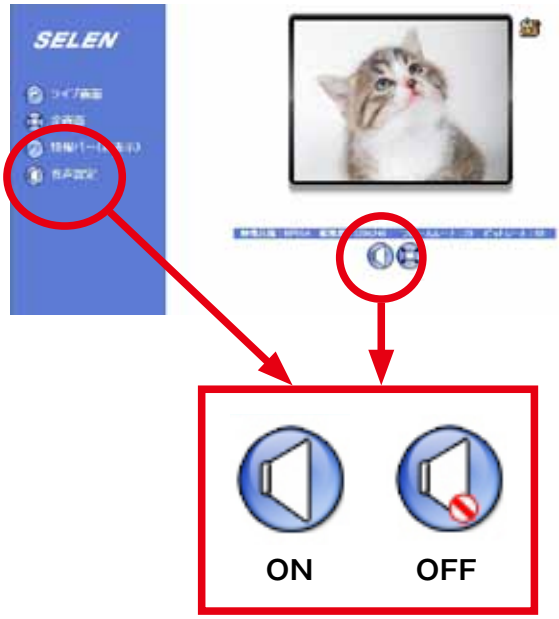
3 【OK】をクリックします。

4 「SELEN」ロゴ下の［ライブ画面］をクリックして
ライブ画面に戻ります。

5 ライブ画面［画面/ 音声設定］をクリックして
［画面/ 音声設定］の画面を表示します。

6 【音声設定】をクリックします。
アイコンが［ON］になったことをご確認ください。

※【音声設定】、もしくはアイコンは、クリックする
たびに［ON］と［OFF］が切り替わります。



7 「SELEN」ロゴ下の［ライブ画面］をクリックして
ライブ画面に戻ります。

これで「スピーカー」の設定は完了です。

5-31 カメラの設定内容をバックアップする

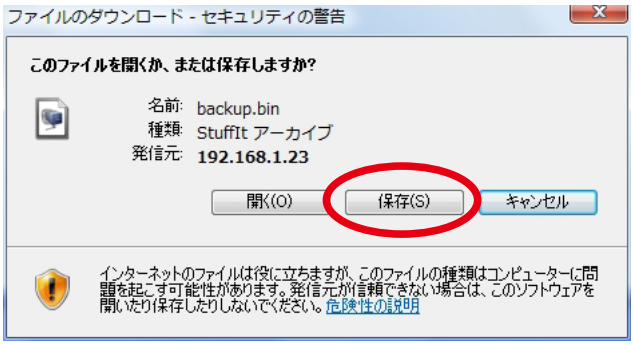
カメラの設定内容をバックアップデータとして保存しておくことができます。
一度、設定を変更して、設定内容を元に戻したい時などに便利です。

1 ライブ画面［設定］ー［システム設定］ー［メンテナンス］タブの順にクリックして［メンテナンス］の画面を表示します。

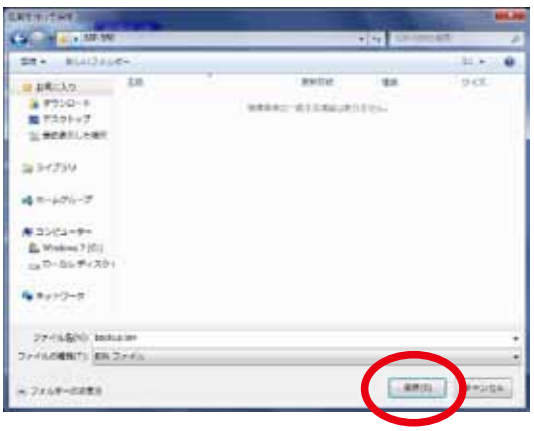
2 【保存】をクリックします。

3 【保存】をクリックします。

㊟【開く】はクリックしないでください。



4 バックアップデータの保存先を指定して、【保存】をクリックします。



5 「SELEN」ロゴ下の［ライブ画面］をクリックしてライブ画面に戻ります。

5-32 バックアップした設定内容でカメラを設定する

保存してあるバックアップデータの設定内容でカメラを設定できます。

1 ライブ画面［設定］－［システム設定］－［メンテナンス］タブの順にクリックして［メンテナンス］の画面を表示します。

2 ［設定読込］の【参照】をクリックします。

3 設定するバックアップファイルを指定して、【開く】をクリックします。

4 ［設定読込］に設定するバックアップのディレクトリが表示されます。
※【取消】をクリックすると、ディレクトリの表示がクリアになります。

【読込】をクリックします。

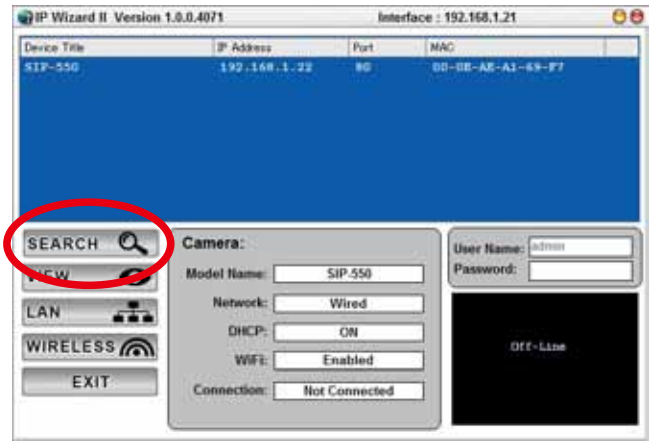
5-32 バックアップした設定内容でカメラを設定する

5 【OK】をクリックします。
設定を開始します。

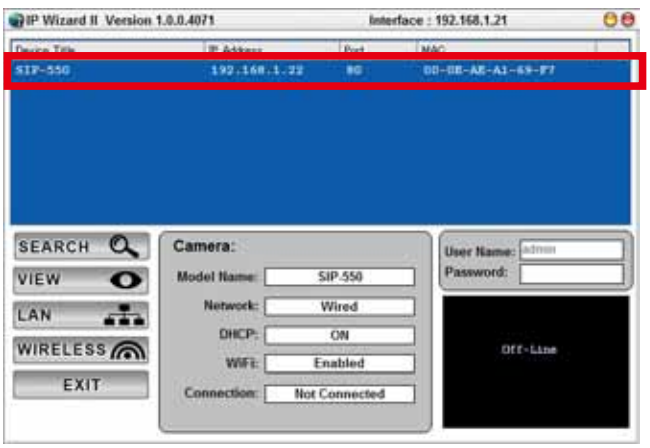
6 【OK】をクリックします。

7 Internet Explorer を閉じます。

8 「IP Wizard Ⅱ」で【SEARCH】をクリックして再検索ます。



9 カメラをダブルクリックして、ライブ画面を開きます。



5-33 カメラを初期化する

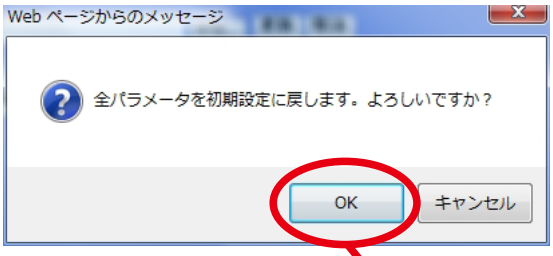
カメラの設定を初期化することができます。初期化には、[初期化1（ネットワーク設定を含む）]と[初期化2（ネットワーク設定を除く）]の2 種類のパターンがあります。
※設定内容の違いについては、「設定項目・初期化設定値（P.136）」をご確認ください。

1 ライブ画面［設定］ー［システム設定］ー［メンテナンス］タブの順にクリックして［メンテナンス］の画面を表示します。

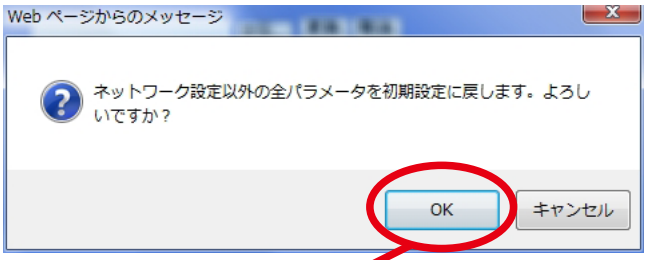
2 【初期化1】もしくは【初期化2】をクリックします。

3 【OK】をクリックします。
初期化を開始します。

▼初期化1の場合



▼初期化2の場合

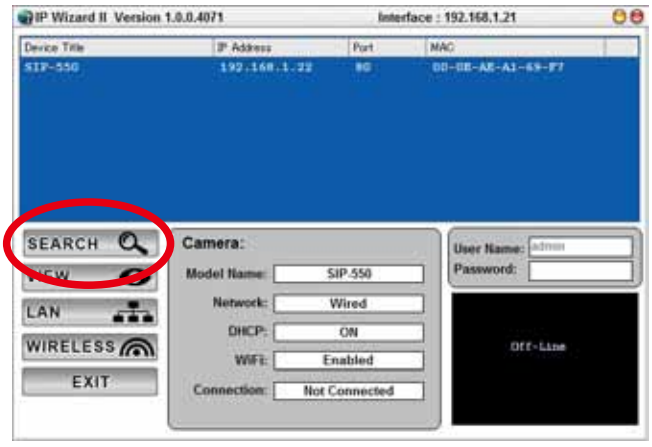


5-33 カメラを初期化する

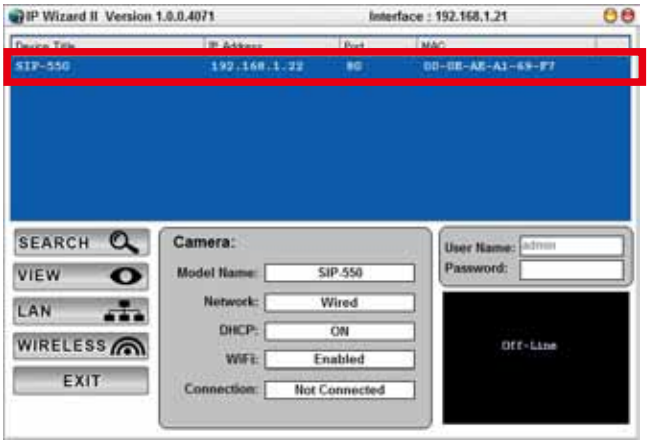
4 【OK】をクリックします。

5 Internet Explorer を閉じます。

6 「IP Wizard Ⅱ」で【SEARCH】をクリックして再検索ます。



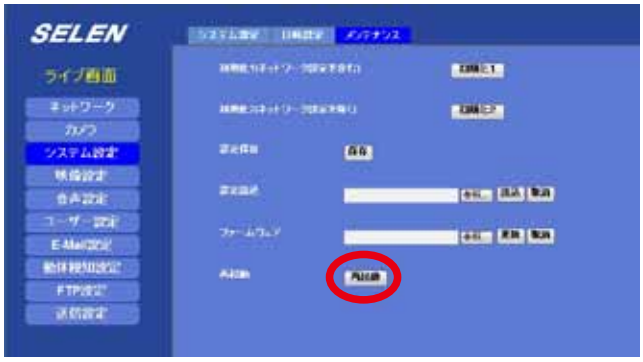
7 カメラをダブルクリックして、ライブ画面を開きます。



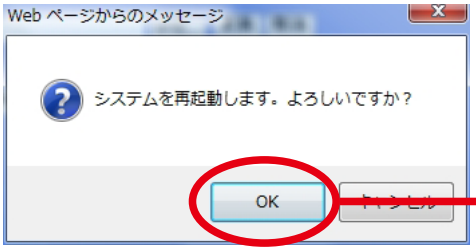
5-34 カメラを再起動する

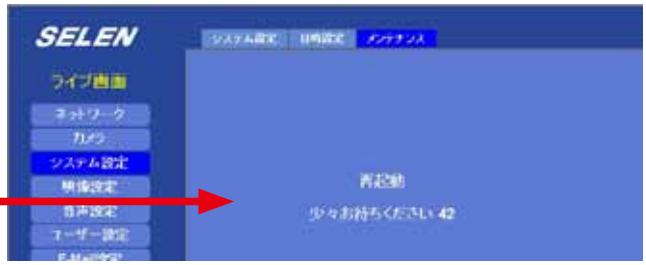
1 ライブ画面［設定］－［システム設定］－［メンテナンス］タブの順にクリックして［メンテナンス］の画面を表示します。

2 【再起動】をクリックします。

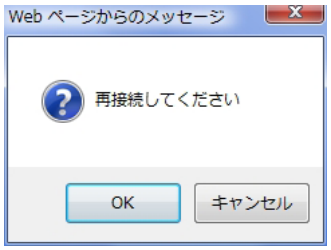


3 【OK】をクリックします。
再起動を開始します。



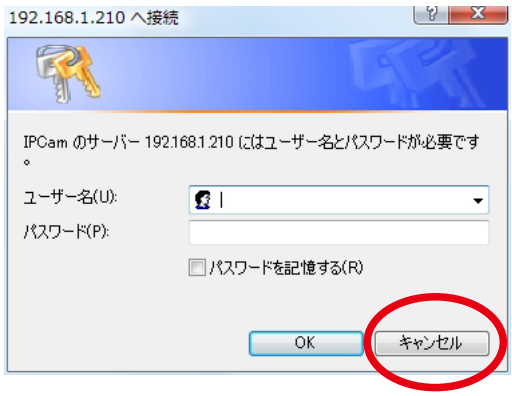


4 【OK】をクリックします。



5 ユーザー名とパスワードの確認が表示されます。
［ユーザー名］と［パスワード］を入力して、【OK】をクリックします。

ライブ画面が表示されます。

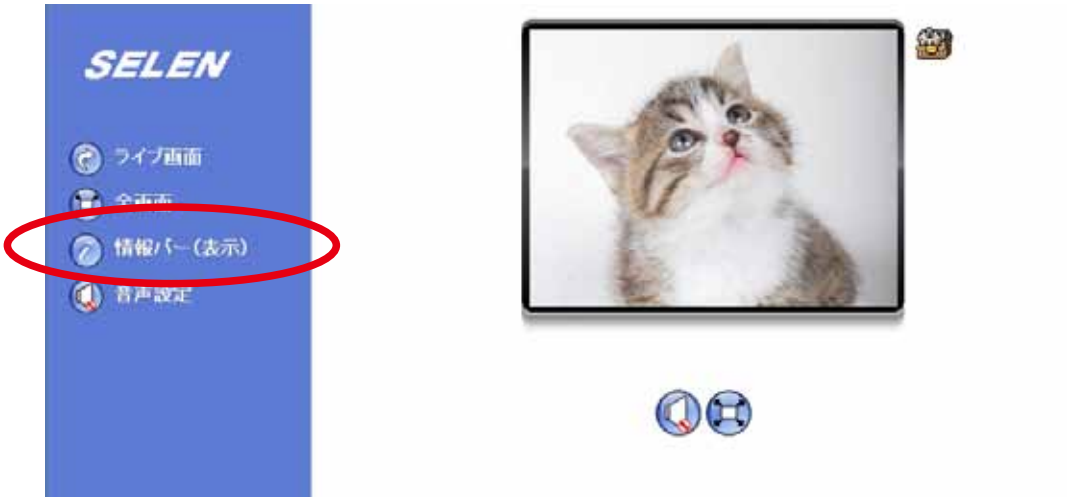


5-35 情報バーを表示（非表示）にする

ライブ画面に情報バーを表示（非表示）させることができます。

1 ライブ画面【画面/ 音声設定】をクリックして、【画面/ 音声設定】の画面を表示します。

2 【情報バー（表示）】をクリックします。



3 情報バーが表示されます。

※情報バーは、【情報バー（表示/ 非表示）】をクリックするたびに、表示と非表示が切り替わります。

4 【ライブ画面】をクリックするとライブ画面に戻ります。

6

IP Wizard Ⅱの操作

6-01　IP Wizard Ⅱの起動方法・画面 …… P.131
6-02　IP Wizard Ⅱの操作 …… P.132

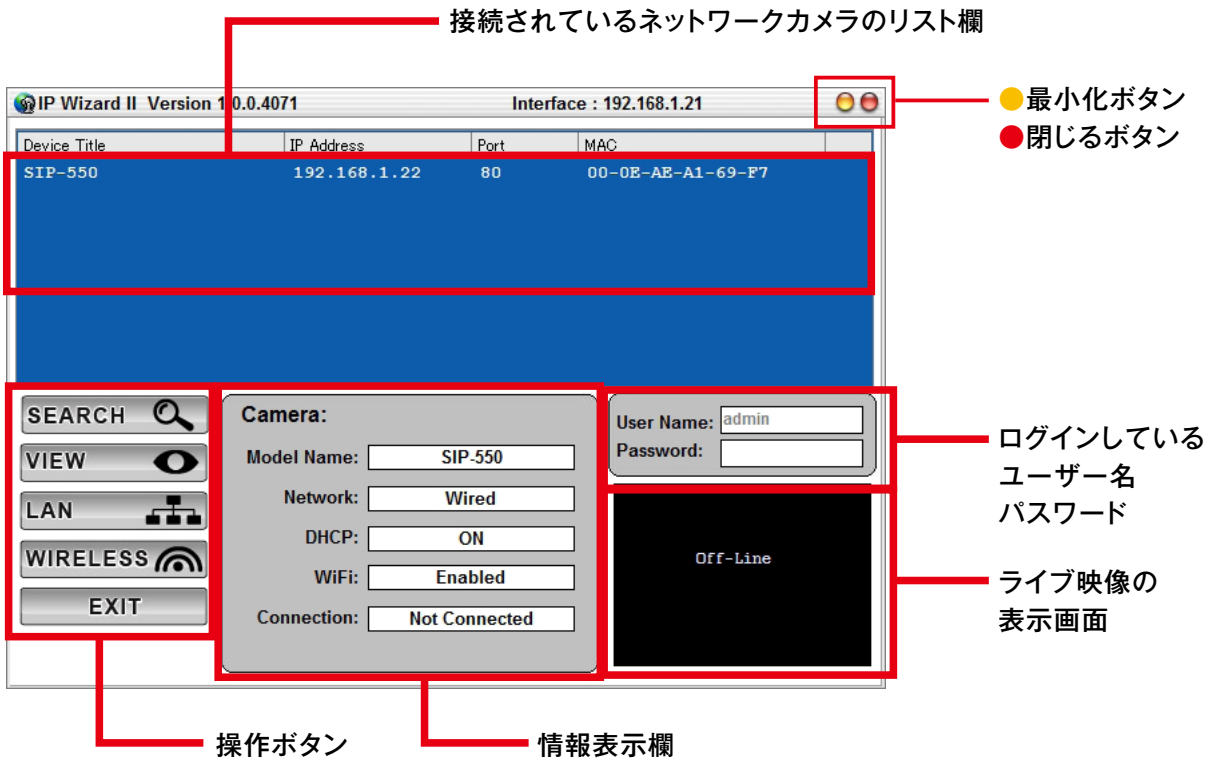
6-01 IP Wizard Ⅱの起動方法・画面

IP Wizard Ⅱの起動方法

パソコン等で、「IP Wizard Ⅱ」を起動します。
デスクトップアイコンをダブルクリックします。
もしくは、[スタート]➡[プログラム]➡[IP Wizard Ⅱ]を選択します。

※ユーザーアカウント制御などの確認ウィンドウが表示される場合がありますが、
[許可]をクリックしてください。

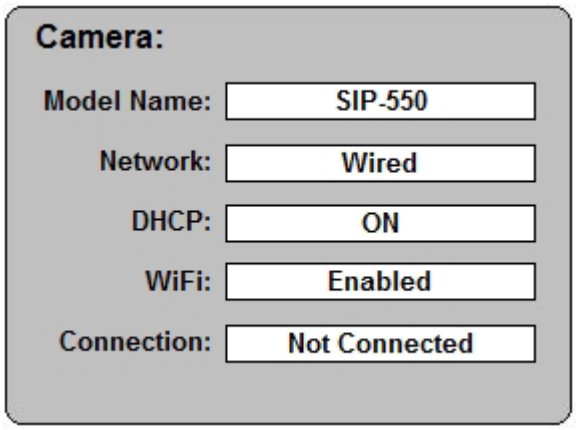
IP Wizard Ⅱの画面



操作ボタン	内容
SEARCH	接続されているネットワークカメラを検索します。また、ネットワークカメラの設定変更後に、検索をし直すことで、設定変更後のカメラを
VIEW	クリックすると、選択されているネットワークカメラのライブ映像を表示します。
LAN	ネットワーク設定をすることができます。 ※ Internet Explorer 上での設定をおすすめします。 ［5 さまざまな機能の設定・操作］P.54 参照
WIRELESS	ワイヤレス設定をすることができます。※ SIP-550 のみ操作できます。 ※ Internet Explorer上での設定をおすすめします。 ［5 さまざまな機能の設定・操作］P.54 参照
EXIT	クリックすると、IP Wizard Ⅱを閉じます。

6-02 IP Wizard Ⅱの操作

1 ネットワークカメラ選択時



項目	表示	内容
Model Name	（機種名）	選択されているカメラ名
Network	Wired	有線LAN で接続中です。
	Wireless	無線LAN で接続中です。
DHCP	ON	IPアドレスが自動取得に設定されています。
	OFF	IPアドレスが自動取得しないに設定されています。
WiFi	Enabled	SIP-550 の時に表示されています。
	Ethernet Only	SIP-500 の時に表示されています。
Connection	Not Connection	カメラに接続していません。
	Success	ライブ映像を表示中です。

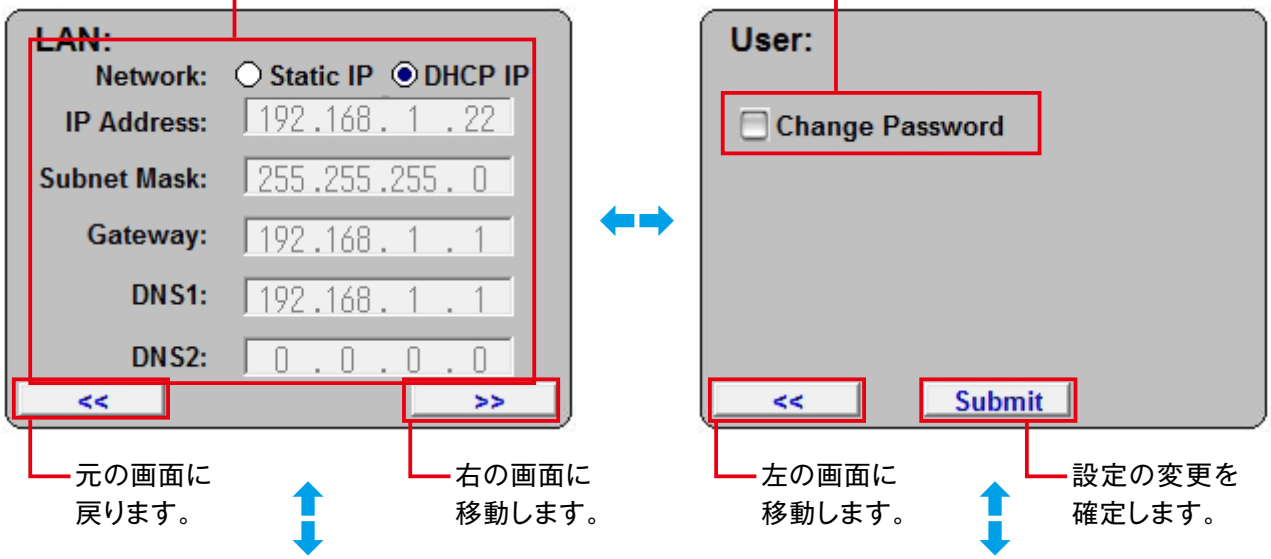
2 【VIEW】クリック時

※パスワードが設定されている場合は、［Password］欄に入力した後に【VIEW】をクリックします。

③【LAN】クリック時

[Static IP] 固定アドレス設定
[DHCP IP] 自動アドレス設定
[Static IP] のチェックボタンをクリックすると、各項目の入力ができるようになります。入力後、右の画面に移動します。

ユーザー設定
[Change Password] のチェックボタンをクリックして☑を入れると、下の画面に切り替わります。

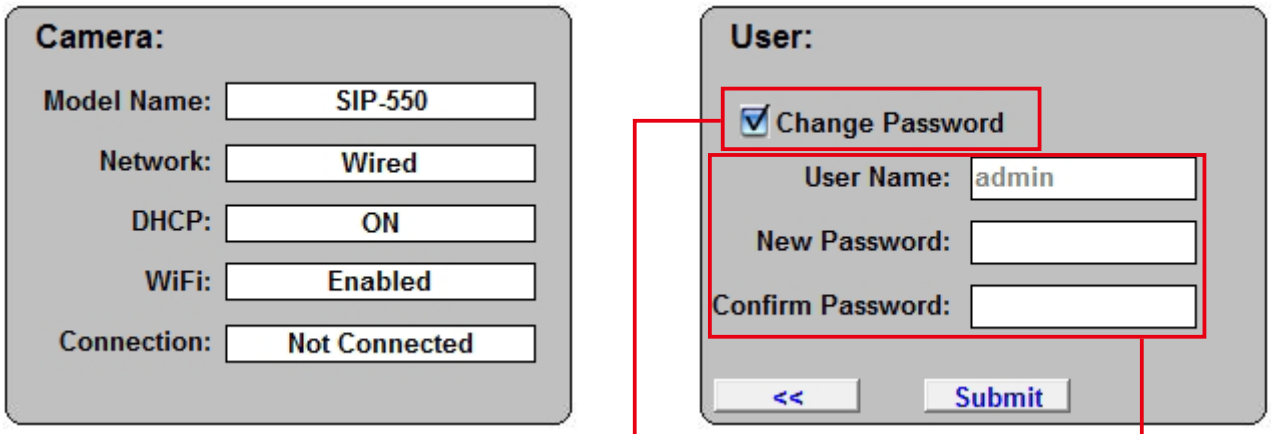


元の画面に戻ります。

右の画面に移動します。

左の画面に移動します。

設定の変更を確定します。

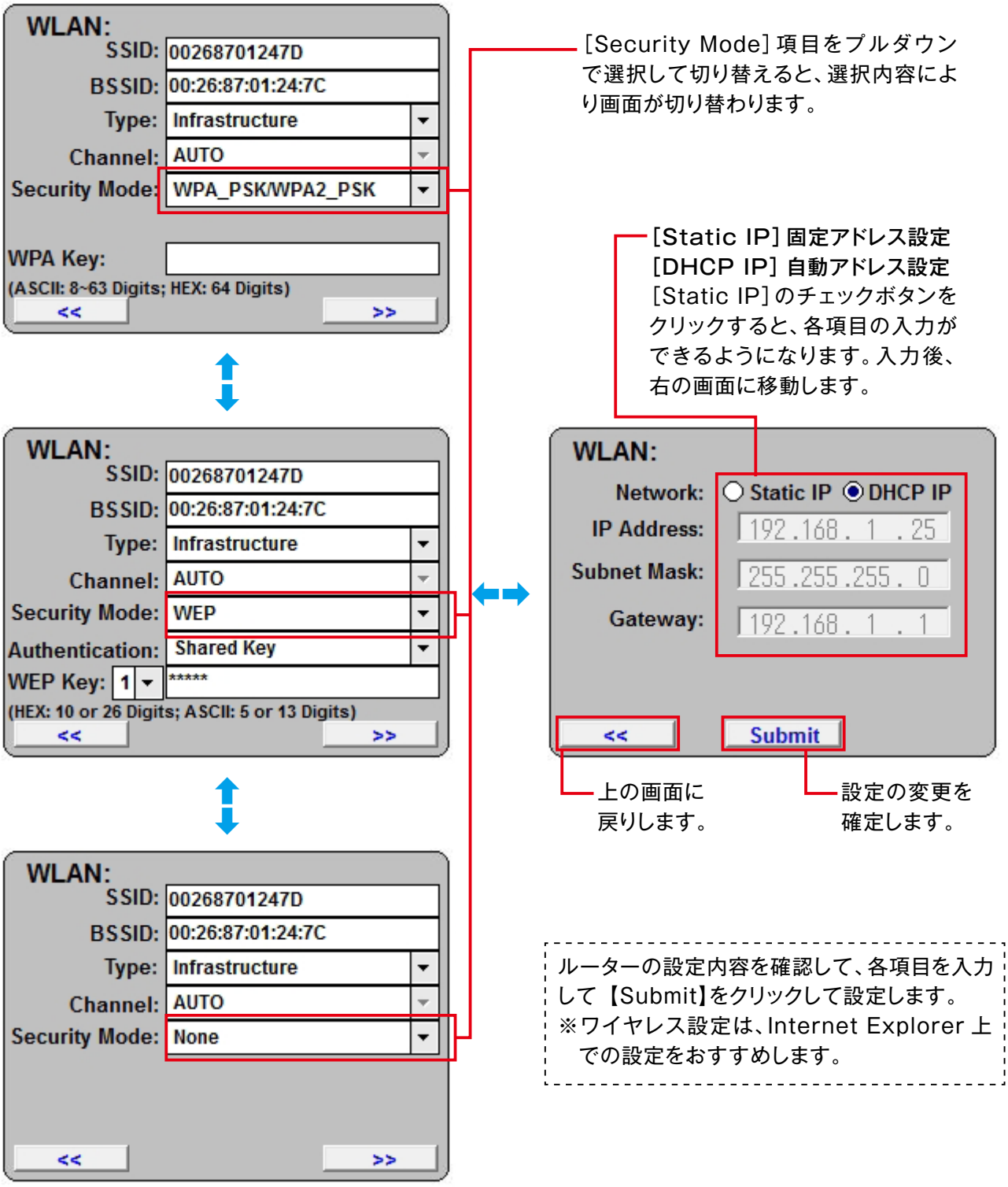


【LAN】をクリックしていない状態です。

[Change Password] のチェックボタンをクリックして✓を外すと、上の画面に切り替わります。

[ユーザー名・パスワード・パスワード確認] を入力し、【Submit】をクリックして設定します。

4 【WIRELESS】クリック時



ルーターの設定内容を確認して、各項目を入力して【Submit】をクリックして設定します。
※ワイヤレス設定は、Internet Explorer 上での設定をおすすめします。

設定変更は、Internet Explorer上のライブ画面から行ってください。

7

付録

7-01　設定項目・初期化設定値 …… P.136
7-02　仕様 …… P.138

7-01 設定項目・初期化設定値

項　目				初期化1の設定値	初期化2の設定値
映像設定				—	—
設定	ネットワーク	ネットワーク	IPアドレス自動取得（DHCP）	☑（選択）	—
			DHCPからDNS取得	☑（選択）	—
			HTTPポート	80	—
		ワイヤレス	有線/ 無線	自動	自動
			SSID	default	—
			BSSID	（空欄）	—
			チャンネル	AUTO	—
			セキュリティモード	無し	—
			AES/TKIP	（非表示）	—
			ネットワークキー	（非表示）	—
			IPアドレス自動取得（DHCP）	☑（選択）	—
		DDNS設定	DDNS設定	無効	—
			サーバー名	DynDNS	DynDNS
			ホスト名	（空欄）	—
			ユーザー名	（空欄）	—
			パスワード	（空欄）	—
		RTSPポート	RTSPポート	554	—
		UPnP	カメラ名表示	有効	有効
			カメラ名	—	—
			UPnP	無効	無効
			ポート範囲	32768 ~ 65535	—
			外部IPアドレス	（空欄）	（空欄）
		IPフィルタ	IPフィルタ	無効	無効
			アクセス制御	許可	許可
			フィルターIPリスト	（空欄）	（空欄）
	カメラ	映像	左右･上下反転	通常	通常
			ホワイトバランス	自動	自動
			露出制御	自動	自動
			電源周波数	50Hz	—
			彩度	50	50
			明るさ	50	50
			コントラスト	50	50
			シャープネス	50	50
			赤外線LED	自動	自動
			遅れ時間	10	10
			屋外	無効	無効
		プリセット設定		（空欄）	（空欄）
		ツアー設定		（空欄）	（空欄）
	システム設定	システム設定	デバイスタイトル	SIP-550 ※1	SIP-550 ※1
			ログ（リスト欄）	—	—
		日時設定	時間設定	NTPと同期	NTPと同期
			NTP サーバー	time.stdtime.gov.tw	time.stdtime.gov.tw
			NTP更新間隔	24hour	24hour
			タイムゾーン	GMT+09	GMT+09
		メンテナンス	設定読込	（空欄）	（空欄）
			ファームウェア（当社サービス用項目）	（空欄）	（空欄）

※「—」の部分は、一定の状態にはなりません。
※SIP-500 の場合は、「SIP-500」となります。

7-01 設定項目・初期化設定値

項　目					初期化1の設定値	初期化2の設定値
設定	映像設定	共通設定	日時表示（日付）		□（未選択） YYYY-MM-DD	□（未選択） YYYY-MM-DD
			日時表示（時間）		□（未選択） 24h	□（未選択） 24h
			日時表示（テキスト）		□（未選択） （空欄）	□（未選択） （空欄）
		MJPEG	解像度		320 × 240	320 × 240
	音声設定		音声設定		有効	有効
			動作中無音		無効	無効
			モード		マイク	マイク
			入力ゲイン		0	0
			出力ゲイン		0	0
	ユーザー設定		（リスト内）		adminのみ （パスワード:なし）	adminのみ （パスワード:なし）
	E-Mai設定		SMTPサーバー		（空欄）	—
			SMTPポート		25	—
			SMTP認証		無効	—
			ユーザー名		（空欄）	—
			パスワード		（空欄）	—
			メール送信元		（空欄）	—
			メール送信先		（空欄）	—
			件名&メッセージ		（空欄）	—
	動体検知設定				（空欄）	（空欄）
	FTP設定		（リスト内）		（空欄）	（空欄）
			名称		（空欄）	（空欄）
			FTP サーバーアドレス		（空欄）	（空欄）
			FTP ログイン名		（空欄）	（空欄）
			FTP ログインパスワード		（空欄）	（空欄）
			FTP ポート		21	21
			FTP パス		（空欄）	（空欄）
			FTPパッシブモード		無効	無効
	送信設定	設定	（リスト内）		（空欄）	（空欄）
			名称		（空欄）	（空欄）
			有効		はい	はい
			種類		動体検知	動体検知
			有効期間	日～土 開始時間 / 期間	☑（全選択） 0 : 00 / 24　0	☑（全選択） 0 : 00 / 24　0
			トリガー	検知エリア	□（未選択） （空欄）	□（未選択） （空欄）
			送信項目	FTP 送信	□（未選択） （空欄）	□（未選択） （空欄）
				E-Mail 送信	□（未選択）	□（未選択）
		ファイル	ファイル形式		AVI	AVI
			追加文字		（空欄）	（空欄）
画面/ 音声設定		全画面			（全画面ではありません）	（全画面ではありません）
		情報バー			—	—
		音声			（非表示）	（非表示）
パン/ チルト設定		速度			—	—
		プリセット			（空欄）	（空欄）
		ツアー			（空欄）	（空欄）

※「—」の部分は、一定の状態にはなりません。

7-02 仕様

型番		SIP-550	SIP-500
カメラ	撮像素子	1/4 型カラーCMOS	
	有効画素数	約30 万画素	
	最低被写体照度	約3.0 ルクス	
	水平画角	約53°	
	レンズ	固定レンズ f =3.6㎜/F2.0	
	ホワイトバランス	自動	
内蔵投光器		赤外線LED4 個	
画像	圧縮方式	MPEG4、JPEG	
	フレーム転送速度	30FPS（最大値）	
	画像解像度	MPEG4 （160 ×120 / 320 ×240 / 640 ×480）	
		MJPEG （160 ×120 / 320 ×240 / 640 ×480）	
音声		入力 :内蔵マイク / 出力 :音声出力端子	
LAN		100BASE-TX/10BASE-T（1 ポート）	
パン・チルト		パン :355°（左右177.5°）/ チルト :100°（上90°～下10°）	
使用環境	温度	約0 ～40℃	
	湿度	約10 ～80%（結露なきこと）	
電源	専用AC アダプター	入力 :AC100V / 出力 :DC12V	
消費電力	待機状態	約5.0W	約4.0W
	最大（パン・チルト作動時）	約6.0W	約5.0W
外形寸法（本体のみ）[幅×高さ×奥行]		約W107 ×H109 ×D107㎜	
質量（本体のみ）		約175g	約160g
無線	無線LAN 規格	IEEE802.11 g / IEEE802.11 b	—
	通信周波数	2.4GHz 帯	—
	使用チャンネル	1 ～13ch	—
	セキュリティモード	WEP、WPA-PSK、WPA2-PSK	—
	アンテナ	RSMA専用アンテナ	—
パソコン環境	OS	Microsoft® Windows® 7、Windows® Vista、Windows® XP	
	ウェブブラウザ	Internet Explorer® 6.0 以降（32bit のみ）	

- Microsoft® 、Windows® 、Internet Explorer® は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- 記載されている会社名、ロゴおよび商品名は、各会社の商標または登録商標です。
- 写真と実際の製品の色は、多少異なる場合があります。
- 製品の仕様、および外観は改善のため予告なく変更する場合があります。
- 本製品は、日本国内用です。国外での使用に対するサービスは行っておりません。

工事設計認証番号
R201WW 11215038
SIP-550のみ